

# 障害福祉に関する アンケート調査報告書

平成 29 年 3 月

入 間 市



# 目 次

## 第 1 章 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査対象者	3
3 調査方法	3
4 調査期間	3
5 回収結果	3
6 報告書の利用にあたって	3

## 第 2 章 調査結果

(1) 障害者本人や家族について	7
(2) 障害の状況について	12
(3) 住まいや暮らしについて	19
(4) 日中活動や就労について	22
(5) 障害のあるお子さんについて	28
(6) 相談相手などについて	32
(7) 権利擁護について	40
(8) 災害時の避難等について	67
(9) 障害福祉サービス等の利用について	70
(10) 市の施策について	94
(11) 自由回答	96

## ◇資料 調査票



# 第 1 章

---

調査の概要



## 1 調査の目的

---

入間市が平成 30 年度を初年度とする「第 5 期入間市障害者福祉プラン」を策定するに当たり、市内在住の障害のある方の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握することを目的としました。

## 2 調査対象者

---

- ・身体障害者手帳所持者 600 人
- ・療育手帳所持者 500 人
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者 400 人

## 3 調査方法

---

- ・実施方法：郵送配付－郵送回収

## 4 調査期間

---

- ・平成 29 年 2 月 6 日～3 月 14 日

## 5 回収結果

---

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
対象者数（人）	600	500	400	1,500
回答者数（人）	345	247	173	765
回答率（％）	57.5	49.4	43.3	51.0

## 6 報告書の利用にあたって

---

- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- 表・グラフ中、整数は回答者数（単位：人）を、小数第 1 位までの数値は百分率（単位：％）を、それぞれ表しています。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（n）として、小数第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が 100％にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100％を超えます。





## 第 2 章

---

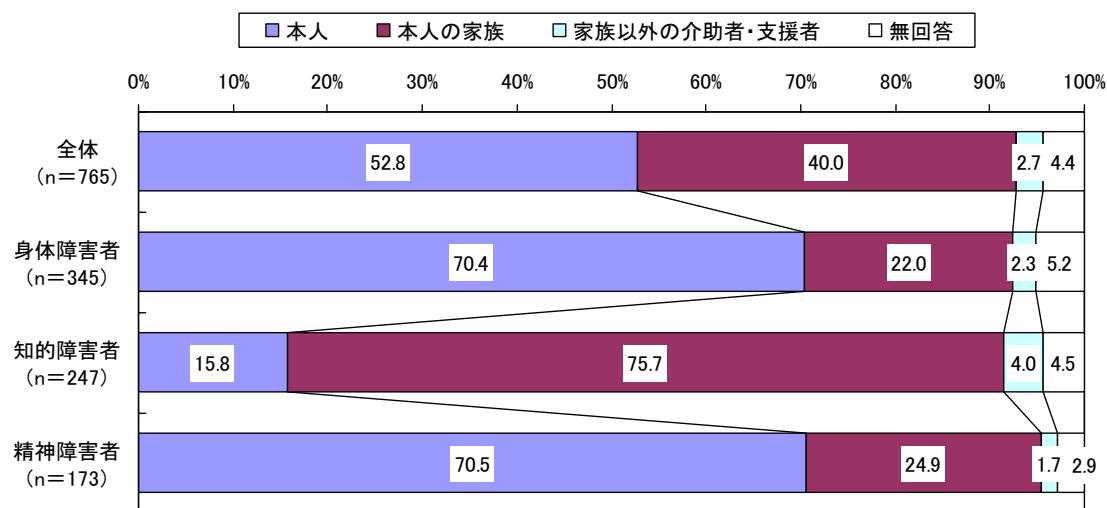
調査結果



## (1) 障害者本人や家族について

### 問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

- 全体では「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が52.8%、「本人の家族」が40.0%、「家族以外の介助者・支援者」が2.7%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と精神障害者で「本人」がそれぞれ70.4%、70.5%と7割を占めて高くなっています。一方、知的障害者では「本人の家族」が75.7%と7割半ばを占めて最も高くなっています。

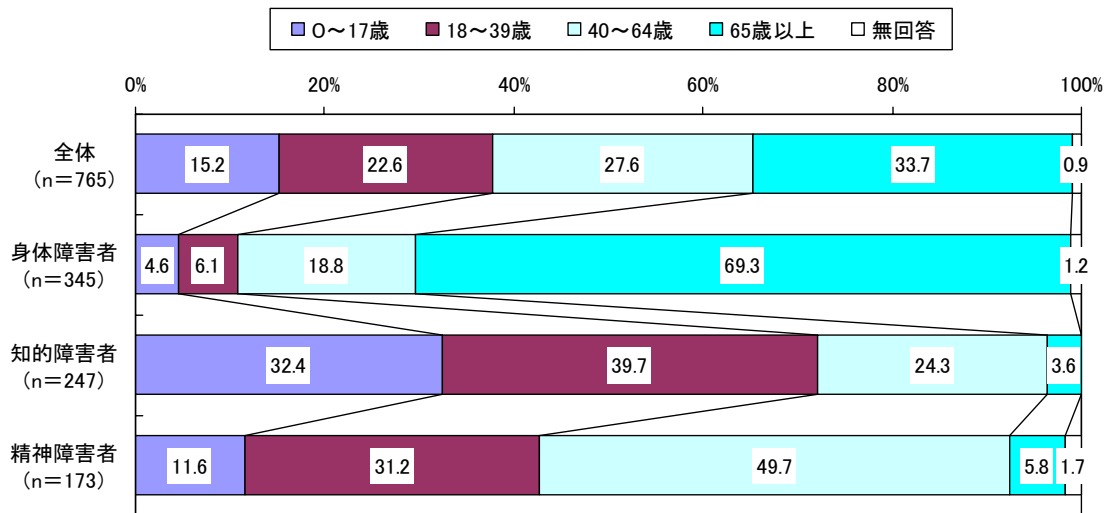


## 問2 あなたの年齢、性別をお答えください。

### ①年齢

○全体では「65歳以上」が最も多く33.7%、次いで「40～64歳」が27.6%、「18～39歳」が22.6%、「0～17歳」が15.2%の順となっています。

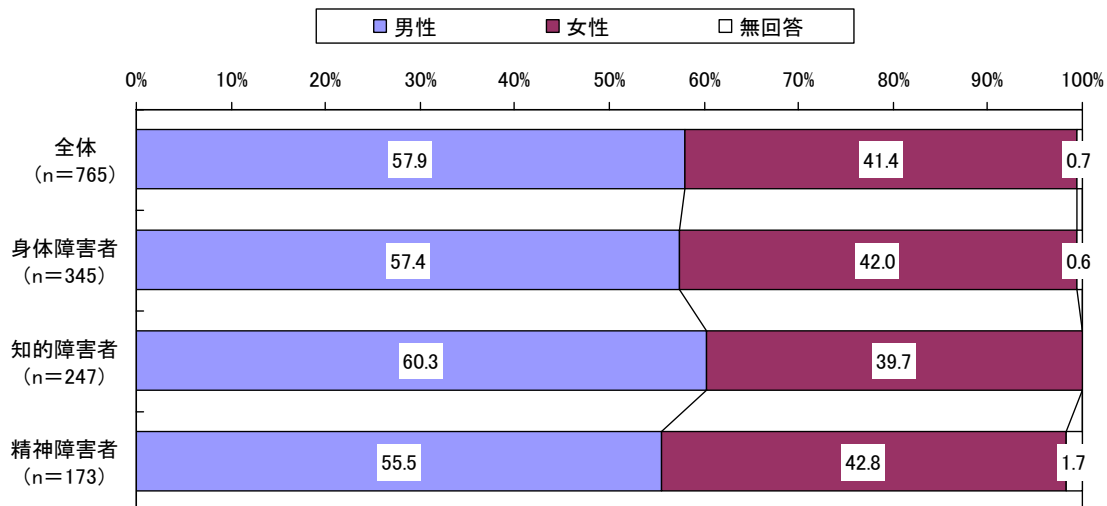
○障害種別に見ると、身体障害者では「65歳以上」が69.3%と7割を占めて最も高くなっています。知的障害者では「18～39歳」が39.7%、「0～17歳」が32.4%と3割を超えて高くなっています。精神障害者では「40～64歳」が49.7%と半数を占め最も高く、次いで「18～39歳」が31.2%と3割を超えて高くなっています。



### ②性別

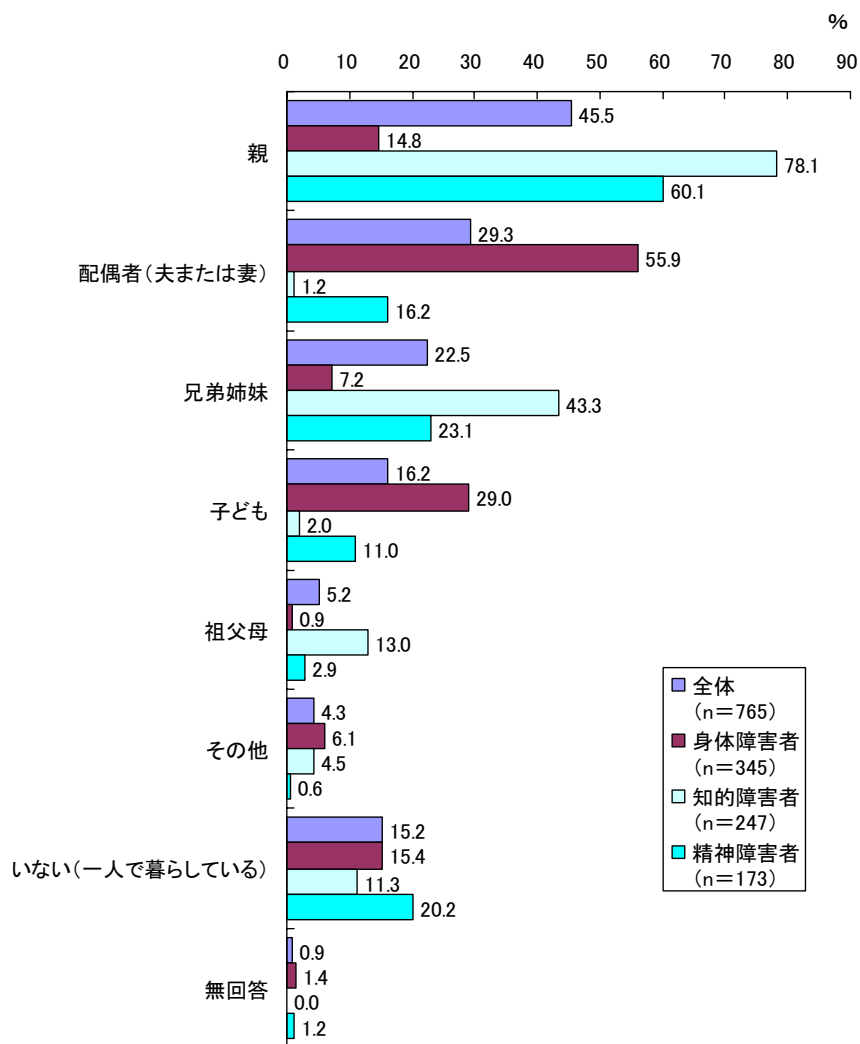
○全体では「男性」が57.9%、「女性」が41.4%となっており、「男性」が「女性」を16.5ポイント上回っています。

○障害種別に見ると、いずれの障害でも「男性」が「女性」を上回っています。



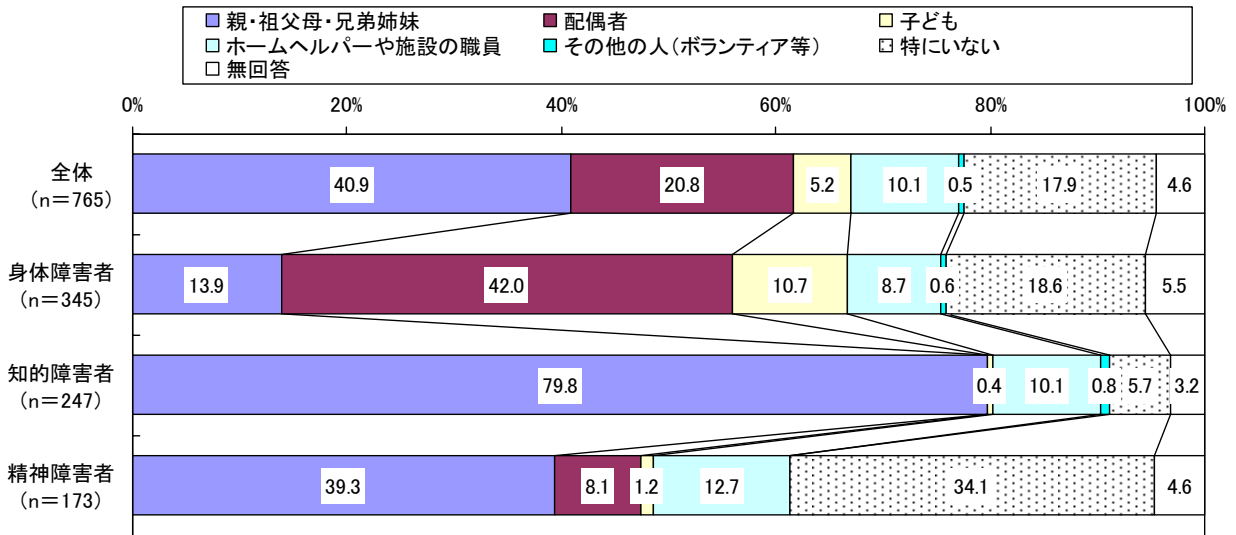
**問3 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）**

- 全体では、「親」が45.5%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が29.3%、「兄弟姉妹」が22.5%、「子ども」が16.2%「いない（一人で暮らしている）」が15.2%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「配偶者（夫または妻）」が55.9%、「子ども」29.0%と高くなっています。知的障害者と精神障害者では、「親」がそれぞれ78.1%、60.1%と高く、次いで「兄弟姉妹」がそれぞれ43.3%、23.1%と続いています。また、知的障害者では「祖父母」が13.0%と、他の障害に比べ高くなっています。



**問4 あなたを主に介助してくれる方はどなたですか。（〇は1つ）**

- 全体では「親・祖父母・兄弟姉妹」が40.9%と4割を占めて最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が20.8%、「特にいない」が17.9%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「配偶者（夫または妻）」が42.0%と4割を超えて最も高くなっています。また、「子ども」が10.7%と他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が79.8%と8割を占め圧倒的に高くなっています。精神障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が39.3%と4割を占めて最も高くなっていますが、「特にいない」は34.1%と他の障害に比べ高くなっています。



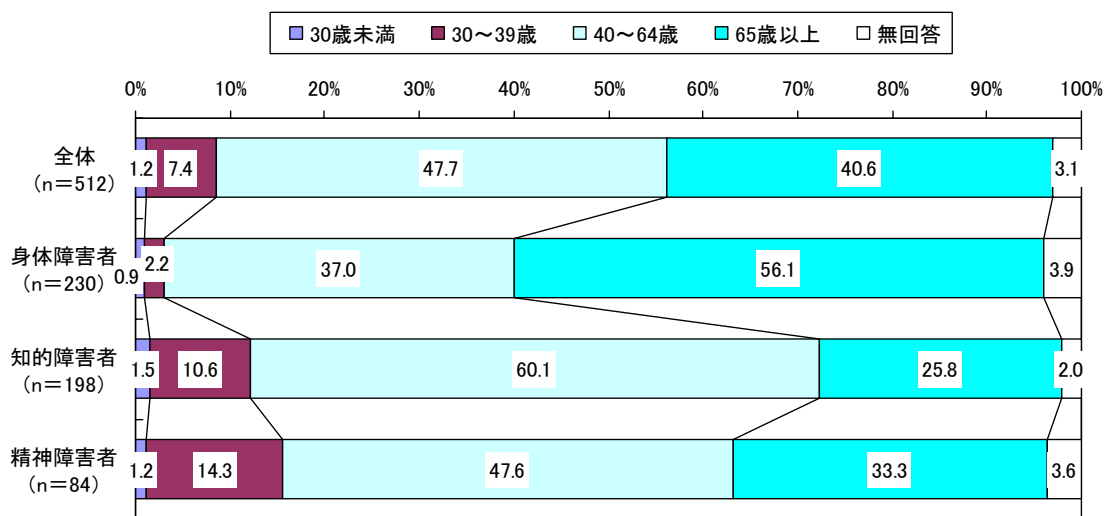
問4で「1. 親・祖父母・兄弟姉妹」「2. 配偶者（夫または妻）」「3. 子ども」と回答された方におききます。

**問5 あなたの介助を主に行っている家族の方の年齢、性別をお答えください。**

①年齢

○全体では「40～64歳」が47.4%、「65歳以上」が40.6%と4割を超えています。介助者の88.3%が40歳以上となっています。

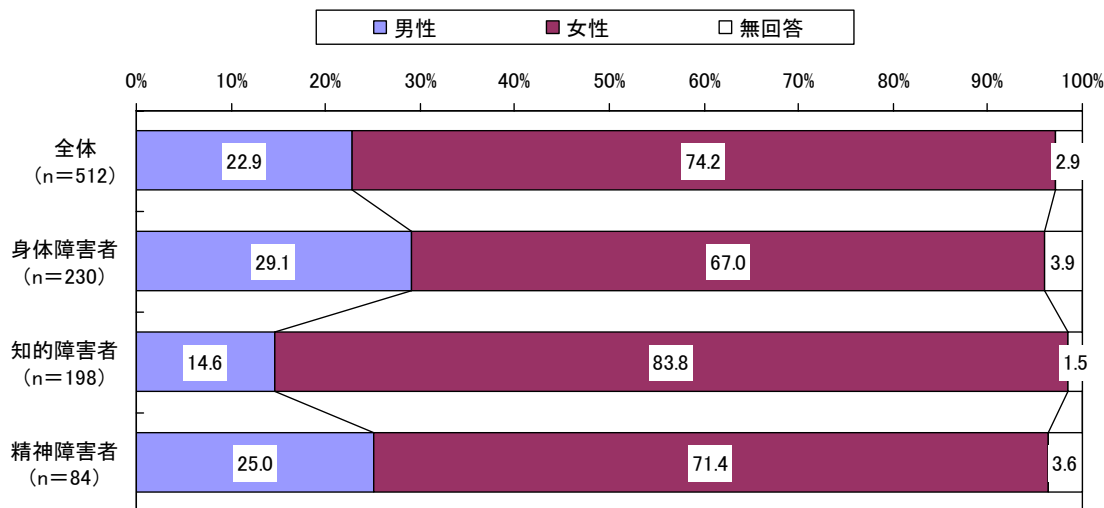
○障害種別に見ると、身体障害者では「65歳以上」が56.1%と最も高くなっています。知的障害者では「40～64歳」が60.1%と6割を占めて高くなっています。精神障害者では「40～64歳」が47.6%と最も高くなっています。



②性別

○全体では「女性」が74.2%、「男性」が22.9%となっており、「女性」が「男性」を51.3ポイント大きく上回っています。

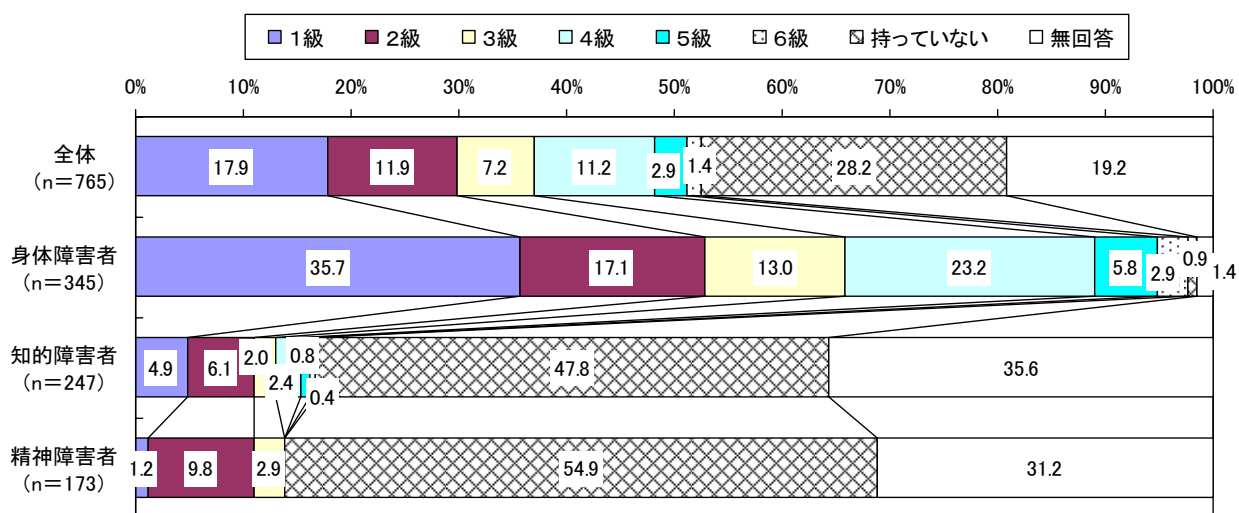
○障害種別に見ると、いずれの障害でも「女性」が「男性」を大きく上回っています。



## (2) 障害の状況について

### 問6 あなたの身体障害者手帳の等級をお答えください。(○は1つ)

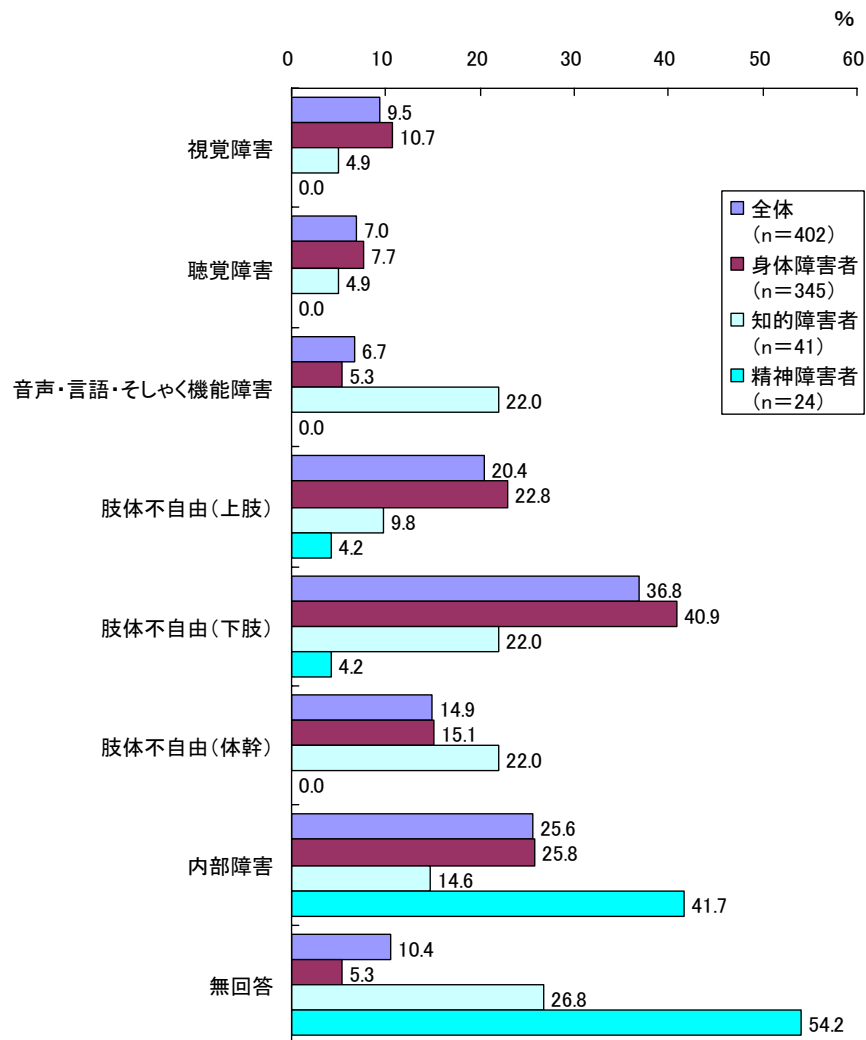
- 身体障害者では「1級」が35.7%と最も高く、次いで「4級」が23.2%、「2級」が17.1%、「3級」が13.0%の順に高くなっています。
- 知的障害者と精神障害者では、「持っていない」が全体の半数前後を占めて最も高く、所持している身体障害者手帳では「2級」がそれぞれ6.1%、9.8%と最も高くなっています。また「1級」～「6級」までを合わせた、身体障害者手帳を『持っている』割合は、知的障害者で16.6%、精神障害者で13.9%と、それぞれ1割台になっています。





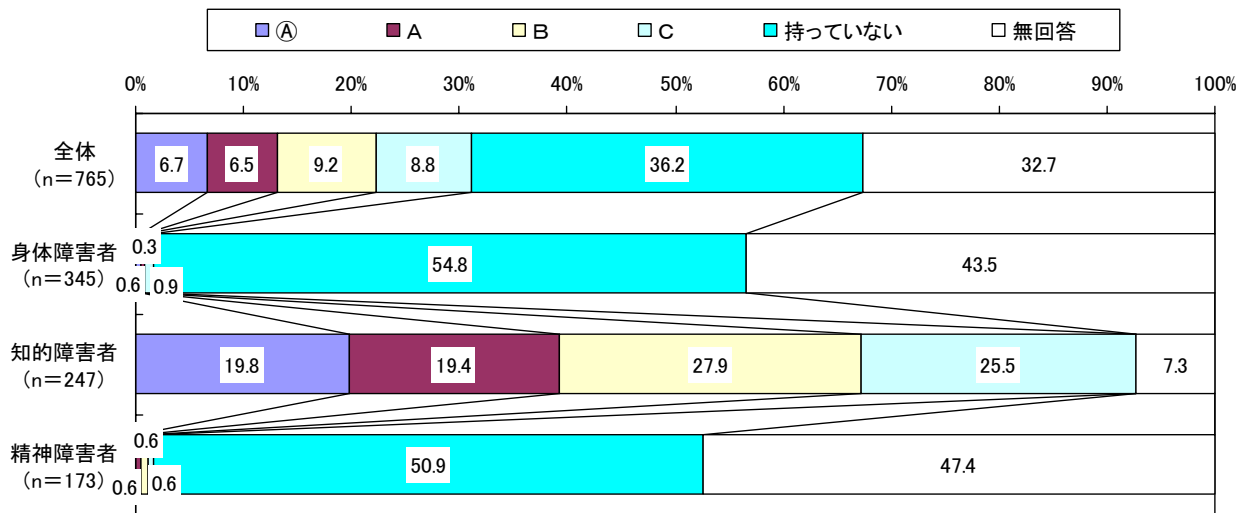
**問7 身体障害者手帳をお持ちの場合、障害の種類をお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

- 全体では、「肢体不自由（下肢）」が36.8%と最も高く、次いで「内部障害」が25.6%、「肢体不自由（上肢）」が20.4%、「肢体不自由（体幹）」が14.9%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では全体と割合の傾向が同じになっており、「肢体不自由（下肢）」が40.9%と最も高く、次いで「内部障害」が25.8%、「肢体不自由（上肢）」が22.8%、「肢体不自由（体幹）」が15.1%と続いています。知的障害者では「音声・言語・そしゃく機能障害」「肢体不自由（下肢）」「肢体不自由（体幹）」がそれぞれ22.0%と2割を超えて高くなっています。精神障害者では、「内部障害」が41.7%と突出して高くなっています。



**問8 あなたの療育手帳の等級をお答えください。（○は1つ）**

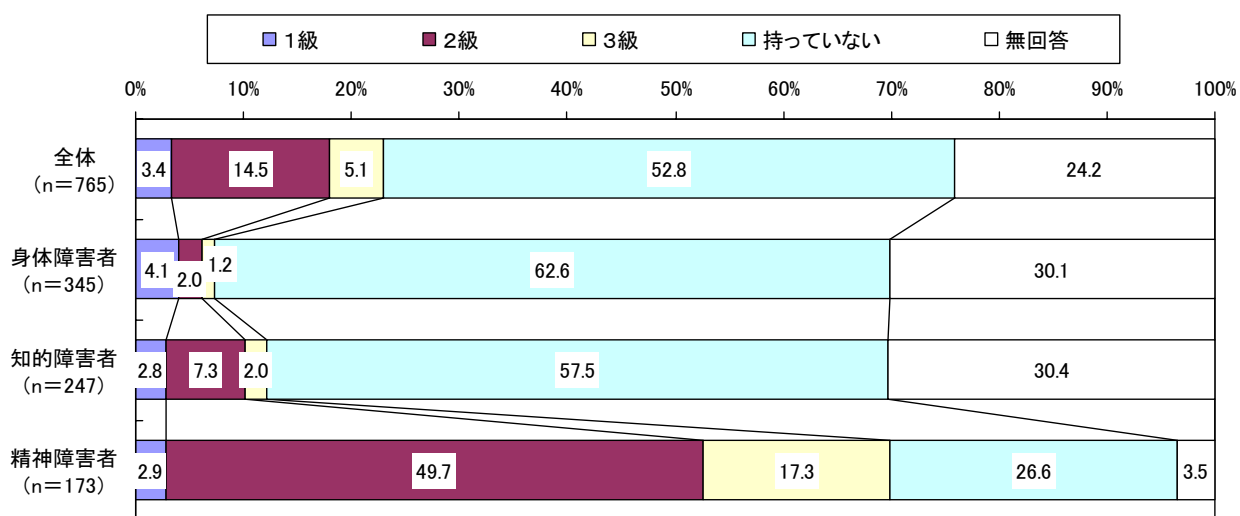
- 知的障害者では「㉠」が19.8%、「A」が19.4%とそれぞれ2割、「B」が27.9%、「C」が25.5%とそれぞれ2割後半を占めています。
- 身体障害者と精神障害者では、「持っていない」が全体の半数を超えて最も高くなっています。また「㉠」～「C」を合わせた療育手帳を『持っている』割合は、身体障害者と精神障害者ともに1.8%と低くなっています。



**問9 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。（○は1つ）**

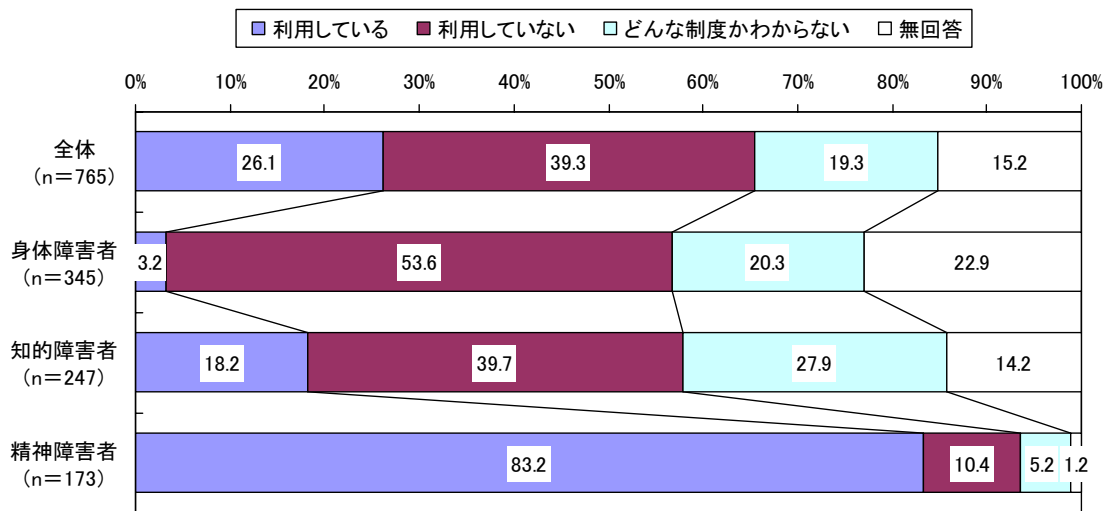
○精神障害者では「2級」が49.7%と全体の半数を占めて最も高く、次いで「持っていない」が26.6%、「3級」が17.3%、「1級」が2.9%の順に高くなっています。

○身体障害者と知的障害者では、「持っていない」が全体の6割前後を占めて最も高く、所持している精神障害者保健福祉手帳では、身体障害者で「1級」が4.1%、知的障害者で「2級」が7.3%と最も高くなっています。また「1級」～「3級」までを合わせた、精神障害者保健福祉手帳を『持っている』割合は、身体障害者で7.3%、知的障害者で12.1%となっています。



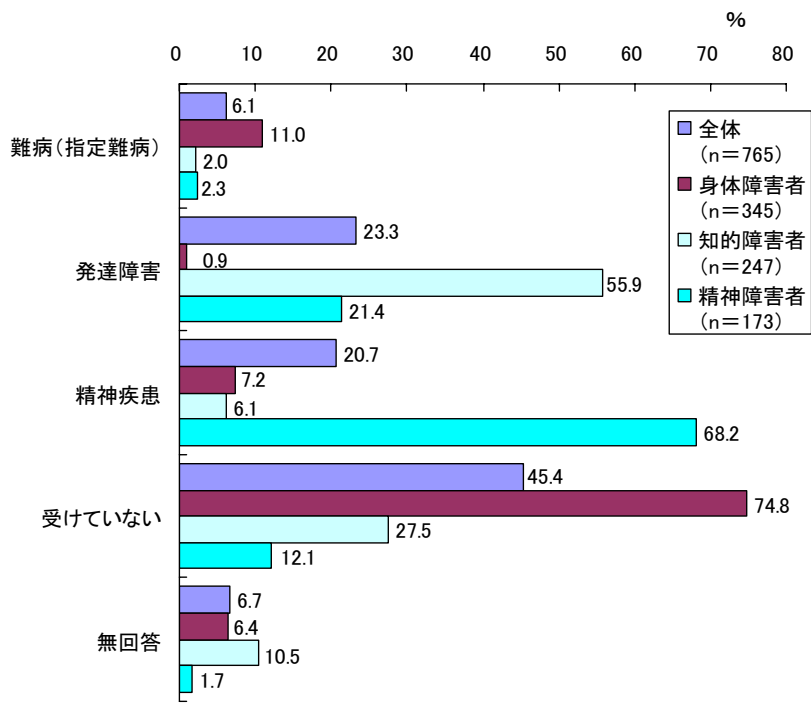
**問 10 あなたは「自立支援医療制度（精神通院）」を利用していますか。（○は1つ）**

- 全体では「利用している」が26.1%、「利用していない」が39.3%、「どんな制度かわからない」が19.3%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と知的障害者で「利用している」がそれぞれ3.2%、18.2%、「どんな制度かわからない」がそれぞれ20.3%、27.9%となっており、精神障害者では「どんな制度かわからない」が5.2%となっています。



**問 11 あなたは、次のような認定や診断を受けていますか。または、受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）**

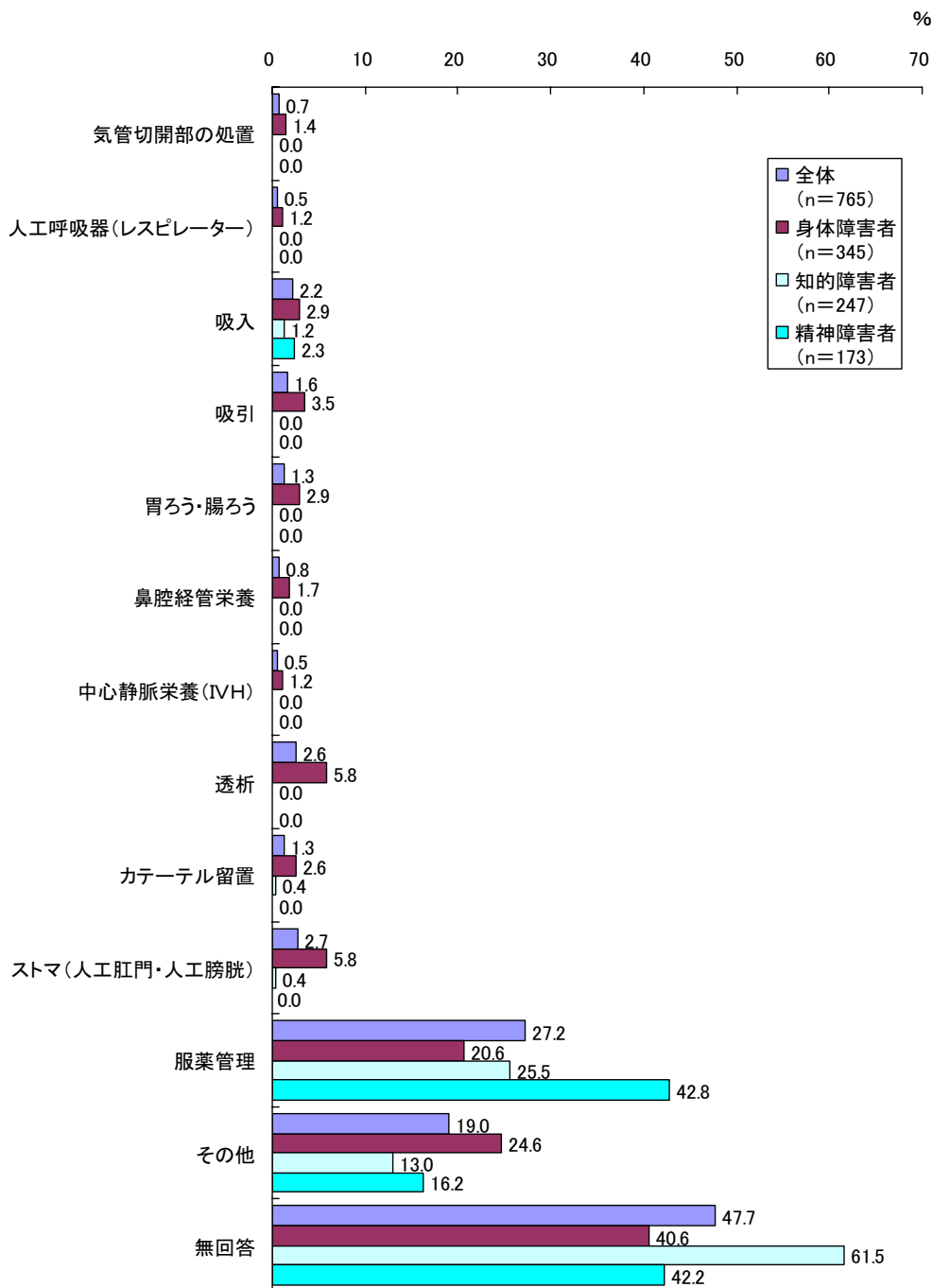
- 全体では、「受けていない」が 45.4%と最も高く、次いで「発達障害」が 23.3%、「精神疾患」が 20.7%、「難病（指定難病）」が 6.1%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「受けていない」が 74.8%、知的障害者では「発達障害」が 55.9%、精神障害者では、「精神疾患」が 68.2%と突出して高くなっています。



**問 12 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）**

○全体では、「無回答」を除くと「服薬管理」が27.2%と最も高くなっています。

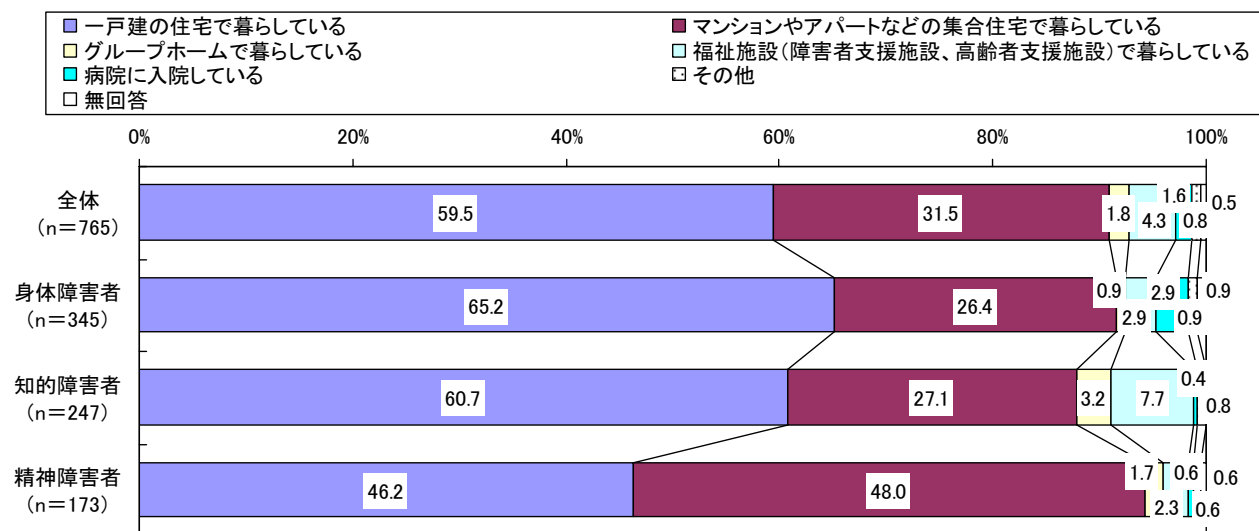
○障害種別に見ると、いずれの障害でも「服薬管理」が高くなっており、身体障害者で20.6%、知的障害者で25.5%、精神障害者で42.8%と高くなっています。また、身体障害者の「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」と「透析」はともに5.8%となっています。



### (3) 住まいや暮らしについて

#### 問 13 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つ)

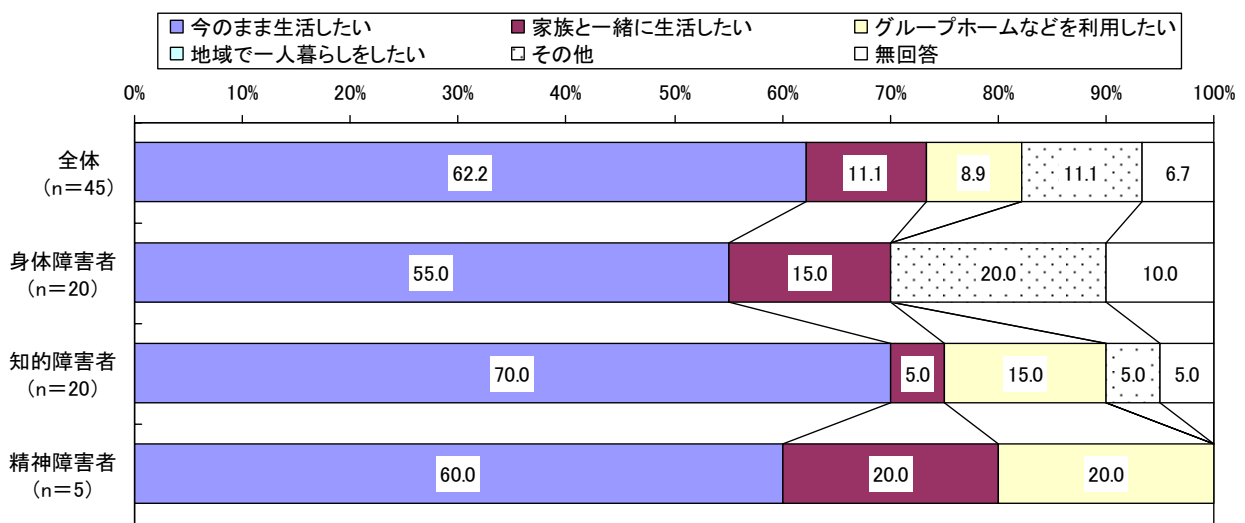
- 全体では「一戸建の住宅で暮らしている」が59.5%と6割を占めて最も高く、次いで「マンションやアパートなどの集合住宅で暮らしている」が31.5%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と知的障害者では「一戸建の住宅で暮らしている」が6割を超えて高く、次いで「マンションやアパートなどの集合住宅で暮らしている」が2割後半で続いています。知的障害者では「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」が7.7%と、他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「マンションやアパートなどの集合住宅で暮らしている」が48.0%、「一戸建の住宅で暮らしている」が46.2%と同程度の割合になっています。



問13で「4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」または「5. 病院に入院している」と回答された方におきまします。

**問14 あなたは将来、施設や病院を退所・退院して、地域で生活したいと思いますか。（〇は1つ）**

- 全体では「今のまま生活したい」が62.2%（45人中28人）と6割を超えて最も高く、「家族と一緒に生活したい」が11.1%（45人中5人）、「グループホームなどを利用したい」が8.9%（45人中4人）となっており、「地域で一人暮らしをしたい」という回答はありませんでした。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも「今のまま生活したい」が最も高くなっています。



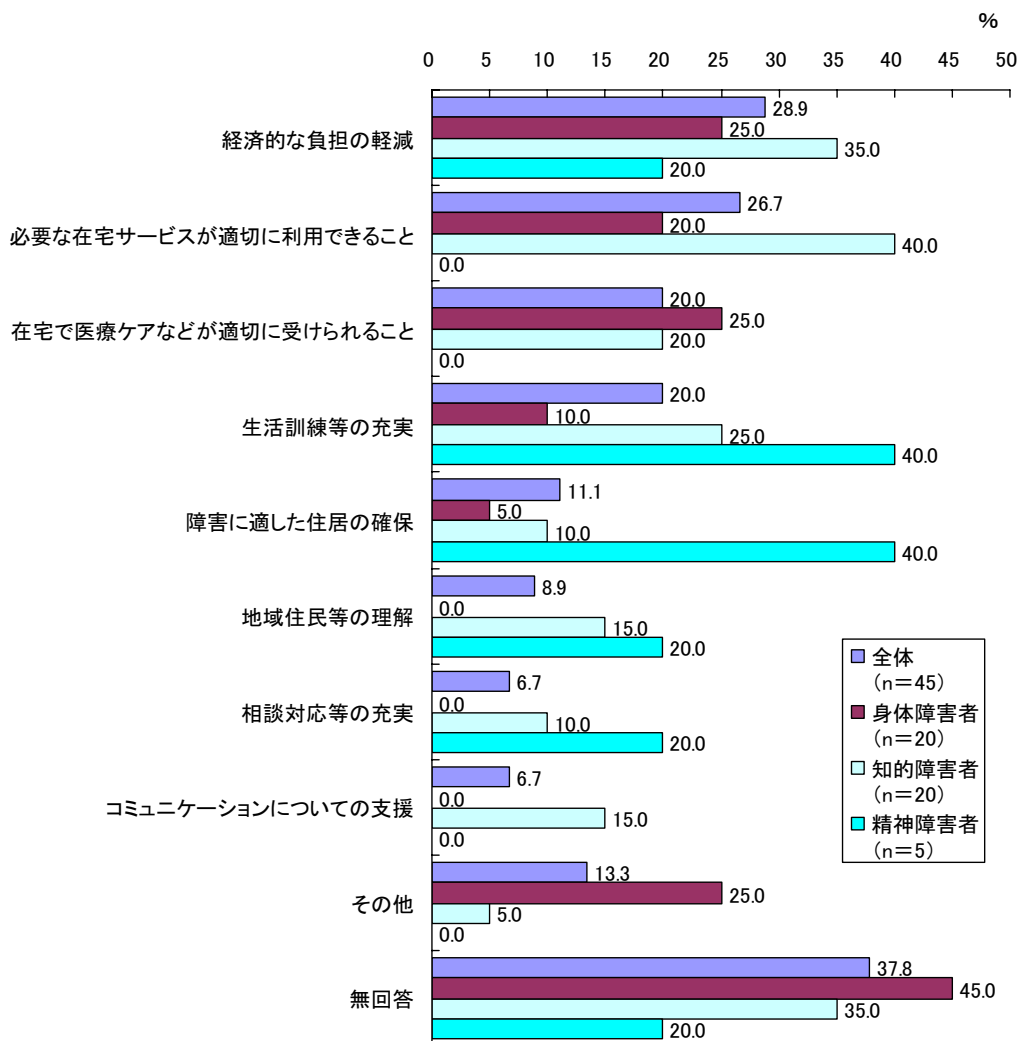


問13で「4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」または「5. 病院に入院している」と回答された方におきまします。

**問15 施設や病院を退所・退院して、地域で生活するためには、特にどのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）**

○全体では、「無回答」を除くと「経済的な負担の軽減」が28.9%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が26.7%、「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」「生活訓練等の充実」が20.0%と2割台で続いています。

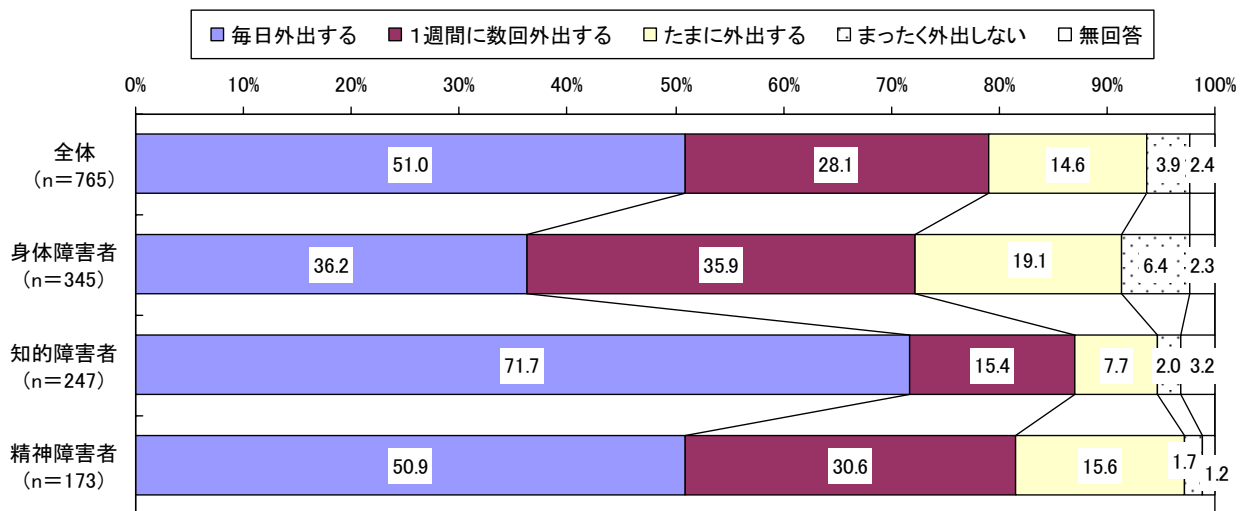
○障害種別に見ると、身体障害者では「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」「経済的な負担の軽減」が、知的障害者では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」「経済的な負担の軽減」が、精神障害者では「生活訓練等の充実」「障害に適した住居の確保」がそれぞれ高くなっています。



#### (4) 日中活動や就労について

##### 問 16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つ)

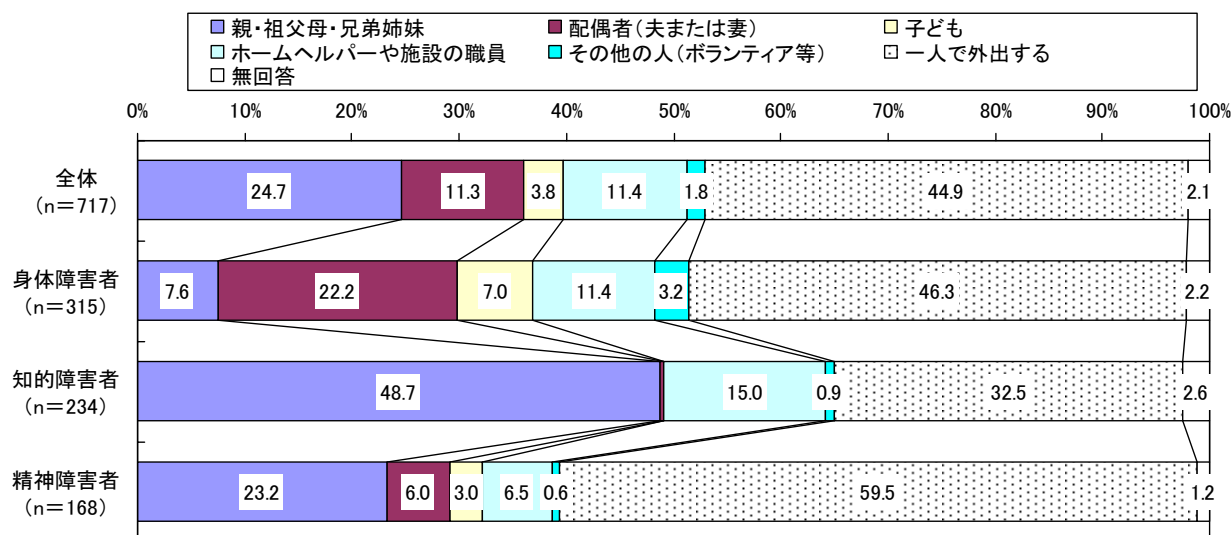
- 全体では「毎日外出する」が51.0%と5割を超えて最も高く、次いで「1週間に数回外出する」が28.1%、「たまに外出する」が14.6%、「まったく外出しない」が3.9%となっており、「毎日外出する」と「1週間に数回外出する」を合わせた『1週間に数回以上外出する』は79.1%と約8割を占めています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「毎日外出する」「1週間に数回外出する」が3割半ばとほぼ同じ割合で高く、「まったく外出しない」は6.4%と他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「毎日外出する」が71.7%と7割を超えて高くなっています。精神障害者では「毎日外出する」が50.9%、「1週間に数回外出する」が30.6%と全体に近い割合となっています。
- 「まったく外出しない」理由としては「一人では動くことが出来ない」「入院している」「動く気力がない」といった回答になっています。



問16で「1. 毎日外出する」「2. 1週間に数回外出する」「3. たまに外出する」と回答された方におききます。

**問17 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。（〇は1つ）**

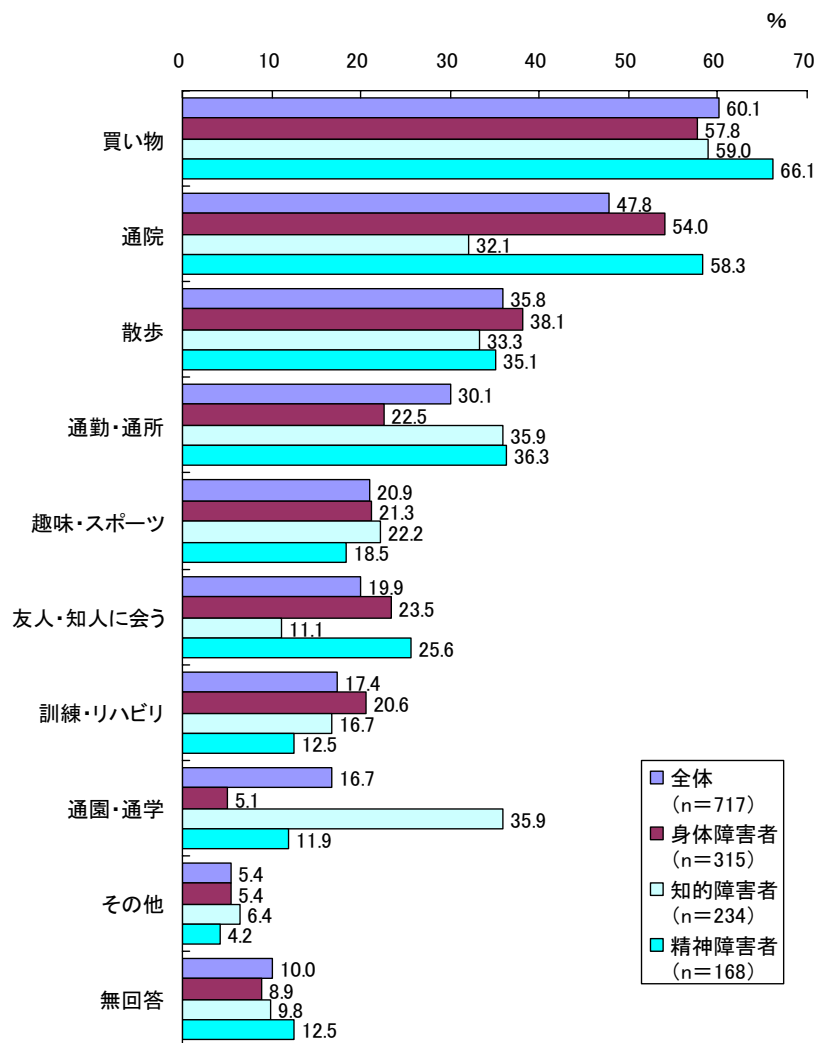
- 全体では「一人で外出する」が44.9%と4割を超えて最も高く、次いで「親・祖父母・兄弟姉妹」が24.7%、「ホームヘルパーや施設の職員」が11.4%、「配偶者（夫または妻）」が11.3%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「一人で外出する」が46.3%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が22.2%と2割を超えて続いています。知的障害者では「親・祖父母・兄弟姉妹」が48.7%と5割近くを占め最も高くなっています。精神障害者では「一人で外出する」が59.5%と6割を占めて最も高く、次いで「親・祖父母・兄弟姉妹」が23.2%と続いています。



問16で「1. 毎日外出する」「2. 1週間に数回外出する」「3. たまに外出する」と回答された方におききます。

**問18 あなたは、どのような目的で外出しますか。（あてはまるものすべてに○）**

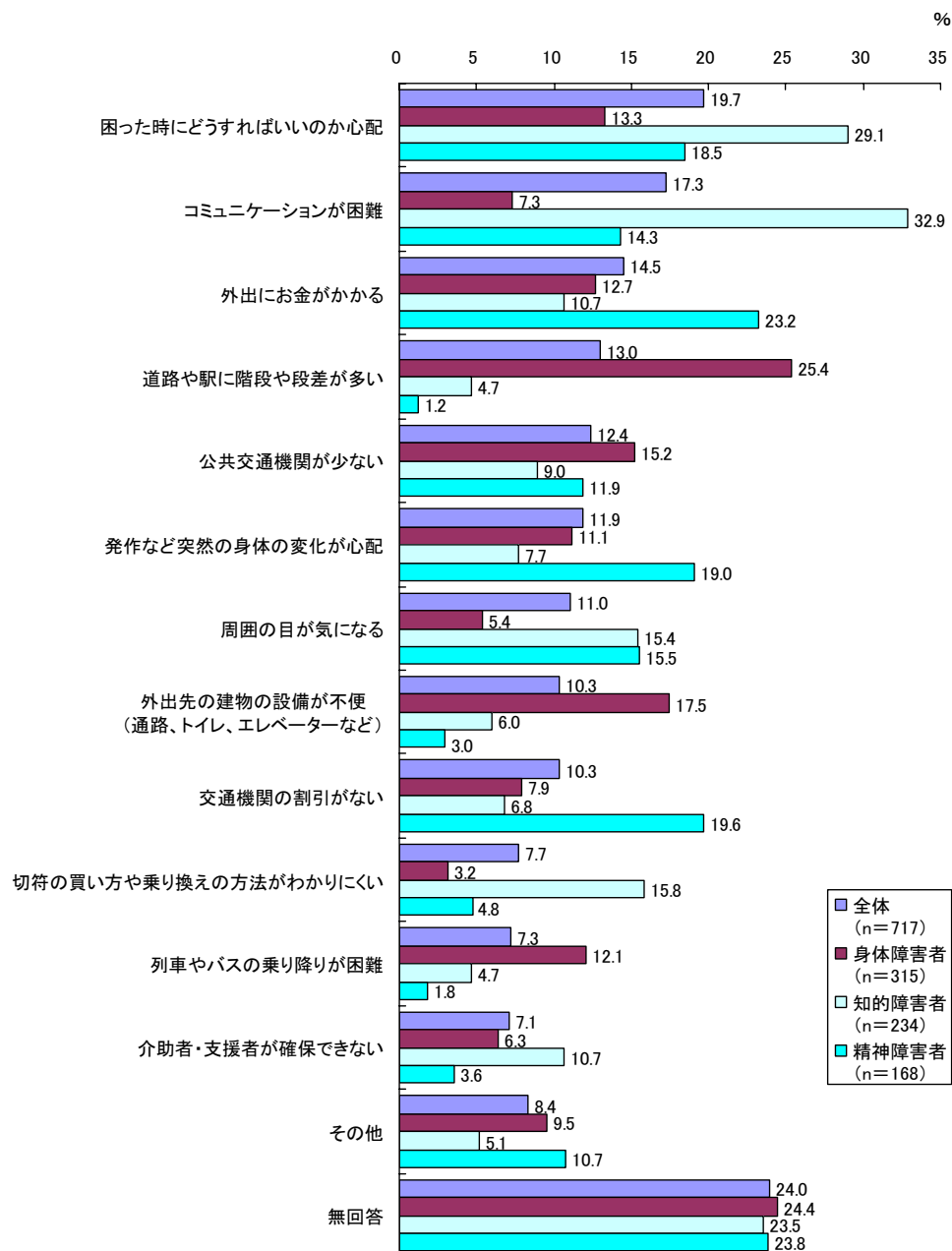
- 全体では、「買い物」が60.1%と6割に達し最も高く、次いで「通院」が47.8%、「散歩」が35.8%、「通勤・通所」が30.1%と続いています。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも全体と同じく「買い物」「通院」「散歩」が高くなっています。知的障害者では「通勤・通所」、「通園・通学」が35.9%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



問16で「1. 毎日外出する」「2. 1週間に数回外出する」「3. たまに外出する」と回答された方におききます。

**問19 外出する時に特に困ることは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）**

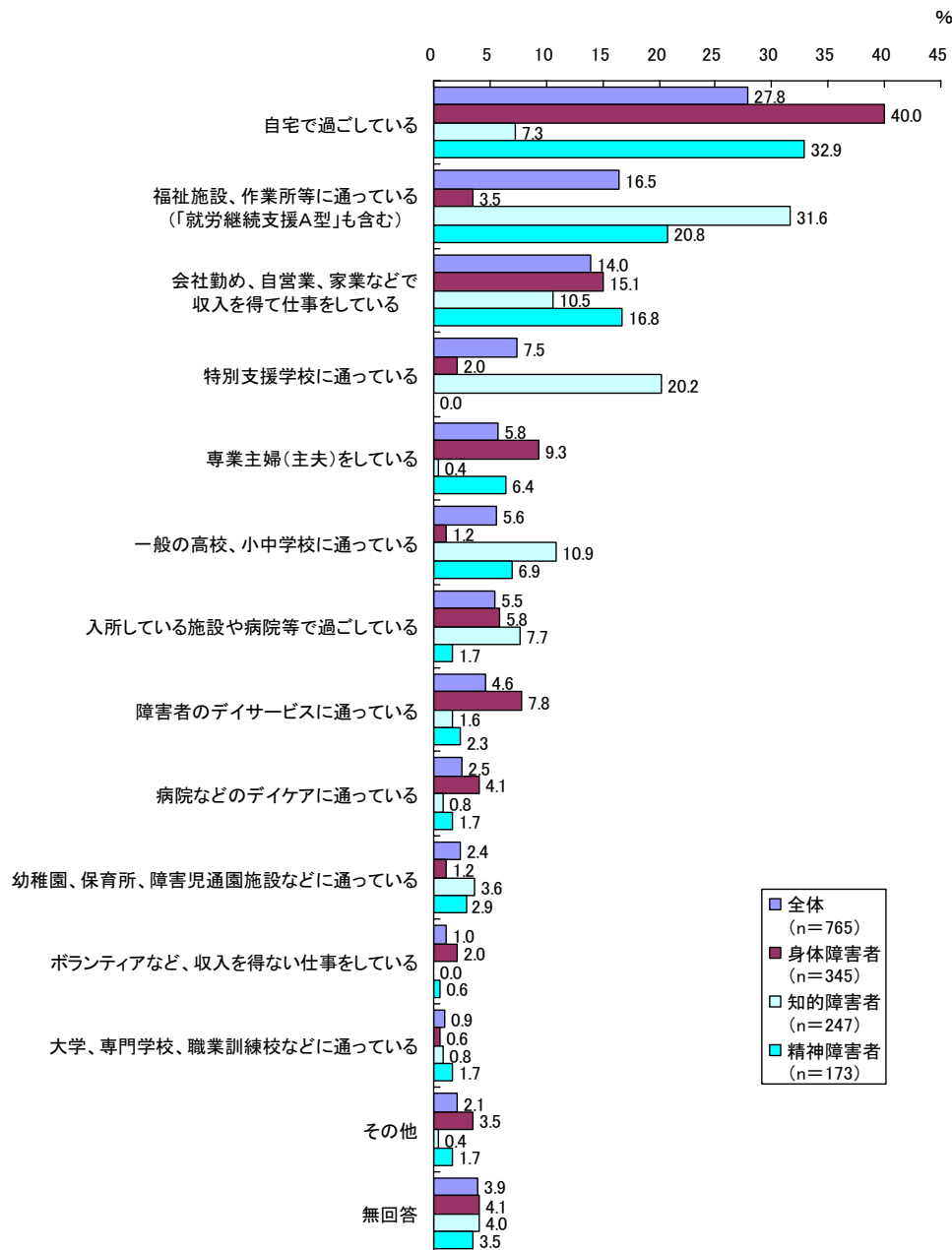
- 全体では、「無回答」を除くと、「困った時にどうすればいいのか心配」が19.7%、「コミュニケーションが困難」が17.3%、「外出にお金がかかる」が14.5%の順になっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「道路や駅に階段や段差が多い」が25.4%、「外出先の建物の設備が不便」が17.5%、「公共交通機関が少ない」が15.2%とバリアフリーや公共交通についての困りごとが高くなっています。知的障害者では、「コミュニケーションが困難」が32.9%、「困った時にどうすればいいのか心配」が29.1%と他の項目に比べ意思疎通の困りごとが高くなっています。精神障害者では、「外出にお金がかかる」が23.2%、「交通機関の割引がない」が19.6%、「発作など突然の身体の変化が心配」が19.0%、「困った時にどうすればいいのか心配」が18.5%と、経済的な困りごとと不時の困りごとが高くなっています。



**問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）**

○全体では、「自宅で過ごしている」が27.8%と最も高く、次いで「福祉施設、作業所等に通っている（「就労継続支援A型」も含む）」が16.5%、「会社勤め、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が14.0%と続いており、それ以外の項目は1割を切っています。

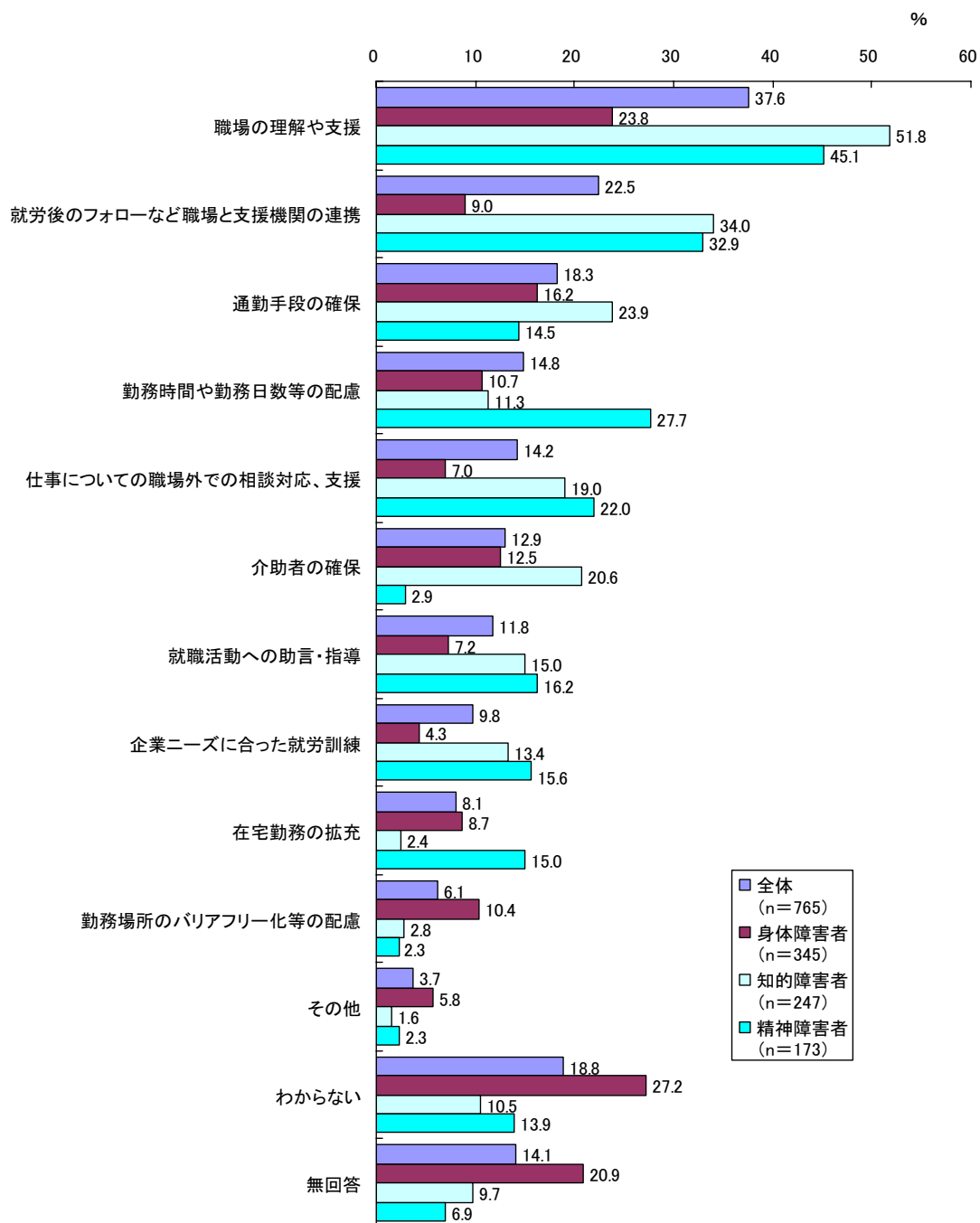
○障害種別に見ると、身体障害者では「自宅で過ごしている」が40.0%と4割を占めて最も高く、次いで「会社勤め、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が15.1%と高くなっています。また、「障害者のデイサービスに通っている」が他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「福祉施設、作業所等に通っている（「就労継続支援A型」も含む）」が31.6%、「特別支援学校に通っている」が20.2%と高くなっています。精神障害者では自宅で過ごしている」が32.9%、「福祉施設、作業所等に通っている（「就労継続支援A型」も含む）」が20.8%、「会社勤め、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が16.8%と高くなっています。



**問 21 あなたは、障害者の就労支援として、特にどのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるもの3つまでに○)**

○全体では、「職場の理解や支援」が37.6%と最も高く、次いで「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が22.5%、「通勤手段の確保」が18.3%と続いています。

○障害種別に見ると、いずれの障害でも「職場の理解や支援」が最も高くなっています。身体障害者では「勤務場所のバリアフリー化等の配慮」の割合が他の障害に比べ高くなっています。精神障害者では「勤務時間や勤務日数等の配慮」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。知的障害者では、「通勤手段の確保」「介助者の確保」が他の障害に比べ高くなっています。

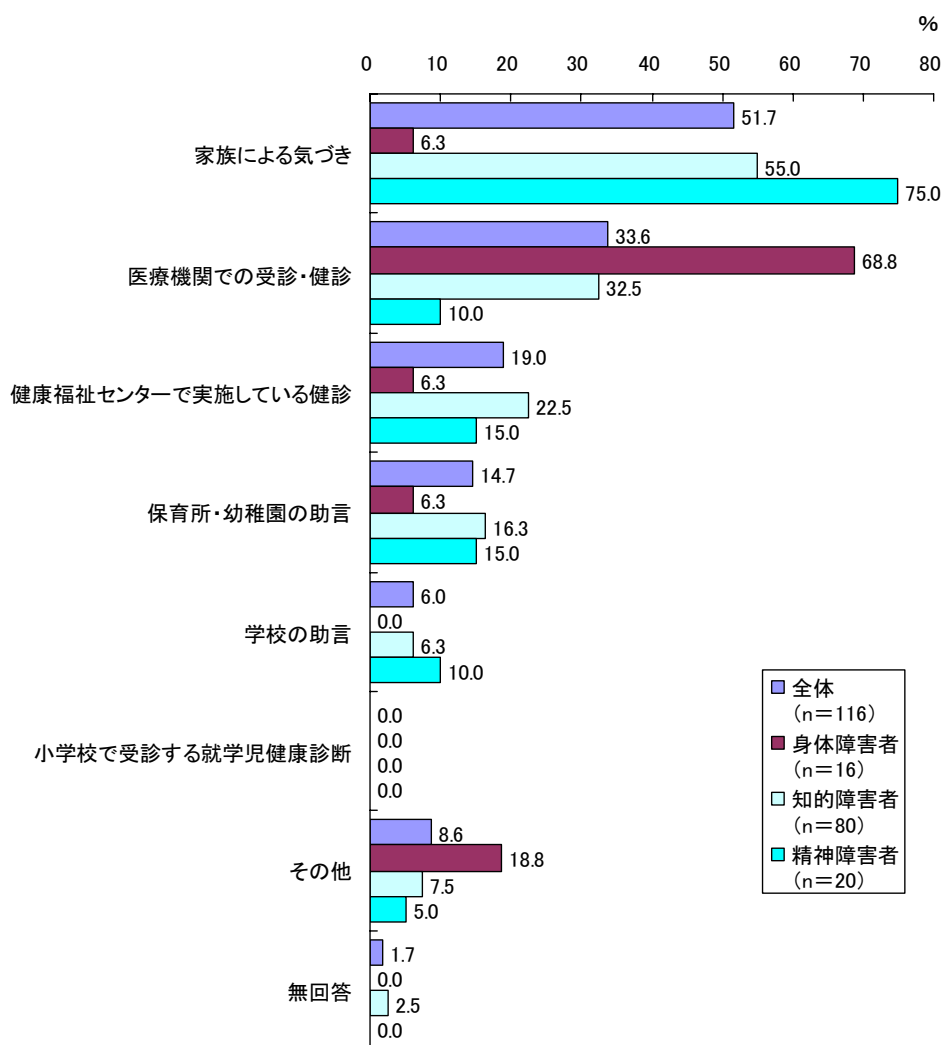


## (5) 障害のあるお子さんについて

問22~24は、障害のある18歳未満のお子さんの保護者の方におききます。

### 問22 お子さんの障害に気づいたきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

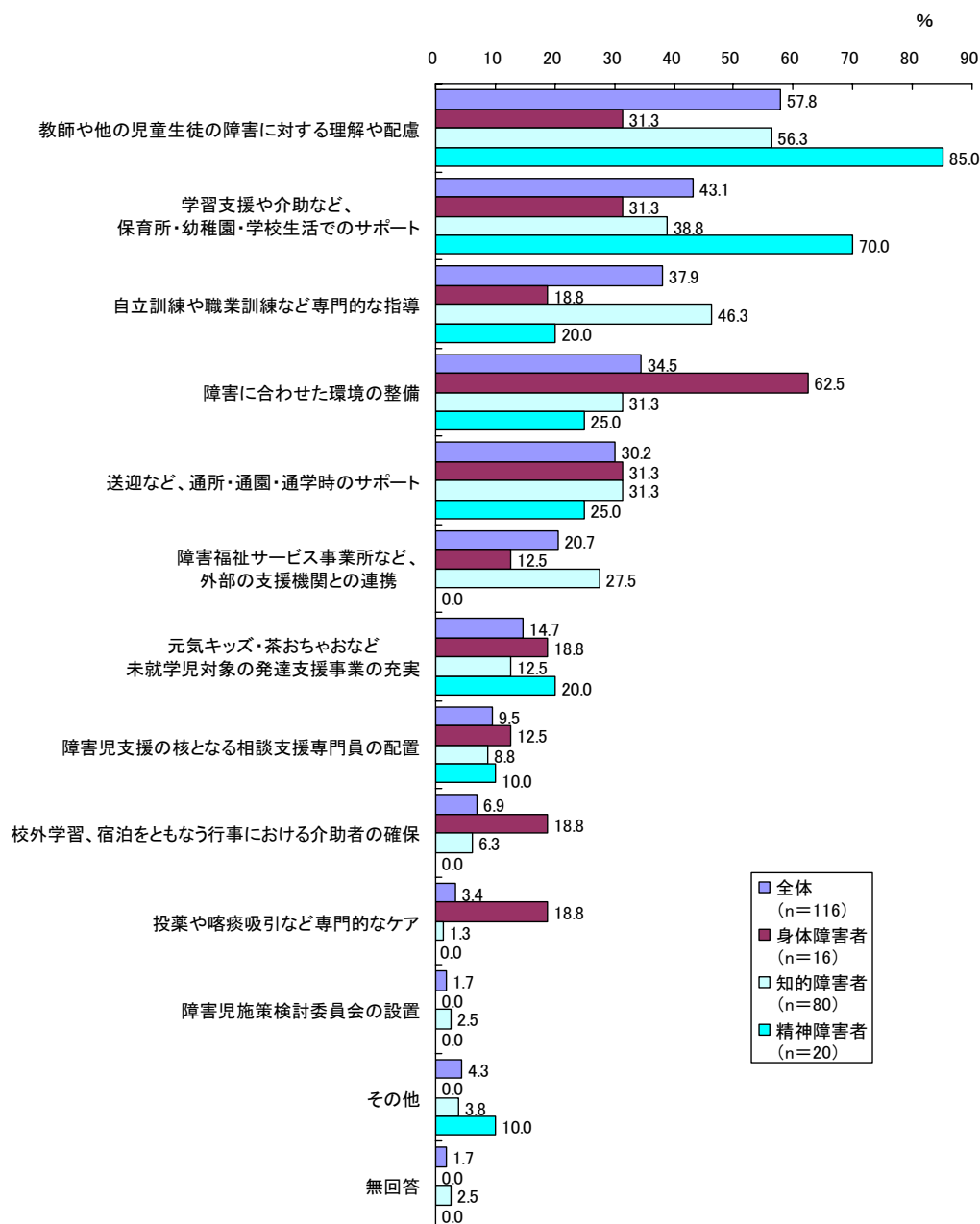
- 全体では、「家族による気づき」が51.7%と5割を超えて最も高く、次いで「医療機関での受診・健診」が33.6%、「健康福祉センターで実施している健診」が19.0%、「保育所・幼稚園の助言」が14.7%と続いています。
- 障害種別に見ると、知的障害者と精神障害者では「家族による気づき」がそれぞれ55.0%（80人中44人）、75.0%（20人中15人）と高くなっています。身体障害者では「医療機関での受診・健診」が68.8%（16人中11人）と高くなっています。





**問 23 お子さんが保育所、幼稚園、学校に通ううえで、特に求めることは何ですか。  
(あてはまるもの3つまでに○)**

- 全体では、「教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮」が57.8%と最も高く、次いで「学習支援や介助など、保育所・幼稚園・学校生活でのサポート」が43.1%、「自立訓練や職業訓練など専門的な指導」が37.9%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「障害に合わせた環境の整備」が62.5%（16人中10人）と突出して高くなっています。知的障害者では「教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮」が56.3%（80人中45人）、「自立訓練や職業訓練など専門的な指導」が46.3%（80人中37人）と高くなっています。精神障害者では「教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮」が85.0%（20人中17人）、「学習支援や介助など、保育所・幼稚園・学校生活でのサポート」が70.0%（20人中14人）と高くなっています。



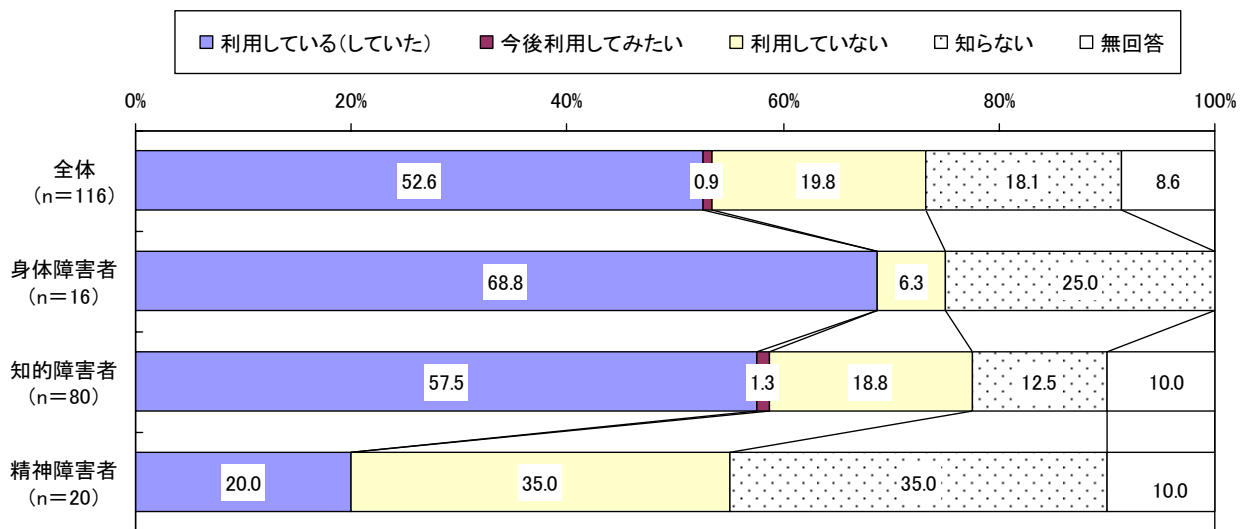
**問 24 市が行っている未就学児に対する次の事業について、該当するものに○をつけてください。(○は1つ)**

①健康福祉センター：児童発達支援事業 「元気キッズ」

○全体では「利用している(していた)」が52.6%と5割を超えて最も高くなっています。「今後利用してみたい」は0.9%と低く、「利用していない」が19.8%、「知らない」が18.1%とそれぞれ2割近くを占めています。

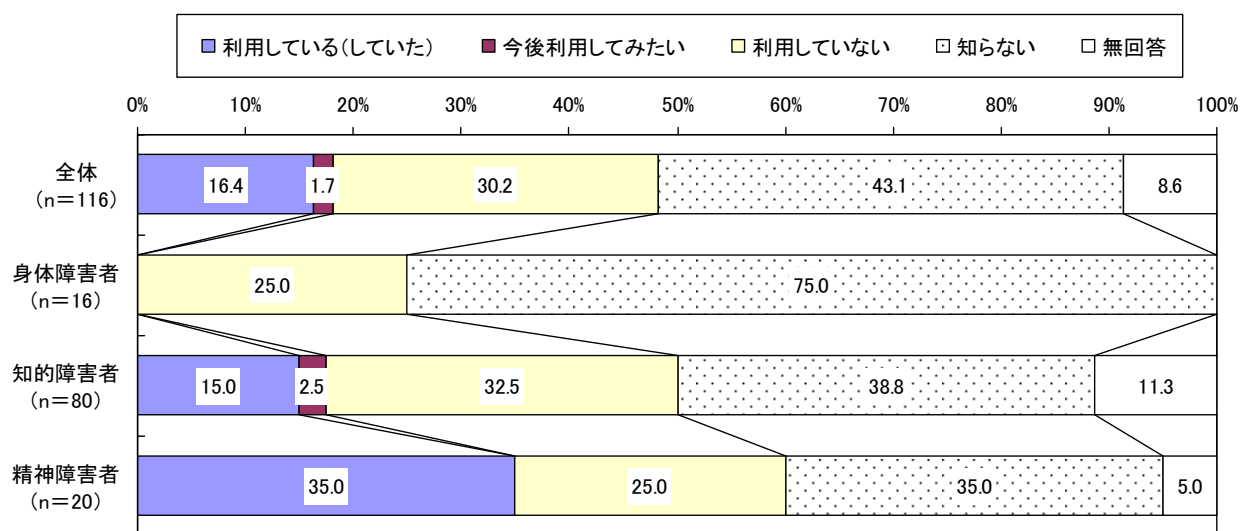
○障害種別に見ると、身体障害者では「利用している(していた)」が68.8%(16人中11人)と7割近くを占めています。一方、「知らない」は25.0%(16人中4人)と4分の1を占めています。知的障害者では「利用している(していた)」が57.5%(80人中46人)、「利用していない」が18.8%(80人中15人)となっています。精神障害者では「利用していない」「知らない」がそれぞれ35.0%(20人中7人)と高く、「利用している(していた)」は20.0%(20人中4人)にとどまっています。

○「利用していない」理由としては「学校に入ってから障害が判明した」「下の子を連れていけない」「特性と合わなかった」「いっぱい入れなかった」といった回答になっています。



## ②学校教育課 教育研究所：幼児の通級指導教室 「茶おちゃお」

- 全体では「利用している（していた）」が 16.4%となっています。「今後利用してみたい」は 1.7%と低く、「利用していない」が 30.2%と3割を占め、「知らない」が 43.1%と4割を超えています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「利用している（していた）」との回答はありませんでした。「利用していない」は 25.0%（16人中4人）、「知らない」が 75.0%（16人中12人）となっています。知的障害者では「利用している（していた）」が 15.0%（80人中12人）、「今後利用してみたい」は 2.5%（80人中2人）、「利用していない」が 32.5%（80人中26人）となっています。精神障害者では「利用している（していた）」「知らない」がそれぞれ 35.0%（20人中7人）と高く、「利用していない」は 25.0%（20人中5人）となっています。
- 「利用していない」理由としては「元気キッズに通っていた」「支援学級に通っていた」「病院の療育に通っていた」「送迎が困難なため」「空いていなかった」といった回答になっています。

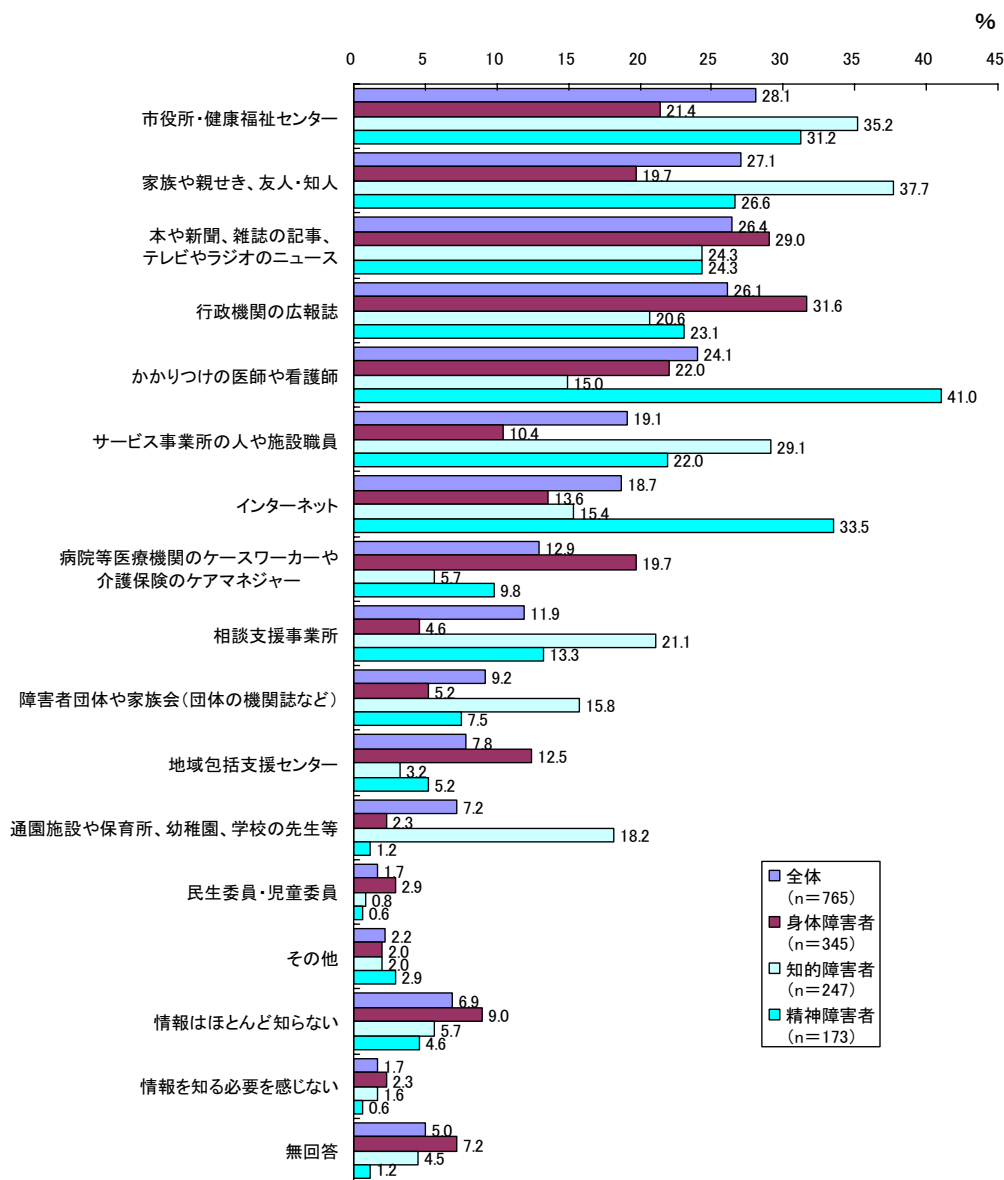


## (6) 相談相手などについて

**問 25 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）**

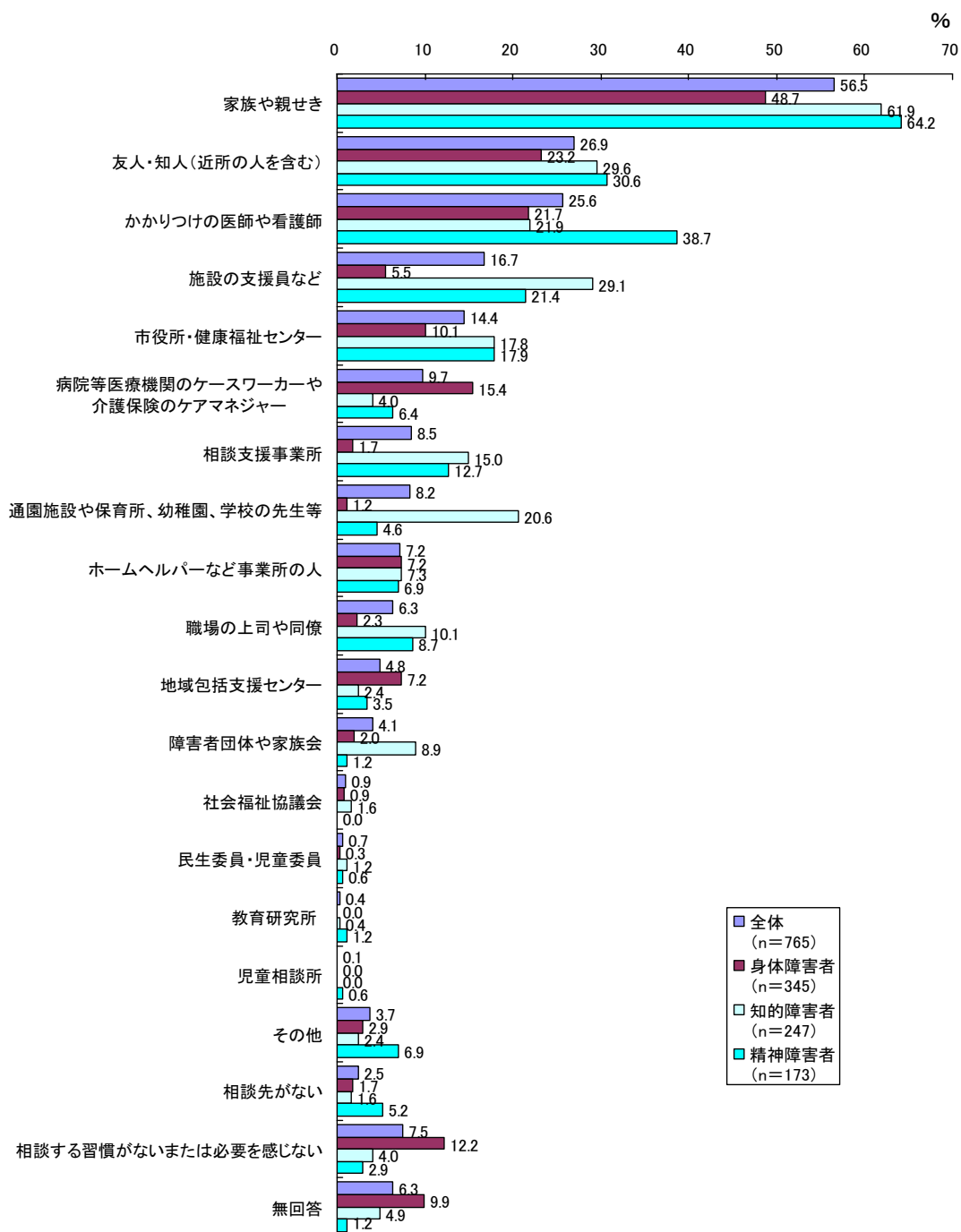
○全体では、「市役所・健康福祉センター」が28.1%、「家族や親せき、友人・知人」が27.1%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が26.4%、「行政機関の広報誌」が26.1%、「かかりつけの医師や看護師」が24.1%と続いています。

○障害種別に見ると、身体障害者では「行政機関の広報誌」「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の割合が高くなっています。知的障害者では「家族や親せき、友人・知人」「市役所・健康福祉センター」「サービス事業所の人や施設職員」の割合が高く、「相談支援事業所」「障害者団体や家族会（団体の機関誌など）」「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等」の割合は他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「かかりつけの医師や看護師」「インターネット」の割合が突出して高くなっています。



**問 26 あなたは、普段、悩みごとや困りごとをどなたに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）**

- 全体では、「家族や親せき」が 56.5%と 5 割を超えて最も高く、次いで「友人・知人（近所の人を含む）」が 26.9%、「かかりつけの医師や看護師」が 25.6%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「病院等医療機関のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」の割合が他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「施設の支援員など」「障害者団体や家族会」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「かかりつけの医師や看護師」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。

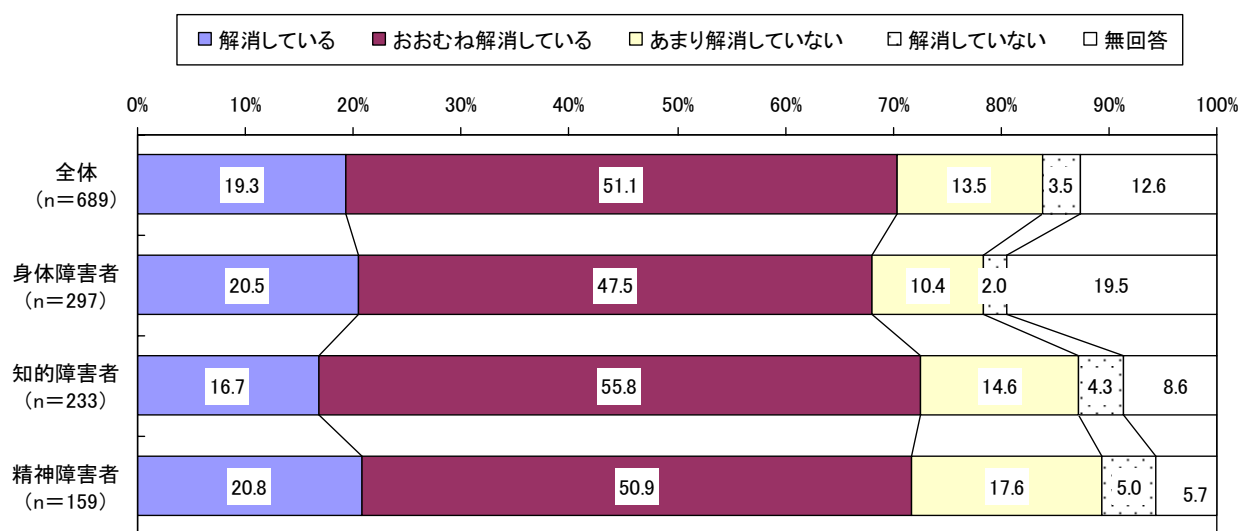


問26で「1」～「17」と回答された方におききます。

**問 27 問 26 で回答した相談先で、悩みや不安は解消していますか。（○は1つ）**

○全体では「解消している」が19.3%、「おおむね解消している」が51.1%となっており、二つを合わせた『解消している』は70.4%と7割を占めています。一方、「あまり解消していない」が13.5%、「解消していない」が3.5%となっており、二つを合わせた『解消していない』は17.0%となっています。

○障害種別に見ると、悩みや不安が『解消していない』は、身体障害者では12.4%、知的障害者では18.9%、精神障害者では22.6%となっています。



問27で「3. あまり解消していない」または「4. 解消していない」と回答された方におきまします。

**問28 その理由を自由にご記入ください。**

○相談先で悩みや不安が解消していない理由は以下の通りになります。

◆**身体障害者**

- ・毎日介護している人にしか分からないと思うから。
- ・現実味があまりないように思う。
- ・心の持ちようだから、気が晴れたり、落ち込んだりの繰り返しです。
- ・当事者意識がなく親身がない。
- ・日中一時支援、放課後デイなどお願いしたくても医療ケアの子を対象としている所があまりない。
- ・話すことでスッキリする事はあるけれど、根本的な解決にはならないから。病気や障害について知らないから。
- ・家族で話し合う。
- ・お金では困ることがありますが、自分の親兄弟でも頼れないことが多いです。
- ・市の窓口で相談してもよく分かっていないことが多々あった。説明が難しい。希望の支援施設がすぐ見つからないなど。専門用語が多く、理解するのに時間を要する。
- ・病院の先生の話をよく聞いて、毎日少しずつでも歩き又水を1日2L飲むように。1日洗濯掃除。
- ・色々の話を考えている！
- ・身体障害4級でストマ装着しているが患部が変形してストマが（半年に45,000円支給してもらっているが）それ以上の50,000円かかってしまう。ストマ援助を10万円にしてほしい。年金暮らしで生活を圧迫している。
- ・中、長期の計画などは作成してくれるが実際に役に立っているとは思えない。
- ・話は聞いてもらえても決まりごとが多くて実際は何も変わらないから（例えば一人暮らしの人ならしてもらえる事でも家族と一緒にだと昼間たとえ一人でもやってもらえることに制限が有ったりするから）。
- ・十分な療育環境がなく伸ばせるものも伸ばしにくい。
- ・小学校入学にあたり地域の普通学級入学の壁が高い（国立肢体特別支援学校の先生には支援学校の対象でないレベルと言われている。）学校に通うのに親の支援を要すようでは親の就労が継続できない。介護離職と同じ問題。またサポートしないと同じ教育が受けられない状況にも問題がある。（校長次第でプールに入れる年もあれば入れない年もあったという）地域の障害児の受け入れ。公立保育園でも地域に乏しく関係機関のサポートも弱すぎる。
- ・話す人がいない。
- ・夫は認知症で娘は入院しているけれど退院してもなかなか行く施設がないので退院を延ばしてもらっている。グループホームだとお金が高く入れないので年金を頂いているぐらいで入れるところがあればよい。
- ・特にその目的がない。

- ・難聴6級。70デシヘルツで許可されるらしく（医者機械の認定）今日は駄目らしく聞こえの機械とかよりも生活一緒にしてくれればどれだけ聞こえが悪く苦勞していることが分かるはず。
- ・しっかりした事業所がなく不満を言っても解消されないから、体に影響が出ていないか心配しています。
- ・自身の頭、気持ちで解消している。
- ・特によく言ったと感じないだけ。
- ・30年前手術をした病院がなくなり、当時の記録がなく治療方法が分からないと言われる。
- ・まだそこまで生活するうえで困難ではないので少しのアドバイス、手助けで済むから。
- ・聞いた質問に答えられない事が多い。
- ・病気や痛みの事は相談しても治らない。
- ・色々な悩みがあり、解消していない。
- ・当事者じゃないから上っ面しか聞いてないし、答えも出てこない。結局言っても分かってもらえないし、言わなきゃよかった、と思う事の方が多い。

#### ◆知的障害者

- ・障がい者が自立できるような職業、職業訓練、企業の紹介などの数が少ないような気がする。障害者を受け入れる会社のアプローチが弱いような気がする。
- ・深く相談できる人がいない。自分1人で抱え込むことが多い。
- ・色々良い事は言ってくれるが、アポイントを取るのは親で、相談員さんがアポイントを取ってほしい。
- ・2～3か月に一度しか予約を取れないので、相談したくても時間が空いてしまう。
- ・話を聞いてもらって、悩みを打ち明けても具体的な解決法がなかなか見つからず、また悩むことが多い。
- ・差額ベッド代にお金がかかり、毎月がギリギリで将来が不安である。
- ・自分の悩みを中々理解してもらえない。不安はいつも心の中にある。
- ・人との関わり、コミュニケーションが取れないため。
- ・その場限りの対応だったりして、長い目で考えることがなかなかできない。利用したいサービスがあっても、ヘルパーさんの人手不足で思うように利用できない。
- ・親。
- ・問題行動は、誰かに質問、相談したとこでなくなるわけではないので。
- ・病院や治療方法などは友人、その他のお母様に相談。その他子供自身に関する事は解消されませんが話を聞いただけでも悩みが軽くなる。
- ・自分の行動やコミュニケーションの取り方や人間関係の事など、その他いろいろと話を聞いてくれる。
- ・施設入所していますが、一時自宅に帰られなくなり車にも乗りません。歯医者に連れて行きたいのに、ここ2年ほど行かれずにいます。歯があまりないので…虫歯が心配です。
- ・1人で抱えて悩むしかないんです。理解されないのだから。
- ・専門的な事を知らないため。
- ・職場の上司が障害に対し、思いやりがない。



- ・既存の事業所で何とかしなくてはならない。親が長い時間働きたくても、事業所が予約を取れないといけない。費用も掛かるので悩む。一人親なのに限られた時間しか働けず、先行きが不安。近所の民生委員に相談しても、あまり解消しなかった。しかも、その民生委員は偉そうで非常に不満。
- ・親にとっては「2. おおむね解消している」、でも本人にとっては「3. あまり解消していない」かもしれない。本人の立場（重度知的障害）に立って考えれば色々伝えたい事もあるのかもしれないが、こちらとしては「いつもと様子が違う。落ち着かない。パニックになっている」という現象が起きた時になぜなのかを探るし、解決しようとはする。しかし、本人にとっての原因やそれが本当に解決したのかは分からない。多分、解消していないのでは？
- ・精神科に通院していますが親が薬を取りに毎月行きます。その時本人の日頃あったことを話します。
- ・障がいのある事を理解してもらえない。学校の先生も理解されていないので特に対応されていないのが現状。対応できないのなら、違う方法を考えてもらうか、障害について先生も勉強してほしい。
- ・悩みは尽きません。そんなに簡単な事ではありません。
- ・障害がある限りずっと続くかと思えます。
- ・その日に相談した時は気持ちがすっきりしますが、また日が経つにつれて気持ちが落ちてしまいます。
- ・最近体験した嫌な事をよく思い出して苦しい。もしかして専門医のカウンセリングだと思う。
- ・最初は良い方向に進行していると思ったが、時間が1週間ほど過ぎると、また同じこと（妄想、眠れない等）を繰り返すことになった。薬をその都度無理に飲むことになり特に眠れない時は困る。
- ・発達がゆっくりなため、不安の方が多いです。
- ・悩みが尽きないから。
- ・言語を使う事が出来ないので、接している人がいろいろ想像して理解するしかない。
- ・施設の生活なのであまり改善されない。
- ・親が居なければ無理。
- ・結局は自分で情報収集しないと何も分からないから。教えてもらわないとずっと知らないままの情報はまだたくさんある。
- ・自分から質問する事をためらう事がある。（自閉症の為か？）。
- ・担当者が退職などで代わり、継続しての取り組みが出来なかったことがある。
- ・よく理解できないため。
- ・将来の不安は常にあるので。
- ・中々面接に行っても、仕事で雇ってもらえません！それが辛いのです。
- ・常に不安。
- ・身近に相談できる人がいない。話をしても解決しない。聞いてくれる人理解のある人がいない。
- ・子供の発達などに関することの助言は参考になりますが、それを活かしたとしても劇的に良くなるわけではないし、うまくいかない時もあるし、解消されることはずーっと無いと思います。
- ・友人が出来にくい。希望に合った就職が出来ない。

## ◆精神障害者

- ・相談する日時が限られている。
- ・高次脳であることを本人は知っているが、病識がなく相談したり、生活に困ったことがあっても何とかする事が出来ない。困った時にその場で対応しないと予約したり待つことはできない。
- ・親の死後生活をどうしていったらいいか分からない。
- ・自分が納得するような適切な回答、またはアドバイスが得られないことが多い。
- ・作業中心になっている。職員が厳しい。
- ・病気が良くなると根本的に解決しない。
- ・経済的です。
- ・現在の自分は統合失調症に加え、「ひきこもり」にある為病院の主治医や両親にも悩みや不安を「ありのまま」に伝えることが困難な状況。悩みや不安を自分1人で抱え込んでしまっている状況。
- ・地域、就労支援機関、就労移行支援事業所との連携がうまくいかない。
- ・障害年金を受給できないから。
- ・病気を持った人間が仕事と両立することは市などが考えている以上に厳しい。
- ・生活困難で病院に行く事が出来ない。
- ・悩みは尽きない。
- ・経済的な収入が低く、生活全般に不安がある。
- ・金銭面の事はうまく言えず困ってしまう。
- ・学校の学習に困っている⇒解決策が分からない。
- ・軽度の為理解されず、親の勝手な思い込みに思われる。
- ・同情してもらえるので、不安感は話すといふ消えるが、過去の記憶で私は悩んでいて、相談した相手はその事を知っていると思ったが忘れていいのか、私の記憶と違い、過去に有った重大な被害の記憶が本当にあったか、なかったか、私は精神障害の症状のせいで分からなくなったと思うので、解消していません。
- ・解決方法がない。
- ・年金生活の両親が亡くなった後の生活不安。
- ・症状が意味不明で自分でもよく分からない。
- ・どこもいけない。生きる気力もない。早く死にたい。
- ・長期入院中で、退院後の事を考える段になり、親も年を重ねて病気を持っている。
- ・私自身、薬の副作用が出やすいようで、薬で抑える、緩和するという事が難しい為。
- ・父に死なれたり、病気やけがで活動できなくなった際の対応に不安を抱えている。
- ・解決するのに難しい問題だから。
- ・現在障がい者採用（非正規社員）であり、今後の収入が心配。年金は少しでも働くとすぐに打ち切られ、収入の為に無理してさらに勤務時間を増やさざるを得ない。体調が持つか、不安になる。
- ・相談する人がなかなかいないため。
- ・市役所などに相談しても、あまり情報を共有していない。小学校の通級に通っているが、親同士のつながりを作る場を提供してくれない。放課後等デイサービスの詳しい一覧表などがあると大変助かります。
- ・くすりをのんでもきかない。じぶんではなおすきがない。とちゅうでダメになる…。

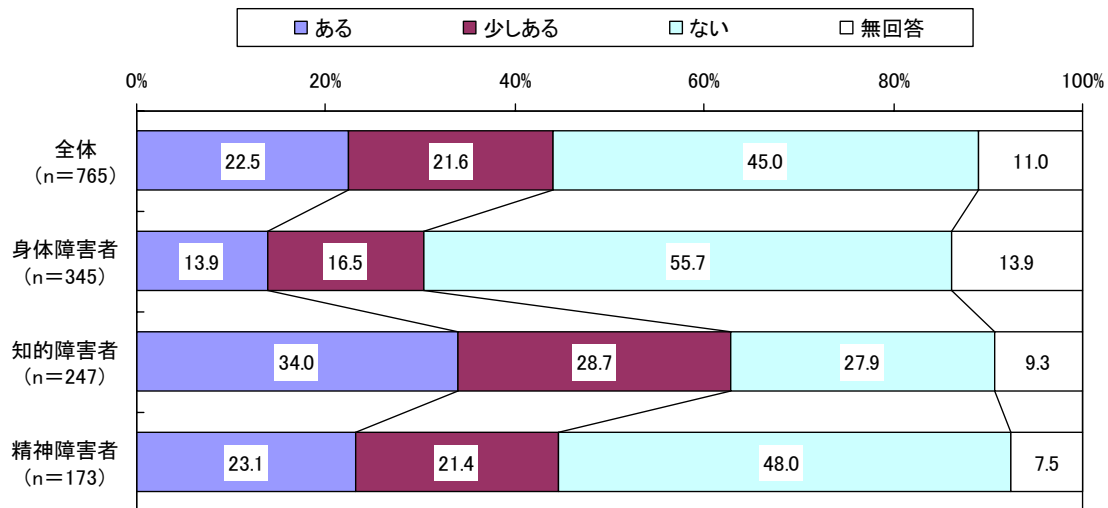
- ・話をしても、解決方法はない。解決は死ぬしかない。
- ・親も精神障害だから。
- ・毎月1回定期検診に行っている先生に、毎回相談して悩みを話して解消しています。
- ・自分から悩み等相談する能力がないようだ。
- ・解消できない事もあります。

## (7) 権利擁護について

**問 29 あなたは、障害があることで差別される(された)ことや嫌な思いをする(した)ことがありますか。(〇は1つ)**

○全体では「ある」が22.5%、「少しある」が21.6%となっており、合わせると44.1%となっています。

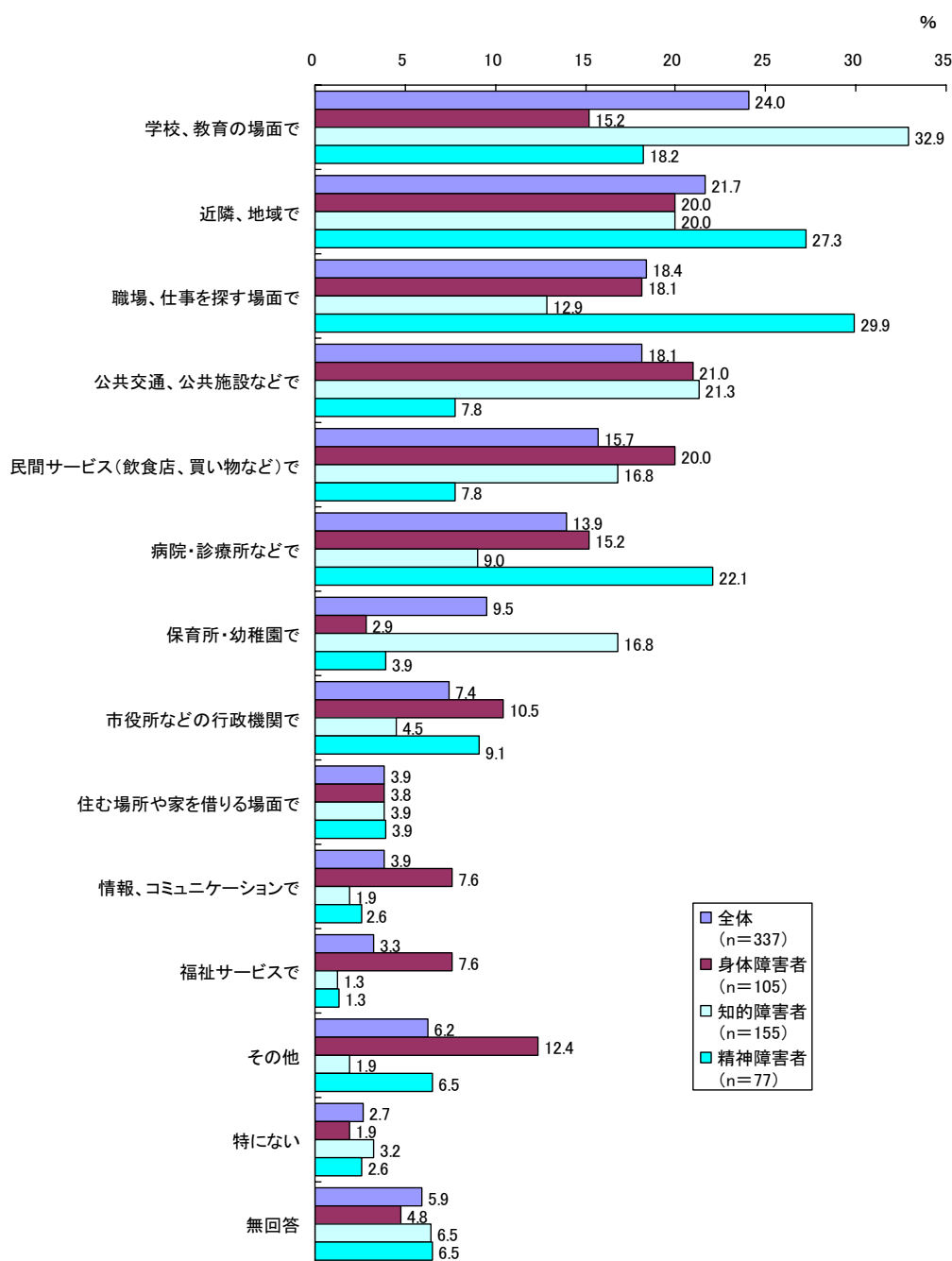
○障害種別に見ると、身体障害者では「ある」が13.9%、「少しある」が16.5%で、合わせて30.4%と3割を占めています。知的障害者では「ある」が34.0%、「少しある」が28.7%で、合わせて62.7%と6割を超えています。精神障害者では「ある」が23.1%、「少しある」が21.4%で、合わせて44.5%と4割を超えています。



問29で「1. ある」または「2. 少しある」と回答された方におきまします。

**問30 どのような場所・場面で差別されたり嫌な思いをしましたか。（3つまで回答）**

- 全体では、「学校、教育の場面で」が24.0%、「近隣、地域で」が21.7%、「職場、仕事を探す場面で」が18.4%、「公共交通、公共施設などで」が18.1%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「公共交通、公共施設などで」で21.0%、「民間サービス（飲食店、買い物など）で」と「近隣、地域で」で20.0%と高くなっています。知的障害者では「学校、教育の場面で」で32.9%、「保育所・幼稚園で」で16.8%と他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「職場、仕事を探す場面で」で29.9%、「近隣、地域で」で27.3%、「病院・診療所などで」で22.1%と他の障害に比べ突出して高くなっています。



○差別されたり嫌な思いをした具体的な内容は以下の通りになります。

#### ◆ 1. 市役所などの行政機関で

- ・身体障害者手帳申請の時、嫌な態度を示された。（身体）
- ・足が悪く、歩き方が変なのでじろじろと見られ嫌な思いをした。（身体）
- ・何となくですが視線。（身体）
- ・病気に対する理解がない。（身体）
- ・窓口担当によって相談内容に対する返答が嫌な思いをすることがあった。でもここ数年は、とても親切丁寧に対応して頂き助かります。（身体）
- ・声による呼び出しが聞こえにくいので（番号表示など）視覚による呼び出しがあると良い。（身体）
- ・就学猶予願いを5年間出し続けたが（市役所からの指摘）養護学校に入学すると年齢通りの学年だった。（身体）
- ・本当の生活を見ているわけではないので苦しみは分かってもらえない。（身体）
- ・入間市はひどい。市役所市民課で窓口の人感じが悪かった！！障がい者の大変さがわからない。窓口で座って話せるところが欲しいし、要望したが笑われた。都内の区役所ではちゃんと座って話せるところが設置されている。待っている間も座れるのに入間市はひどすぎる。その話をしてもここずっと変わっていない現状です。宮寺支所で私の方が先に入っていたのに話もしていたのに後から入ってきた背の高い美人の人の手に持っている紙を見てどうぞと手を出してその人の方を先にやってあげて私は身障者で松葉づえなのになんとずっと立って待たされた！やっとな時間が過ぎてその人の分が終わり、ずいぶん待たされたがどうして私の方が先なのに後ろの人をやったのか。足の具合の悪い障がい者をずっと立ったまま待たせたのか聞いたが「すみません」といっただけ！！大変不快です。ひどい！！（身体）
- ・歩行困難児は保育園の受け入れはしていないと言われたが、次年度にもう一度聞きに行ったら、歩行は関係ないと言われ、大切な時期を無駄にした。（知的）
- ・保育所、園の入所で障害があるからと、希望していた園には入れないなどその後相談に行っても門前払いのような対応だった。（知的）
- ・本人に関する事でも、本人にではなく親にすぐ聞く。すぐに答える親も悪いですが、まずは本人へ声掛けしてもらいたい。ちゃんと語りかけてくれる人もたくさんいます。念の為。（知的）
- ・小さい時に電車の中で。（知的）
- ・選挙時、投票用紙の記入に関する事項。（知的）
- ・相談しやすく、色々アドバイスしてもらえる。（知的）
- ・健診の時、出来ない事が多く保健士から何でできないのと言われた（入間市ではありません）。（知的）
- ・大きな声や変な行動をしたとき、視線を感じる。（知的）
- ・信用してもらえない。他の人の嘘の方を信用する。（知的）
- ・自立支援証を見た市役所職員から「病気持ちですか？」と言われた。（精神）
- ・一つの場所で説明してもらえない。部分的。1階、3階とか4か所くらい回る。（精神）
- ・担当にひどく冷たい事を言われ、泣きじゃくってしまったら変な目で見られた。（精神）

- ・前の事になりますが、障害福祉課の職員に気持ち悪そうに私の書いた書類を持たれた。（精神）
- ・生活上の相談で相手にされなかったことがある。（精神）

## ◆ 2. 公共交通、公共施設などで

- ・電車に乗る時の対応の遅さ（JR）。（身体）
- ・点字ブロックが道の真ん中にあり不便。普段は端を歩いている。（身体）
- ・経管栄養のチューブや器官カニューレを付けているのでじーっと見つめられたりチューブを引っ張って抜かれたこともある。（身体）
- ・満員電車の中やエスカレーターに乗るときもたまたまいたり遅いので嫌な顔をされる。特に杖は邪魔にされます。（身体）
- ・車いすで板を出してもらおう時「邪魔」と言われる。（身体）
- ・見た目では障害がわからないため、電車や駐車場で嫌味を言われることがある。（身体）
- ・JRは乗りたい電車にすぐ乗せてもらえない。西武線はよい。（身体）
- ・公共交通機関での混雑時に急かされる。（身体）
- ・電車の手すりがある所にしか座れないので代わってください、と言った時嫌な顔をされた。（身体）
- ・下肢の障害ゆえ見た目では健常と思われる。（身体）
- ・ティーロードバスの運転手とけんか（最近はない）。（身体）
- ・人の目。つかまる所がないので、遅いとあおられている気がする。（身体）
- ・バスを待っていたら、親子づれに差別用語をはかれた。親は子供に対して何も注意しなかった。（身体）
- ・急がされる。（身体）
- ・子供用車いすが車いすとして認識してもらえず、大きいベビーカーと思うようで、じろじろ見られる。好きで大きいものを使っているわけではないのに。階段しかない駅で、車いすの方はボタンを押してください、と書いてあったのでボタンを押したら中々来てくれず、寒い中15分くらい待ってすごく嫌そうに車いすを持って階段をおろしていた。（身体）
- ・何となくですが早く早くとせかされているように感じる。（身体）
- ・不思議そうに見る人がいる。（知的）
- ・トイレ介助の時。（知的）
- ・小さい時に小学校の子供たちに唾を吐かれた。しかし、2日くらいして「ごめんなさい」と子供たちが謝り、それはやはり親の私が毅然としてこの子は病気なのだから、と言って…子供たちの親御さんも分かったようである。（知的）
- ・動物園に連れて行った時、振り返って何度も見られた。（知的）
- ・電車内。（知的）
- ・電車などで大声を出してしまう。（知的）
- ・コミュニケーションが難しく、小さい子の様なので、じろじろ見られてしまうことが多い。（知的）
- ・「ガイジこわい！」と言われた。じろじろ見られる。（知的）
- ・電車でしゃべり声が大きめだったところ、小学生にもなって静かにできないなんて電車に乗るなと怒鳴られた。（知的）

- ・電車乗車中興奮して泣いてしまった時、周囲の人の目が辛かった。(知的)
- ・バスの中などでじろじろ見られる。(知的)
- ・バスの無料パスを持っていると、変な目で見られる。バスで座れない。(知的)
- ・女子高生にいきなり叩かれ傘を取られたことがあります。(知的)
- ・利用方法が分からないと「遅い！」といわれる。バカにされる。(知的)
- ・人が集まる場所で間違っ隣にいたおばさんを叩いてしまった時「障害あるのね！」と一言言われた。本人は何も感じていないが一緒にいた小学生の姉が「あんなこと平気で言う人いるんだね」とショックを受けた。冷たい目で見られることはあったが、直接言葉として言われたのは初めてだったのでとても心が痛い。(知的)
- ・バスとかで療育手帳を見せるとめんどくさそうにされます。(知的)
- ・車いすを利用していた頃バスの乗車拒否(バス停で待っていたが通過された)。(知的)
- ・周囲の方への配慮が不足しているために、座席を横柄に使っていると思われたりし周囲の方から注意されることがちょこちょこあった。(本当は福祉バスで練習しようと思ったが、時間が相談に行った直後に変えられてしまい、出来なかった。わざと…と思っている)。(知的)
- ・路線バスの乗車拒否など(西武バス)。(知的)
- ・電車の中でドア際にしかたないため、割り込むと嫌な顔をされる。(知的)
- ・奇声をあげてしまい白い目で見られた。(知的)
- ・会話や行動をジロジロ見られた。(知的)
- ・じろじろ見られた。(知的)
- ・大きな声で話すのでバスや電車の車中で見られる。(知的)
- ・ずっと顔を見られる。(知的)
- ・電車内で避けられる。じろじろ見られる。(知的)
- ・車椅子が邪魔になる。電車で言われる。(知的)
- ・電車の中で騒ぎ白い目が痛くて障害者用トイレに入ったらどこか障害?という感じで声掛けられた。(知的)
- ・外で大きな声など出してしまったりした時に障害を理解されず注意されること。(知的)
- ・押し倒された。(知的)
- ・ジロジロとみられて嫌だった。(精神)
- ・バスの運転手によるが、他の乗客には「ありがとうございます」というのに、障害者手帳見せて降りた乗客には無言…。(精神)
- ・バスで「あなたの悪いところが見えない」と言われ続けた、みんなバスのパス(市の手帳使わず、パスモで降りる)。(精神)
- ・路線バスに乗るときに障がい者手帳を手に持っていたら高校生から「障害者だ」と言われたことがある。JRと私鉄の運賃割引が秩父鉄道以外ない。(精神)



### ◆ 3. 職場、仕事を探す場面で

- ・聴こえないのを理由に仲間外れにされる。(身体)
- ・説明時ボードで記入する場合など。(身体)
- ・一般の人と同じなのに障害の事を聞かれる。(身体)
- ・仕事がなかなか見つからない。(身体)
- ・内臓移植の為見た目は健常者と変わらないので面接時に理解されず話しにくい。(身体)
- ・過去に仕事を探す時、ストマ装着していることを言うと必ず落とされる。理解が無い。(身体)
- ・ことばで言われた。(身体)
- ・OLの時に1人で休憩をしていると仲間外れにされた。(身体)
- ・手帳があるので条件は厳しいし、職場に入っても周りの見目が表に出てきます。周りに理解者がいないと辛いことが多いです。(身体)
- ・耳が悪いと面接で落ちる。(身体)
- ・勤務先からの解雇。(身体)
- ・外見は健常者と区別できないので福祉サービスを受けていること自体ずるいと言われ嫌な思いをした。(身体)
- ・両手で物を持って歩くことが出来ないので、簡単でもできない仕事がある。(身体)
- ・病気やけがをしたとき、面倒と言われた。(身体)
- ・選択肢が少なく、行きたいところを選べなかった。(知的)
- ・些細なケンカです。大したことはありません。(知的)
- ・休むことが多く、説明しても、理解してもらうのは難しい。(知的)
- ・障害がある為バカにされたりした。(知的)
- ・仕事をもらえなかった。(知的)
- ・前に勤めていたところで職場のパートさんからいじめを受けて退職する事に。4年間で退職。(知的)
- ・仕事の段取りを自分の中で順番立てしていたが、上司にも優先順位が違っていると指摘を受けた。(知的)
- ・時々、奇声を発したりしたときに周囲が特殊な人間であることを認めてくれない。(知的)
- ・職場内での子供の話になった時、子供の事は言いづらい。(どこに行っているのなど)。(知的)
- ・仕事。(知的)
- ・(てんかん)と知ったら面接を断られること。(知的)
- ・保護者にいじめられた。親が送迎ができないため。(知的)
- ・一部の人が挨拶をしなくなってきた。(知的)
- ・親は毎日本人と共にはいないので、言葉の感じ方などで本人は困るようです。(知的)
- ・月に休日が1日の時があり、給料も何千円だった。原因がはっきり分からないが耳の鼓膜が切れて苦しんだことがある。(知的)
- ・口頭で言語によるコミュニケーションが取れないため、通所を拒否された作業所が多い。(知的)
- ・面接で落とされること。(知的)
- ・自分にあった仕事を続けるために就職を希望したが落ちて出来なくなった。(知的)
- ・職場の人の言っていることが分からない時がある。(知的)
- ・面接にて。(精神)

- ・仕事が見つからない、面接もしてもらえない。（精神）
- ・職場で偏見、差別を受けている。（精神）
- ・一般の会社に就職したときいじめられました。特にヤマザキパンではひどく乱暴な言葉を浴びせられ、時にはハサミを投げられたそうです。（精神）
- ・障がい者だから聞いちゃダメだよと言われた。（精神）
- ・障がい者として働いているが、言葉づかいに違和感を覚える。（精神）
- ・面接で病気の事を伝えると、全て内定がもらえなかった。（精神）
- ・仕事を辞めればいいのに等、理解の無い言葉を投げかけられた。（精神）
- ・ハローワークで。（精神）
- ・仕事をさせてもらえない。（精神）
- ・あなたの障害では仕事は見つかりづらい、と言われた。（精神）
- ・面接のときに精神疾患（うつ）になったことは、あなたに問題があると言われた。また、精神面が弱いから、と言われた。（精神）
- ・仕事を与えられないことがある。（精神）
- ・仕事が出来ない。面接では分からなかった。仕事したら変…。遅い。どっか変な人！いらぬ。（精神）
- ・職業安定所の人に新聞に載っていない熟語を繰り返し質問されたとの事。（精神）
- ・うまく理解してもらえないことがあり、賃金を下げられた。（精神）
- ・職場や面接で、自分の障害の内容を説明しなければならない時、中々理解を得られない。「昔はそんな病気無かった」等説教されることも。（精神）

#### ◆ 4. 学校、教育の場面で

- ・小学校の時に担任の先生から差別をされた。（身体）
- ・仲間外れ。（身体）
- ・いじめ、からかい。（身体）
- ・いじめ（無視、悪口など）。（身体）
- ・子供が学校でからかわれた。（身体）
- ・学生の時いじめられていた。（身体）
- ・歩行困難だが、知的情緒ともに問題ないので地域の小学校の校長に入学の話をしたところハード面整備に前向きでない話が返ってきた。校長先生の考え一つで受け入れや学校生活が左右されてしまい、平等であるべき教育の機会が奪われてしまうのは問題だと感じる。（身体）
- ・公立の小学校で同級生に「じゃま」とつぶやかれた。（身体）
- ・時折の教師の対応。（身体）
- ・同級生全員に仲間外れにされた。（身体）
- ・養護学校では学年は学校長が決める！とのことで。就学猶予願いは出しても何も役に立たなかった。どうしてマッチングしていないのですか？。（身体）
- ・コミュニケーションが難しく色々大変でした。（身体）
- ・兄弟の通う普通学校の職員の方たちには理解が足りないと思う。福祉の教育をしながらも配慮が足りないと思う場面がある。（身体）
- ・多動が有り、認知力も低い為、扱いにくいと遠まわしに言われる。（知的）

- ・同級生のいじめ。(知的)
- ・普通の人と違って、目立つところでいじめられた。(知的)
- ・車いすで手をケガしたり、前歯2本折られた。養護学校の時。小学校で学校の先生からいじめられた。(知的)
- ・小学生のころ、からかわれたり意地悪をされました。(知的)
- ・昭和の教育の中で小学～養護学校、精神的いじめが殆ど。(知的)
- ・小、中学校の時は教室のカーテンを首に巻きつけられたりよくいじめられた。男の担任教師の方が注意してくれたのでよかったと思う。(知的)
- ・担任の先生など障害という事で気持ちのどこかに「できない！」と思われているのでやらせてもらえない事がありショックでした。(知的)
- ・小学校の合唱コンクールで当日人手不足の為休むように担任から言われた。(知的)
- ・養護学校で教員による暴言や暴行など。(知的)
- ・小学校の頃友達から偏見の目で見られたり仲間外れをされたことがあります。(知的)
- ・重複障害児だったため、一般学級の教師から存在を忘れられ連絡や必要物品など教えられなかった。名簿に名前が無かった。(特支でもこんなことがあった)。(知的)
- ・先生が自分にいやなことを押し付けたりして、クラスが言うことを聞かなかったり、一人だけ怒られなかった。(知的)
- ・いじめ。(知的)
- ・いじめ。(知的)
- ・支援級に通っていますが、普通級の子に「あの子変だからしょうがない」と言われて、その日は涙が止まりませんでした。(知的)
- ・小学校を選ぶときに、しゃべれない子は無理と断られた。(支援学級の先生)支援籍学習の時、一部のクラスの子供が嫌な顔。近寄らない。(知的)
- ・小学校の時、一人の先生が多数見てくれたのですが手がまわらない。(知的)
- ・小学校の時、担任の理解。知識がなく、日々適当になり血糖値測るときに支援しないといけない子を同伴させたり、料理クラブのパフェづくり、一人だけ食べさせてもらえなかった。細かい連絡をくれない。(知的)
- ・障害特性を理解してもらえず、叱られてばかりいた。(知的)
- ・学校全体に理解がない。支援級の先生ですら知識がない。なので子供が2次障害になったし、周りの子供たちにいじめられている。(知的)
- ・5年生の時「菌」が付くと言われた。(知的)
- ・小学校で手にひっかけ傷や衣服を切られたり汚い言葉を浴びせられた(普通学級にて)。(知的)
- ・先生に理解されず、障害の為出来ない事を毎日怒られた。(知的)
- ・普通級の子にからかわれた。(知的)
- ・悪口(差別的な言葉)態度(頭の上に消しゴムのカスを入れられた)。(知的)
- ・何もしていないのに、ランドセルを蹴飛ばされた。(知的)
- ・一緒に出来ないことが多いのでお友達に馬鹿にされることが多いです。(知的)
- ・学童利用時、他の児童からからかわれていた。(知的)
- ・小学校の帰り道で傘でつつかれた。小学校で保護者が「悪い事をする、と、特殊学級に入れる」と自分の子供に言っていた。(知的)

- ・ 中学教員の暴言。友達にからかわれる（特別支援学級の時）。（知的）
- ・ 知っている話でも「障害者だからコイツは分からない」みたいなことを言われたり、頑張っている結果を残しても「インチキ」などと誤解されました。（知的）
- ・ 学校の通学。（知的）
- ・ 他人のいたづらを自分のせいにされる（本人は言い訳、説明が苦手）。（知的）
- ・ クラスでいじめ。（知的）
- ・ 教師の障害についての理解不足。同級生に馬鹿にされる。親の理解不足などなど多数。（知的）
- ・ 同じ年の健常者の中に入ると化け物扱いされる。（知的）
- ・ 同級生から「一緒にいると、自分まで変にみられるから話しかけないで」と言われた。（知的）
- ・ いじめられた。（知的）
- ・ 就学の際に、教育研究所の方に特別支援学校、支援学級の万全な情報を得ることが出来なかった。（知的）
- ・ 普通学級での学習を望んでいたが、出来ない事に対して0点や×を付けられた。クラスや学校内での学力UPをほのめかし、校長にも支援学級をすすめられた。障害者は普通学級に入るべきではない、という考えであることが伝わってきた。教育研究所の進学相談。親の意見は聞かないところですね。無くなっても良いと思った。（知的）
- ・ クラスメイトに悪口を言われる。先生に言っても「あんたが悪い」と言われるし、クラスメイトの話をするのみにされてしてもいけない事で怒られる。（知的）
- ・ 同級生は支援級と知っているので、やりたい事があってもやらせてもらえない。自分は人より下に思われる。（知的）
- ・ 同学年の人とは対等に話をする事が出来ないため、友達が出来ない。（言語理解が弱い）勘違いされることが多い。（知的）
- ・ 端の方でコソコソ悪口を言う。（知的）
- ・ 苦手な科目に全くついていけず、受験の際に太刀打ちできない。また「できない」と判断され現在の教育指導法から外れ理解の機会を失う。（精神）
- ・ 高校から大学へ行くまでの間、高次脳の説明をしたり、本人の症状を話しても、外見はあまり変化しないので分かってももらえない。（精神）
- ・ 中一の時、担任の先生の理解を得られなかった。（精神）
- ・ 浮いている感じ。バカにされ、仲間外れ。（精神）
- ・ 障がい者と同じクラスで迷惑、ずるいと。障害があることで特別扱いされたいのでは？と他児童の保護者から言われた。（精神）
- ・ クラスの子が転んでけがをしたことを「（自分の子供に）やられたのか？」と聞いている所に遭遇した。そういう事をする子だと決めつけているのが分かって腹が立った。（精神）
- ・ 授業中にパニックを起こしてみなに笑われた。（精神）
- ・ うつと診断された後は、どこか腫物を触るような対応を先生にされた。（精神）
- ・ 後で聞いた話ですが、小学校2年の時に教材を与えられなかったそうです。気が付いてあげられなかったのが残念です。（精神）
- ・ 最初中学生の時にいじめで鬱になり、学年全員にずっといじめられていたこと。（精神）
- ・ いじめ。（精神）
- ・ 極端に出来なかった教科や課題で、教師がからかったりクラスの前で笑いものにされた。（精

神)

- ・悪口を言われたり、いじわるされたり、石を投げられたり。先生に言っても、校長先生がいじわるされるのには理由があると言われ、他の先生はみんな校長先生の言いなり。僕の言う事は信じてもらえず、他の子の嘘を信じ、してもいない事で怒られる。給食をおかわりすると、家で食べていないんだろう、と嫌みを言われる。(精神)

#### ◆5. 保育所・幼稚園で

- ・仲間外れ。(身体)
- ・保育所を決定する際他の子より点数が高いにもかかわらず(ともに正社員、県外出身者で周りはパートばかりで時間的な余裕のある人ばかり…)障害児のバランスが悪いと通勤に支障有る他の施設に回された。保育課に強く抗議して改善されたが障害のない子なら起こりえない事だけに憤りを感じる。私立は見学に行っても縁がないとあからさまな態度を取られた。ありえない。(身体)
- ・聞き取れず時間を間違ったり、子供に迷惑をかけた。(身体)
- ・(保育所)障害のある子供だけ1時間ほど早く帰された。(パートの保育士さんの契約時間の関係?)。(知的)
- ・皆がもらっているおもちゃをもらえない事があった。しかもそのおもちゃを持ってきて、みんなで遊ぶ時間があったのに、自分はもらってなくて遊べなかった。(知的)
- ・コミュニケーションが取れず、言葉も話せない。(知的)
- ・保育所を選ぶとき、ずっと来てと言われていたのにその年齢になったら、トイレが出来ないなら出来るようになってから・・・など理由を言われ結局違う保育園(公立)に入れた。(知的)
- ・入所希望だったのに、玄関で泣いてしまい門前払いされた。(知的)
- ・娘に障害がある為、健常の下の子が保育所の一時保育すら断られた。(知的)
- ・保育所の時、障害があるということで3年間午前中だけの保育だった。(知的)
- ・いじめられた。(知的)
- ・同じ年の健常者の中に入ると化け物扱いされる。(知的)
- ・幼稚園の運動会では参加できない種目があり残念でした。(知的)
- ・保健所で他のクラスの加配スタッフが障害児を「かわいそうな子」と言っていると聞いたときそのようなマインドの人が採用されていることにごっかりさせられた。(入間市ではありません)。(知的)
- ・プレに通っていて年少から入るつもりだったが、願書を受け取ってくれず、10月過ぎから他の幼稚園を探したが、全て断られ無理やり仕事して保育所に何とか入った。(知的)
- ・2年保育で行きましたが、1年間、お昼を同じ年の子供と一緒に取ることができず、早帰りになり、2年目もなかなか気持ちよく受け入れる所まで行かなかったのが残念でした。(知的)
- ・公立の幼稚園から入園を断られた(前例はあったようですが)。(知的)
- ・憎まれたり、バカにされたり…。(知的)
- ・幼稚園は、障害があるという理由で受け入れてもらえなかった。(知的)
- ・園長の対応。理解、勉強不足な点。(知的)
- ・障害があると受け入れ先がなかなか無く、入れても加配がいるのに見学先に現地集合にされたり。(みんなは歩いて行っている、他の障害児も。うちだけだった。)(知的)

- ・保育所で最初のうち、しばらくは利用時間が短縮されていて、子供に合わせて配慮してもらっていたと思いますが、結構長く続いて健常児との差を痛切に感じました。仕方のない事とは思いますが。（知的）
- ・幼稚園選びの際に障害が理由で入園を拒否され嫌な思いをしました。（知的）
- ・入園を希望した幼稚園から断られた。（知的）
- ・入園を断られた。（知的）
- ・幼稚園のお友達の親が本人について「心が幼い」と言ったこと。（知的）
- ・親として差別ではないが、厳しい事を言われたことはあった。（知的）
- ・虐待している。お風呂に入れない。卒業できたのは市役所の人のおかげ。おなかが痛いのに迎えに来た。電話も何回もかけてくる。（精神）
- ・保育所の時、クラスの先生の理解を得られず非難された。（精神）
- ・集団生活はできないと机で囲い、泣き疲れるまで放置。または別室で1人で過ごしていた。（市役所に相談するが、相手にされず我慢しろと言われた。）。（精神）
- ・みんなと同じものがもらえず、園に持ってきているので遊ぶことになった時も、自分だけ借り物。（精神）

#### ◆6. 病院・診療所などで

- ・混雑している時のトラブル。（身体）
- ・時々大声を出したり、見た目も悲惨である。（身体）
- ・じろじろ見られる。（身体）
- ・受け答え、接し方で自分が下に見られたと感じた。（身体）
- ・言語が不自由なため、先生に言いたいことが伝わりにくい。（身体）
- ・年寄なので医療が的確に判断できていなかった。だらだら通院させず、医師はセカンドオピニオンなど積極的にアドバイスすべき。先生体どうですか？と聞いたところ東京オリンピックまでもつかな、といった。ブラックジョークが多く傷つき嫌がっている医師がいる現在。過去には痛くて藁をもつかむ思いで来院したのに非常勤の女医さんにこれはお年寄りになる病気で治りませんと冷たくバツサリ。意気消沈して家に帰ってきた。現在都内の某病院で治療完治。（身体）
- ・呼び出しで聴こえないことがある。（身体）
- ・待合室などで手押し車が邪魔になる。（身体）
- ・大きな車イスの為場所を取るので、混みあっている時は迷惑そうな感じがした。（身体）
- ・話をしてもあまり答えてくれない事。（身体）
- ・盲導犬との同行を受け入れてくれない。（身体）
- ・サラリーマン化して本気でない。（身体）
- ・整形外科の障害なのに内科問診を記入する。（身体）
- ・声による呼び出しが聞こえにくいので（番号表示など）視覚による呼び出しがあると良い。（身体）
- ・時折の医師、看護師の対応の悪さ。（身体）
- ・脳性まひだが体以外の障害はないのに、予防接種は親の自己責任と間接的に断られた。（身体）
- ・静かに待ってられないので、迷惑な目で見られる。（知的）
- ・症状を説明する時に母親が話すと、本人が話しなさいと言われた。（知的）

- ・職員の暴言。（知的）
- ・治療方法で「これはできません」と答えると他の方法を考えようともせず、「じゃあ治らない」と言われた時。（知的）
- ・待ち時間に声を上げたりして睨まれる。（知的）
- ・病院でも言語が理解できず、嫌な思いをした。（知的）
- ・病院などすぐに受け入れてもらえない。今回は歯の治療で大変困った。（知的）
- ・障がいが知的に重いので皮膚科へ先日言った時、じっとして見せることはできなくて（頭皮）本人に寄り添っててもらおう事は出来なくて見せてくれなきゃわからないよと言われ、中々皮膚炎が治らなくて困っていましたが、ダメでした。（知的）
- ・長く待ったり、人の多いところでじっと待たなければいけないこと。医師の前で静かに出来ず診察できない。（知的）
- ・入院が多いが、多動や障害があるため、大声出したり、親が付き添うが気を使う。（知的）
- ・医師などの言葉。入院中2か月間嫌な思いをする。（知的）
- ・歯科で最初は歯ブラシから慣れましようと言われたのに、2回目に違う医師がネットで押さえつけ、無理やり治療をしてトラウマになっている。（知的）
- ・診察で暴れた時、「こんなんじゃできないよ」と冷たくあしらわれた時。（知的）
- ・市内なのに窓口支払いがある。待てない子なのに。（知的）
- ・名前も伝わらず、ダメダメわけが分からないと言われた。（精神）
- ・特にない。（精神）
- ・障害を理解していない。騒がれると迷惑だ、と言われた。（精神）
- ・歯科医院で治療方針を説明するのに、診察室内へ母が呼ばれた。（精神）
- ・入院中、主治医や他の医者、看護師から「統合失調症だから、この人（私）は何一つまともではない」と言われた。（精神）
- ・日常生活の相談をしたら、私の病気の症状のせいにはされた。入院中看護師から酷い処遇を受けた。（精神）
- ・歩いていける場所に必要な病院がない。（精神）
- ・診療時間に1分間に合わなかっただけで、「時計読めます？」と馬鹿にされた。（精神）
- ・追い出された。医師とケンカになってしまう。（精神）
- ・「この薬が飲めなければ、あなたの人生終わりだよ」と医師に言われた。（精神）
- ・病気の相談で相手にされなかったことがある。（精神）
- ・精神科病院で名前で呼ばれること。周囲に知っている人がいたら、ばれてしまう。（精神）
- ・こんなこともわからないの？バカにしている。話が全部聞こえている。（精神）
- ・以前の病院で笑われたり、バカにされたり、個室に入ったり、救急を入れてくれなかったり、相手にしないで守秘義務（クロネコ）もあなたがいいたくないならいいよ、と笑った。（精神）
- ・感覚過敏のため出来て当たり前が出来ず、うちでは治療できないね、と。あからさまに不快な様子で。「お帰りください」と。病院で拒否されてショックでした。（精神）

#### ◆7. 民間サービス（飲食店、買い物など）で

- ・受け答えや接し方が一般の人と違うと感じた。（身体）
- ・車いすを邪魔扱いされる。じろじろ見られる。（身体）
- ・入口に段差や店内に段差があり入店できない。（スロープが設置されていない）。（身体）
- ・細かく教えてくれない（めんどくさがられる）。（身体）
- ・スーパー等高いところのものが届かない。入店できないお店がある。（階段がある、狭い）。（身体）
- ・お店で混雑している時に何となく邪魔な風にみられる。車いす用の駐車場に平気で普通の人が停めている。（身体）
- ・コンビニやスーパーで1人で買い物していて少しでも行動が皆と違うと不審者扱いされ警察に通報され、万引き者のような扱いを受けた。そんな思いをしたので2度と同じ店には入っていないです。（身体）
- ・落ち着きがない事に対して嫌そうにされた（まだ小さいころ）。（知的）
- ・買い物時、外出時たまにですがくすくすと笑われたり、じーっと見られたり。（知的）
- ・スーパー等で買い物をしている時に変わった目で見られることがあります。（知的）
- ・焼き肉店に家族14人で行ったときに大きな声の独り言が多く、苦情を言ったほかの方が居て、場所の移動を求められた。家族のものは食事中に移動する事に対して抗議しました。結局途中で、子供と親だけ店を出て他の家族も離れて悲しい気持ちになりました。（知的）
- ・嫌な顔をされた。（知的）
- ・特に子供からじっと見られる。（知的）
- ・利用を断られたこと。（知的）
- ・こだわりの行動（商品を振る、集める、爪でカリカリする…）が店員や他の客から変な目で見られる。（知的）
- ・レストランで大きな声を出したとき客から。（知的）
- ・買い物等で、買いたいものがありパニックを起こしたりすると、周囲の人に迷惑をかけてしまい、嫌な顔をされてしまう事があります。（知的）
- ・デパート、スーパー、プール。（知的）
- ・コミュニケーションが難しく、小さい子の様なので、じろじろ見られてしまうことが多い。（知的）
- ・顔なじみの店でないと嫌な顔をされる。（知的）
- ・憎まれたり、バカにされたり…。（知的）
- ・会話や行動をジロジロ見られた。（知的）
- ・レストランで娘が少し騒いでしまい、一斉に見られて慌てて店を出た。（知的）
- ・大きな声を出す、変な行動をとった時に白い目で見られた友達、知人の何気ない一言に傷ついたこともある。（知的）
- ・教育がなっていないと怒鳴られた。（知的）
- ・人が多いところやお店で車椅子が通りづらい。特にお祭りなど。（知的）
- ・走り回ったり、待ってられない。（知的）
- ・泣き声で興奮してしまうので店員にはいつも離れた席を頼んでいる。（知的）
- ・コンビニで釣銭を店員が渡してくれないなど。（知的）



- ・人の目が気になるのか、自分の方を見て自分の事を話している気がする。（精神）
- ・レンタルビデオの会員になれなかった。（精神）
- ・学生に悪口を言われることがあった。（精神）
- ・出入り禁止。（精神）

#### ◆8. 福祉サービスで

- ・「言えない、難しい、自分で書いているわけではないので文章に出来ない」。（身体）
- ・障害福祉課の担当者が分からないことを聞いても確実な答えが返ってこない。（身体）
- ・気の合わないボランティアがいる。（身体）
- ・デイケアサービスで中々思うように利用できない。（知的）
- ・障がい者に合った支援をしてもらえない。（知的）
- ・相手がいやなものを自分に押し付け、ヘルパーが相手を止めなかった。ヘルパーさんが自分の言うことを理解してくれなかった。（知的）

#### ◆9. 住む場所や家を借りる場面で

- ・子供のころ、家の中を覗かれた。（身体）
- ・車イス使用の為断られたことがある（大家さんに）現在住んでいるマンションの共用部分に段差があるが要望してもスロープを設置してもらえない。（身体）
- ・障がい者手帳を持っているだけで色々条件が厳しくて大変でした。（身体）
- ・学区外なので、早めに学校へ歩いていると「あいつ誰？」「何で違う学校なの？」とこそこそ言われました。（知的）
- ・アパートに住んでいる時、隣の人からじっと見ていると気持ち悪いと苦情が来た。（知的）
- ・7～8年前引越しの時、アパートをすべて断られ、引越しをやめた。（知的）
- ・人間関係（住民との）。（知的）
- ・母親が当番が出来ないから、私の病気の事言ってから。（精神）
- ・精神障害という事で大手の不動産は断られる。（精神）
- ・体調によって、階段の上り下りが不安になるときがある。（精神）

#### ◆10. 情報、コミュニケーションで

- ・24時間テレビなど。（身体）
- ・病気のせいでお友達が出来ない。（身体）
- ・「障害者は医療費がただなんですよ」「税金がただなんですよ。いいよねー」など言われた。夫も確定申告の時「妻が障害者だからこっちがもらいたい位だ」と言われた。用紙を送られてきていったのに、そういわれた。（身体）
- ・視力障害の程度が理解されにくい。（身体）
- ・自分からコミュニケーションが取れない事に良い感じを抱いていない様子。（知的）
- ・コミュニケーションが取れなかった。（知的）
- ・うまく話をキャッチボール出来ないから人間関係がダメになる所。（知的）
- ・健常者の友人が私が精神疾患という事で、何年経っても治らない間に縁を切られた。（精神）
- ・障がいの事初めて会う人に言うと、嫌な顔をされる。（精神）

## ◆11. 近隣、地域で

- ・リハビリ散歩中に通り過ぎるまでまじまじと見られて笑われた。(身体)
- ・散歩中にわざわざ顔をのぞき言葉が出なくても話がわかるかとか同情の声をかける。(身体)
- ・白杖を短く持たざるを得ない。人がまたいでくる。(身体)
- ・時々大声を出したり、見た目も悲惨である。(身体)
- ・片腕しかないのでやはりその部分を重視される。(身体)
- ・家のそばで車が近づいて怖かったので気を付けてと言ったら障害者が外に出るなど言われた。親がいないと態度も違う。(身体)
- ・心無い言葉。(身体)
- ・とにかくジロジロ見る。「個性だと思ってください」と思う。自分がジロジロ見られたらどんな気分になるか少しだけ考えてほしい。(身体)
- ・経管栄養のチューブや器官カニューレを付けているのでじーっと見つめられたりチューブを引っ張って抜かれたこともある。(身体)
- ・私生活への干渉。(身体)
- ・大変ねーとか思われても、何の力にもなってもらえない。(身体)
- ・道を歩いていたら子供の頃ですが差別語を浴びせられた(めくら、めっかち)。(身体)
- ・なかなか自分の障害を理解する事が出来ない。(知的)
- ・マンションの上の階に住む女が朝から夜中まで騒音がひどく、又上からたばこの吸い殻を投げてくるため注意をしたらトラブルになり、「障害者を連れて出ていけ！」と連呼された。(知的)
- ・雨戸の音がうるさい。いやがらせ。トラックの音。(知的)
- ・存在そのものを特別視し、異常が発生する要因があると考えられていること。(知的)
- ・健常者の子供に悪口を言われたり、石を投げられたりしたこともある。うちの子の事で相手の子が怒られると、相手の子の親からトラウマになっていると親から言われることもあった。(知的)
- ・歩行している時に、他の歩行者とぶつかりいじわるな対応をされた。(知的)
- ・イライラがつのり、ドアをけったり怒鳴ったりした。(知的)
- ・笑われる。(知的)
- ・聞き分けが無く、騒がしい子だと思われたようで注意をされる。(知的)
- ・学校の時、家に電話が来てけやき学級にいて障害だからバカ死ねと言われて嫌な思いをした。(知的)
- ・「キモいおじさん」と言われた。じろじろ見られた。(知的)
- ・近寄っていくと逃げられる。(知的)
- ・障害者に言いたいこと、注意したい事があるならば本人か家族に直接言って欲しい。(知的)
- ・必要以上にじろじろ見られたり、指をさされたりした。(知的)
- ・小学校の時いじめにあい、その子に会うのが怖い。(知的)
- ・特別支援学校高等部でトラブルがあり、部活が出来なくなり体を動かすことが出来なくなったので地元の学校のグラウンドを利用しようとしたら、「お前の学校じゃねえだろ出ていけ」と言われたり石を投げられたりして地元の小、中学生が敵になってしまい大変な事になった。部活出来ないストレス大。地元小中学生とのストレス大で大きな傷となった。高校は散々だった。(知的)

- ・挨拶をしてもらえない。（知的）
- ・じろじろ見られた。（知的）
- ・近所の子供などが自分より大きい子なのになんでちゃんと話が出来ないの？と言われる。（知的）
- ・こわいからあまり近づかないでほしい。（知的）
- ・お前なんか死ねと言われた。（知的）
- ・役員とかで親が頑張っているけど、理解ないです。現在でも、悲しい事です。（知的）
- ・好奇心な目で見られる。（知的）
- ・真似をされたり、笑われたりした。（知的）
- ・つきまとい。飲食を無理やりおごらされた。（精神）
- ・話しかけてこない。挨拶しても無視される。（精神）
- ・団地の人達がジロジロ見てくる。（精神）
- ・仕事をしないと悪口を言われる。（精神）
- ・「死ね！」と書かれたものをベランダに投げ入れられた。（精神）
- ・仕事をしていないので、変に思われている。（精神）
- ・特にない。（精神）
- ・いじめ、嫌がらせを近所から受けた。（精神）
- ・ずーっと前、仕事した人が私を見て、他の人に仕事もできない…。今仕事しているの？と陰口を言っていた。（精神）
- ・パニックで暴れまわったり叫んでしまった時に警察を呼ばれた。（精神）
- ・臭いや音の苦情を言われる。（精神）
- ・疎外と孤立感に悩んでいる。（精神）
- ・変な目で見たり、ゴミが多いとか。元気にならないと子供がかわいそう。（精神）
- ・隣のおばさんにあること無い事を近所に言いふらされていること。（精神）
- ・近所の人「話をできない子だ」と言ったり、家の前の子が無視したり、あまり話をしないで向こうの考えになっている。もっとふつーだと思ってほしい。（精神）
- ・町内会長の仕事を順番だからやってくれ、と言われ障害がある旨伝えて断ると今度は団地に「あそこは精神障がい者がいる」と言いふらされた。（精神）

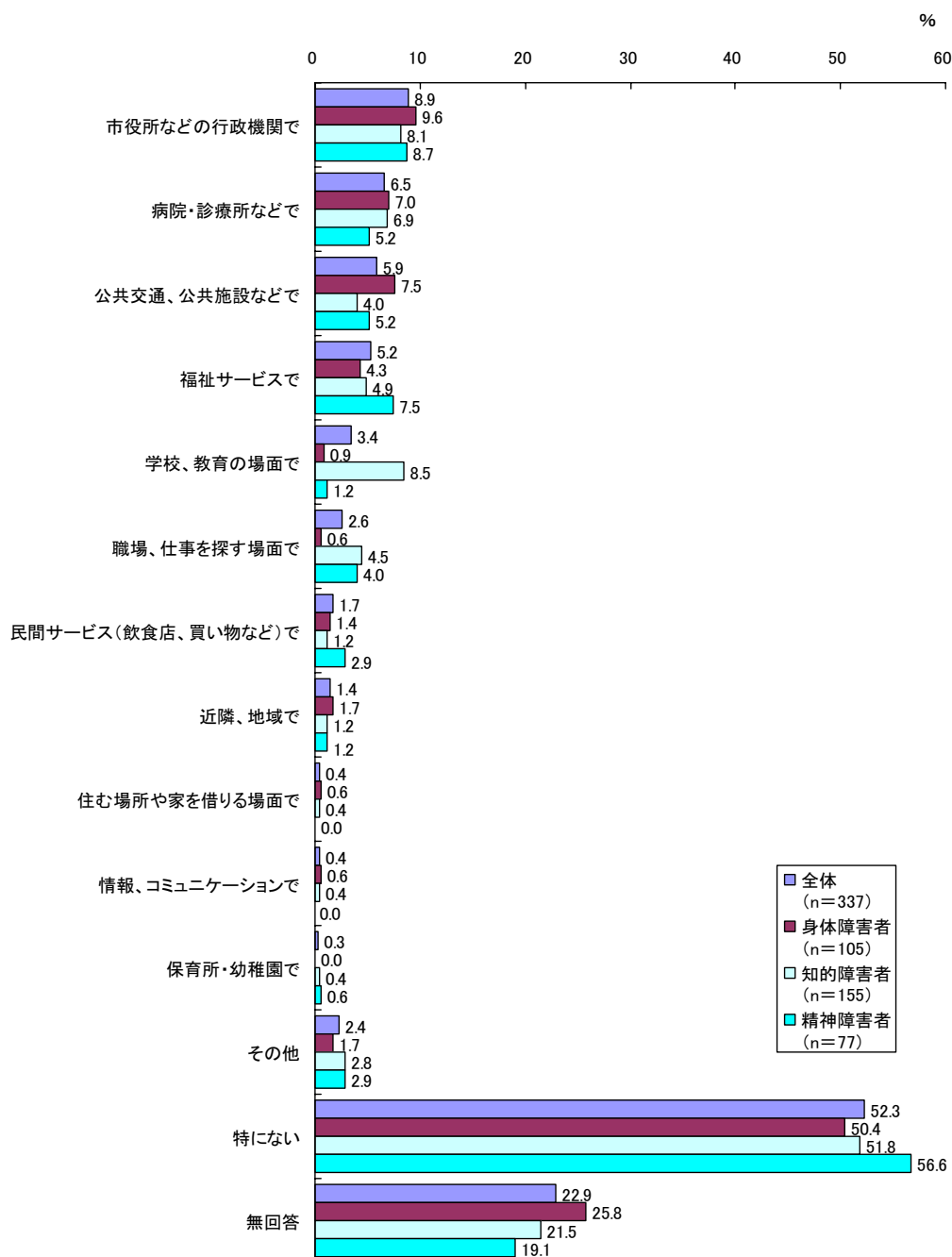
## ◆12. その他

- ・障がい者トイレから出た時変な目で見られる。（身体）
- ・少しはやむを得ない。（身体）
- ・どこという事はないが、外見で障害（持病）があると分かりにくい。電車などでも優先席には座らないようにしている。（身体）
- ・治療の内容など細かく聞かれる。（身体）
- ・少し前にアナウンサーが透析に対する偏見を言いすごく傷ついた。外出したり人と会話するのも怖くなった。（身体）
- ・病院へ診察に行くのにタクシーで行っていますが、態度が悪い運転手もいます。（身体）
- ・自分に対して。（身体）
- ・いろいろ。（身体）
- ・耳が遠い。幼いころから現在まで中耳炎を患っている（3歳ごろ）。（身体）

- ・就職先で（病院）上司をはじめ同僚からも障害や薬を使って使っているから「だからダメなんだ」と言われ、妊娠をきっかけに障害を持って子育ては大変だと退職を迫られた。（身体）
- ・就職の為、障害や使っている薬を伝えたら面接すらしてもらえず断られた。（身体）
- ・人の目。歩くのが遅いので。（身体）
- ・銀行や郵便局などでの必要書類の代筆が出来ない事。（身体）
- ・同年で障害を持っている人と持っていない人。話をしている何を言いたいのか、ということで冷たい態度を取られた。（知的）
- ・すみません、親目線です。入間市に越してから義両親と一緒に住むようになったが、子供に対して言動が厳しい。何かにつけ怒号が飛び障害について理解があるようで、ない。（知的）
- ・公園で遊んでいる時「近づいちゃダメ」の様な事。（小さいころ）。（知的）
- ・仕事中、品出し中接客や上司の指示で、やむをえない理由で、中断せざるを得ない時等に「遅い」と言われる。「障害者差別」の他に「男性差別」もある事があります。「平等」と言う名ばかりで「男卑女尊」を感じる事があります。（知的）
- ・学校選びの時、支援級の学校見学に行ったら校長に。6年間通っても、全然伸びない子もいるなどの話を校長がした。（これは問題な発言！！そんなところに預けられない、と思った）うちでは、無理と言われた。（知的）
- ・障害児ソーシャルスキルトレーニングを受けていたがトラブルがあり、すぐクビになった。そういう時の乗り越え方を勉強したかった。（知的）
- ・母親から、人間のクズだと言われている。（精神）
- ・市内の商店で、商品の購入の為質問すると嫌な対応をされた。（精神）
- ・兄弟姉妹から。具合が悪い時の言動。（精神）
- ・病気の為、発音が悪いのか聞き返されること。（精神）
- ・実家にいた時、健常者との比較の話が多かった。（精神）
- ・支援が届くまで、病気が再発すると、兄弟姉妹に迷惑をかけ迷惑がられた。（精神）
- ・体力保持の為スポーツクラブへ入会の時も、てんかんがあるため診断書などひどい扱いを受けた。（精神）
- ・西武バス停で障害者手帳を持っていると聞かれた。（精神）

**問 31 障害者差別解消法施行（平成 28 年 4 月）以降、あなたが、障害のある人への配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。（3つまで回答）**

- 全体では、52.3%の人が「特にない」と回答しています。その他の項目ではすべて1割を切っていますが、その中では「市役所などの行政機関で」で8.9%、「病院・診療所などで」で6.5%、「公共交通、公共施設などで」で5.9%の人が、配慮があって助かった、改善されたと回答しています。
- 障害種別に見ると、いずれの障害でも5割以上の人が「特にない」と回答しています。知的障害者では「学校、教育の場面で」配慮があって助かった、改善されたと回答した人が他の障害に比べ高くなっています。



○配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことの具体的な内容は以下の通りになります。

◆ 1. 市役所などの行政機関で

- ・障害福祉課でいろいろと相談に乗ってもらえる。(身体)
- ・医療費の補助。(身体)
- ・障害者手帳の申請時に色々特権があることを知った。(身体)
- ・以前より問い合わせに対する対応が良くなった。(身体)
- ・目の補助具のサービスを受けている。(身体)
- ・stroma援助金を支援してもらっているがとても足りない。(身体)
- ・車の駐車場の確保。特に市民会館。(身体)
- ・市役所障害福祉課の受付担当が同じような障がい者で職務についているので相談しやすい。(身体)
- ・分からない時に市役所に行って聞きます。(身体)
- ・視力障害が進んだとき器具の補助などがあることを教えて頂きました。(身体)
- ・エレベーター。(身体)
- ・バスなど公共交通機関で席を譲られたり親切にしてもらうことが多い。障害がある、なしに関わらず親切に対応して頂けるようになった。(身体)
- ・声の先掛けや行動。懇切丁寧な説明。障害者配置などが醸し出す障害福祉課の業務遂行雰囲気。(身体)
- ・市役所にはあまり困った時など相談はしてませんが、これから先どうなるか分かりません。困った時にはまず息子が先になると思います。(身体)
- ・情報が多くなった。的確な指示が受けられるようになった。(身体)
- ・対応が親切。(身体)
- ・担当の方が変わりますが、今の方はアドバイスをしてくれる。(身体)
- ・一般の人が声を掛けて手伝ってくれた。(身体)
- ・リボンの話し合いの中で。(知的)
- ・平成2年みどりの手帳を受けた時、お世話になった。(知的)
- ・手続きの面倒を見てくれる。(知的)
- ・何でも相談に乗ってくれる。(知的)
- ・なかみそーだん。(知的)
- ・とても丁寧に配慮してもらえた。(知的)
- ・息子が友人を連れてきて「これ僕の妹なんだ」と本当に息子に感謝。(知的)
- ・親身になって話を理解してくれること。(知的)
- ・さまざまなサービスが受けられるようになった(情報を知れるようになった)。(知的)
- ・良く相談に乗ってくれる(親が)。(知的)
- ・施行前よりいつも前向きに対応して頂いています。(知的)
- ・ケアマネさんらの対応。(知的)
- ・ティーロードで毎日仕事に通っています。乗り越してしまいましたが、運転手さんに声をかけて

もらい助かりました。(知的)

- ・中々窓口では覚えられない内容を親切に書いて説明していた。(精神)
- ・金銭面(医療費)で助かった。(精神)
- ・親切にいただいた。(精神)
- ・妻の悩み事相談(パワハラなど)。(精神)
- ・自立支援医療制度について、詳しく話を聞きに行ったときに親身になって相談に乗ってくれたこと。(精神)
- ・親身になって相談してもらえる。(精神)
- ・差別する方が居なくなった。(私の知る範囲では)。(精神)
- ・聞きたい事(分からない事)を分かりやすく話してくれた。(精神)
- ・福祉サービスの手続きで分からない事を丁寧に親切に教えてくれた。(精神)
- ・ショートステイで目標づくりを手伝ってもらった。(精神)

## ◆2. 公共交通、公共施設などで

- ・高速料金の半額。(身体)
- ・満員の電車で席を譲ってもらえた。(身体)
- ・国立美術館に行った時、長蛇の列で諦めようかと思ったら、障害者入口が有り長時間待たずに入られて有り難いと思いました。(身体)
- ・乗車の時板を出してくれて、降りる駅にも連絡してくれる。(身体)
- ・手帳を持っているとバス料金が半額になること。(身体)
- ・障害者用トイレが増えた。(身体)
- ・地域によって違いがあるがよくなっている。(身体)
- ・助けてくれる人がいる。(身体)
- ・駅員さんの配慮を感じる。(身体)
- ・バス代、高速道路代の割引。(身体)
- ・歩行困難ですが、車内で席を譲られたりエレベーターを待ってくださる。(身体)
- ・施行以前以降も変わらないです。(路線バスが特におおむね良いです。)(身体)
- ・駅職員の対応。(身体)
- ・狭山市の入曽駅にエレベーターが整備された。(身体)
- ・電車利用の際、駅員さんが手引きをしてくれる。(身体)
- ・電車利用の際、係員の方の介助。(身体)
- ・高速道路利用の時料金が半額となる。(身体)
- ・タクシー券。(身体)
- ・バスの割引、タクシー券。(身体)
- ・割引を受けている。(身体)
- ・盲導犬と一緒に声を掛けてくれる。(身体)
- ・公共施設で座席でインスリン打ちをするときに、少し隠せるようにBOX席を譲っていただいた。(知的)
- ・公共の乗り物の座席を予約する時に、周りに迷惑がかかりにくい席を希望し、対応してもらっている。(知的)

- ・金子駅が車いすの方など利用しやすくなった。他の駅で方向を変え、金子駅で降りていたようだったので。（知的）
- ・近所の方に、娘さんがいるから元気でいられるのよ、と。（知的）
- ・美術館や映画が安く楽しめるおかげで外に出たくなるし気持ちが晴れる。（精神）
- ・障がい者の料金の割引。（精神）
- ・お金の面で、一般の人より収入が少ないので使う事を我慢していたが、楽しみが増えた。（精神）
- ・ていろうどがタダ。バスが半額。（精神）
- ・障がい者専用スポーツセンターを活用できているから。（精神）
- ・社会保険庁で年金の申請をするとき、障害者を優先的に受付してくれた。（精神）
- ・収入があまりないので助かります。バスが半額になった。（精神）
- ・西武バスが半額になる。（精神）

### ◆ 3. 職場、仕事を探す場面で

- ・職場でパートになられたこと。（身体）
- ・就労支援を受けましたが、自分の病気障害の程度を考慮頂き職場を探してもらえた事。（身体）
- ・仕事。（知的）
- ・応対も、健常者同様に扱っていただけた。（知的）
- ・1人の人間として接してくれて、病気もちでも働かせてくれる。（知的）
- ・先生が僕に合う仕事を見つけてくれました。（知的）
- ・行動のパターンやスピードを無理強いせず見守り、声かけしてくれる。（知的）
- ・それぞれに合ったものを見つけられる。（知的）
- ・仕事上の対トラブル時、支援員、相談員の方とじっくり相談でき対処して頂いた。（知的）
- ・以前は、障害者担当の職員がハローワークにおらず、門前払いをされたことがあったが最近は改善してきている。（精神）
- ・一番上の姉に、きちがいが免許持てるかって言われた。（精神）
- ・合理的配慮で自分のペースに合った部署に配属された。（精神）
- ・社員で働くことが出来、自分の収入で1人暮らしも可能になってきて嬉しいです。（精神）
- ・障がい者採用で優遇された。（精神）

### ◆ 4. 学校、教育の場面で

- ・体育は出来る範囲の内容、階段の手すり。（身体）
- ・本人より妹が。（身体）
- ・支援の専属の先生が付いてくれること。（身体）
- ・理解してくれていたので嫌な思いをしなくて済んだ。（知的）
- ・去年より、年に3回の支援籍で地域の同じ年の子供たちとコミュニケーションが取れるようになり存在が分かってもらえた。（知的）
- ・学校の交流授業で難しい授業についていけない者は途中で支援級に戻ってもいい、と配慮され助かったようです。（知的）
- ・感覚過敏があり、肩を叩かれるなどのコミュニケーションをとっても嫌がっていたが少しずつ接触を増やして慣れてきた。（知的）



- ・親と先生とのコミュニケーション。先生の指導力。学校全体の支援級の対応のやり方、方針で改善して行ってほしいです。（健常者の理解がまだまだされていないため）。（知的）
- ・特別支援学級のある小学校が増えた。（知的）
- ・法律の施行が理由かははっきりとわからないが、近隣に特別高等支援学校が開校した。（知的）
- ・学校の同学年の子や下級生にからかわれる。（知的）
- ・今は普通級で学校内の支援クラスと交流させています。4月から学校内の支援クラスに移るので、自分に合った勉強が出来て助かります。（知的）
- ・学校に相談に行くと、次の日には子供が驚くほど早く対応してくれた。（知的）
- ・小、中学校で支援員の方が増えたように思う。（知的）
- ・先生が分かりやすく、楽しく話をしてくれたので事業や就職活動面で助かったと思います。（知的）
- ・個別性を見てくれるようになった。（配慮してくれる）。（知的）
- ・施行前よりいつも前向きに対応して頂いています。（知的）
- ・水洗トイレにしてくれた。（知的）
- ・一つ一つ丁寧に何回も教えてくれる。（知的）
- ・学校の先生に生活を配慮してもらえた。（精神）
- ・理解してもらった。（精神）

#### ◆ 5. 保育所・幼稚園で

- ・障害児施設という事もありますが、きちんとケアが出来ている。（精神）

#### ◆ 6. 病院・診療所などで

- ・バリアフリーが多くなってきた。（身体）
- ・聴こえないことを周りの人が理解してくれた。（身体）
- ・歩くのが大変な時介助があった。（身体）
- ・対応が丁寧になった。（身体）
- ・病院の先生が薬局に連絡して待合室まで届けて下さる。（身体）
- ・難聴である旨のカードがカルテに入っている。（身体）
- ・病院の先生のおかげで良くなりました。（身体）
- ・以前より対応が良くなった。（身体）
- ・対応が親切になった。（身体）
- ・バリアフリー、エレベーター。（身体）
- ・コンシェルジュがいるようになった。（身体）
- ・無料で診察を受けられる。（身体）
- ・医師の対応がとても良かった。（知的）
- ・待ち時間を配慮してくれた。（知的）
- ・先生が訪問治療して下さるから。（知的）
- ・年金生活の為、国民健康保険限度額適用、標準負担額減額認定証。（知的）
- ・心理の先生とのカウンセリング。（知的）
- ・医療費が無料になり、助かります。（知的）

- ・医師が話を聞いてくれる（雑談）。（知的）
- ・地域のかかりつけ医は親切で本人の嫌がる治療はせず、本人主体、本人の特性を考慮して下さっています。（知的）
- ・ショートステイ中のお願いをちゃんとしてくれる。（知的）
- ・理解してくれていたのが嫌な思いをしなくて済んだ。（知的）
- ・ドクターの話し合いの中で。（知的）
- ・病院の先生がとてもいい。（知的）
- ・一割負担で重度心身医療手当が付いたから。（知的）
- ・療育病院に普段は通っているが、近くの皮膚科へ足の親指の爪の内出血になり事情を話して（待てない、初めての場所は苦手、痛いのがダメ）診て頂いた。とてもよく対応して頂いた。（知的）
- ・親切になった。（知的）
- ・医師が話を聞いてくれる。（精神）
- ・病院の先生にアドバイスしてもらっています。（精神）
- ・病院に通う事に不安がないので、治療に専念できる。（精神）
- ・聞きたい事（分からない事）を分かりやすく話してくれた。（精神）
- ・自立支援医療が使えるから。（精神）

#### ◆7. 民間サービス（飲食店、買い物など）で

- ・観光地へ車いすで行ったときに親切にもらった。（身体）
- ・エレベーターや多目的トイレがある。羽田空港には専用のカウンターがあり、入り口も専用だった。（身体）
- ・バリアフリーが多くなってきた。（身体）
- ・バリアフリー。（身体）
- ・盲導犬などを連れて店に入れるところが増えた、とは思うが人の心は法律が出来たからと言って、そう簡単に変わるものじゃないので個人的な差別は未だ根強い。特に学校や保育所など。先生でさえ、偏見を持っている人もいる。（知的）
- ・食べる道具や飲み物に配慮してくれた。（知的）
- ・親が1人では乗せることが出来ず、朝来て頂けること。（知的）
- ・近所の酒店が3月で閉店してしまうため困る。（前は配達をしてもらっていた。）。（精神）
- ・映画が半額。（精神）
- ・金額が安くなる場所が増えてきた。（精神）
- ・買い物を助けてくれた。（精神）
- ・携帯電話の基本料が無料になる。（精神）

#### ◆8. 福祉サービスで

- ・イヤホンの補助金を頂いている。（身体）
- ・天気キッズで先生や他の子供たちと接し合える。（身体）
- ・レンタル商品の充実で助かることが多い。（身体）
- ・介助を伴う外出の時にアドバイスを頂いた。（身体）
- ・対応が丁寧になった。（身体）

- ・民生委員の方が時々見に来てくれます。声を掛けてくれますので一安心です。一度お世話になりましたけど今の所はなんとか自分でできています。（身体）
- ・以前より対応が良くなった。（身体）
- ・ヘルパーで良くしてくれる人が多い。（身体）
- ・作業所がとても親切。（知的）
- ・すぐに対応してくれる（親が）。（知的）
- ・色々なサービスを受けられて助かるから。（知的）
- ・良くなってきた。（知的）
- ・放課後デイなどの充実。（知的）
- ・服薬管理。（精神）
- ・会社で困った時に、適切に支援してもらった。（精神）
- ・福祉サービス（リボン）。（精神）
- ・ヘルパー（日常生活支援）。（精神）
- ・どこで相談したらいいか教えてくれた。（精神）

#### ◆9. 住む場所や家を借りる場面で

- ・気づかいされることが多い。すぐに対応してくれる（親が）。（知的）

#### ◆10. 情報、コミュニケーションで

- ・透析患者などのコミュニケーション。（身体）

#### ◆11. 近隣、地域で

- ・駅前などで声をかけてもらえることが多くなった。（身体）
- ・公園で友人と健常の人と談笑している。（身体）
- ・外出先で声を掛けてもらえるようになった。（身体）
- ・本人に対して挨拶をしてくれる。（身体）
- ・雪が降った時に雪かきなどしてくれています。近所の方が声を掛けてくれて雪かきをしてもらったことがあり助かっています。（身体）
- ・となりのおじさん。（知的）
- ・長年住んでいるため理解がある。（知的）
- ・●●だから、と言われた。（精神）
- ・ドクターストップがかかっており、マンションの理事を免除されているので助かっている。（精神）

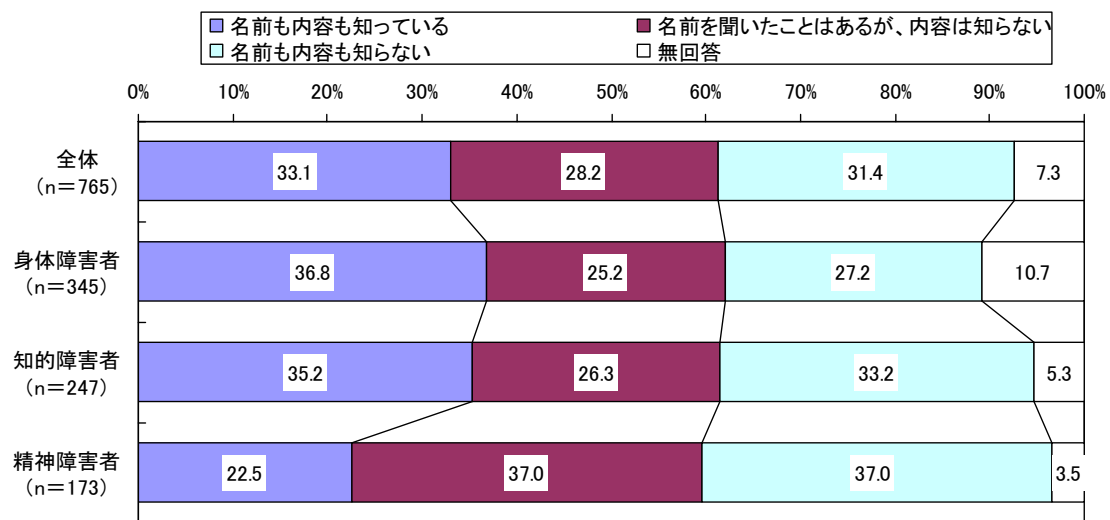
#### ◆12. その他

- ・警察署または交番でストマの事を話すとトイレを貸してくれる。（身体）
- ・施行から期間が短い。（身体）
- ・出入り口のドアを開けてくれると助かる。（身体）
- ・自分の場合は変わったようには感じない。（身体）
- ・特に私の場合は差別解消法が施行されても変わったことはありません。（身体）

- ・こまごま挙げたらきりが無い。(身体)
- ・本人は、知的障害のため知らないが保護者の●●も知らないし、知る予定すらない。(知的)
- ・社会全体が、障害者に対し少し理解が広がってきた。(知的)
- ・よくわからない。(知的)
- ・まだ子供(本人)が1歳なので改善があったのかよくわからない。(知的)
- ・施行からまだ1年。生活内で具体的に感じられることはありませんがこれからの期待したいです。)  
(知的)
- ・まだよく分からない。(知的)
- ・仕事をするために訓練をさせてくれて仕事先を探してくれて面談にも付き添ってくれた。(知的)
- ・よく分かりません。(精神)
- ・人として見てくれて話せるから。(精神)
- ・法律をもう一度読まないといけない。(精神)
- ・平成28年5月に取得したので分からない。(気にしたことがない。)(精神)
- ・支援が届くことで、兄弟姉妹に迷惑を掛けずに済んでいる。(精神)

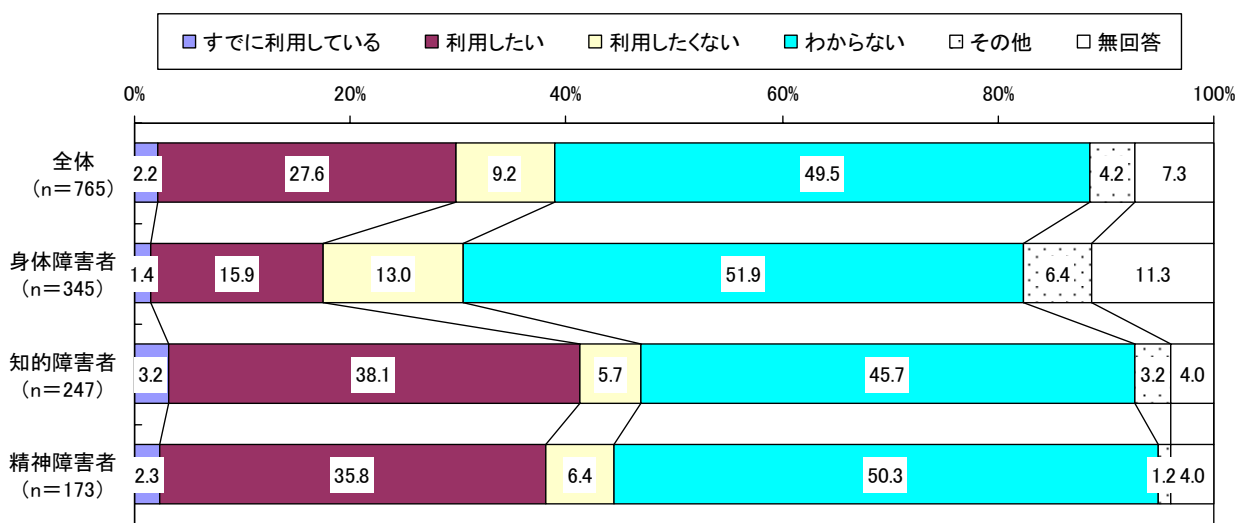
**問 32 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（○は1つ）**

- 全体では、成年後見制度について「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 28.2%、「名前も内容も知らない」が 31.4%となっており、合わせて 59.6%と全体の 6 割を占めています。
- 障害種別に見ると、身体障害者と知的障害者では「名前も内容も知っている」が 3 割半ばを占めています。精神障害者では 22.5%と 2 割台にとどまっています。精神障害者では「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」「名前も内容も知らない」がともに 37.0%と他の障害に比べ高くなっています。



**問 33 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、成年後見制度を利用しますか。（○は1つ）**

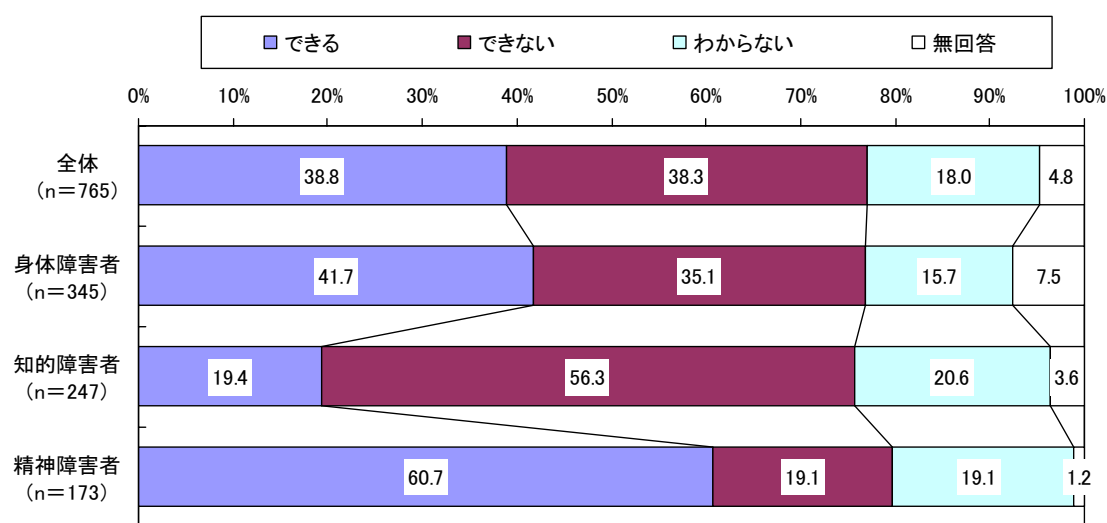
- 全体では「わからない」が49.5%と5割を占めて最も高くなっています。「すでに利用している」が2.2%、「利用したい」が27.6%、「利用したくない」が9.2%となっています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「利用したくない」が13.0%と他の障害に比べ高くなっています。
- 「その他」の内容は、「家族（親・配偶者・子ども）がいる」との回答が多くなっています。



## (8) 災害時の避難等について

### 問 34 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つ)

- 全体では「できる」が 38.8%、「できない」が 38.3%とほぼ同じ割合になっています。「わからない」は 18.0%となっています。
- 障害種別に見ると、「できない」は知的障害者で 56.3%と 5 割を超えて突出して高く、身体障害者で 35.1%、精神障害者で 19.1%となっています。

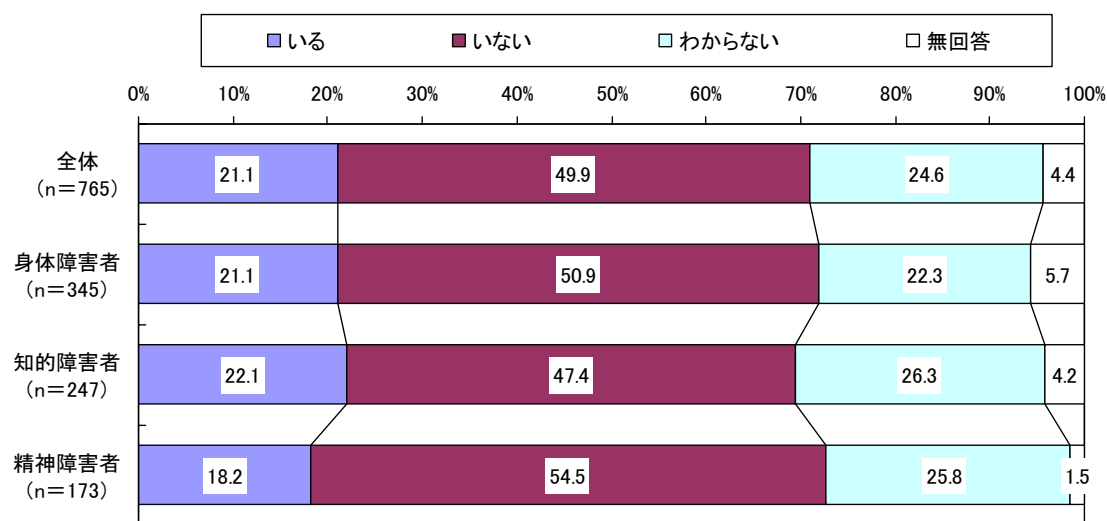


問34で「2. できない」または「3. わからない」と回答された方におききます。

**問 35 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、あなたの身近に助けてくれる人はいますか。(○は1つ)**

○全体では「いる」が21.1%、「いない」が49.9%を占め、「わからない」が24.6%となっています。

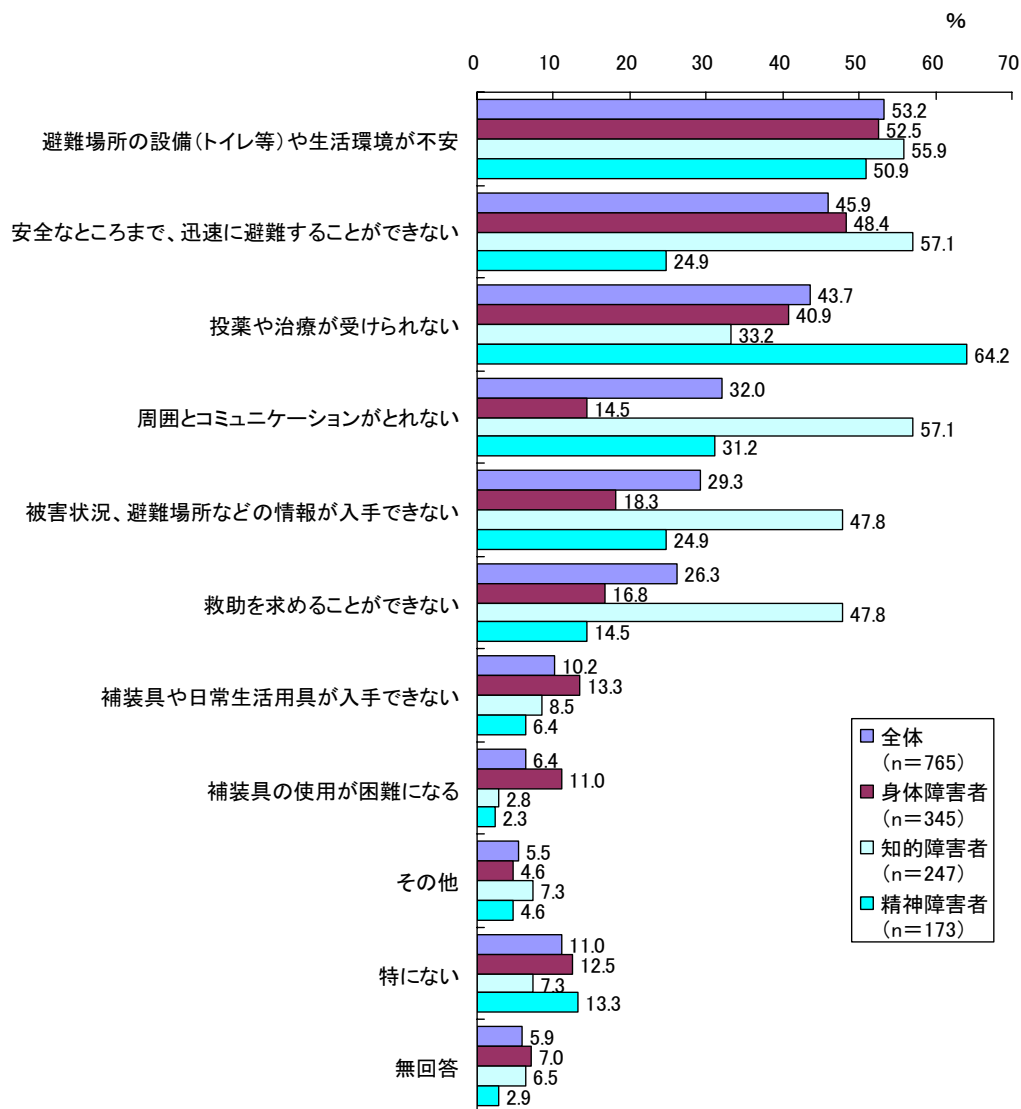
○障害種別に見ると、いずれの障害でも「いる」の割合は2割で前後、「いない」の割合は5割前後を占めています。





**問 36 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

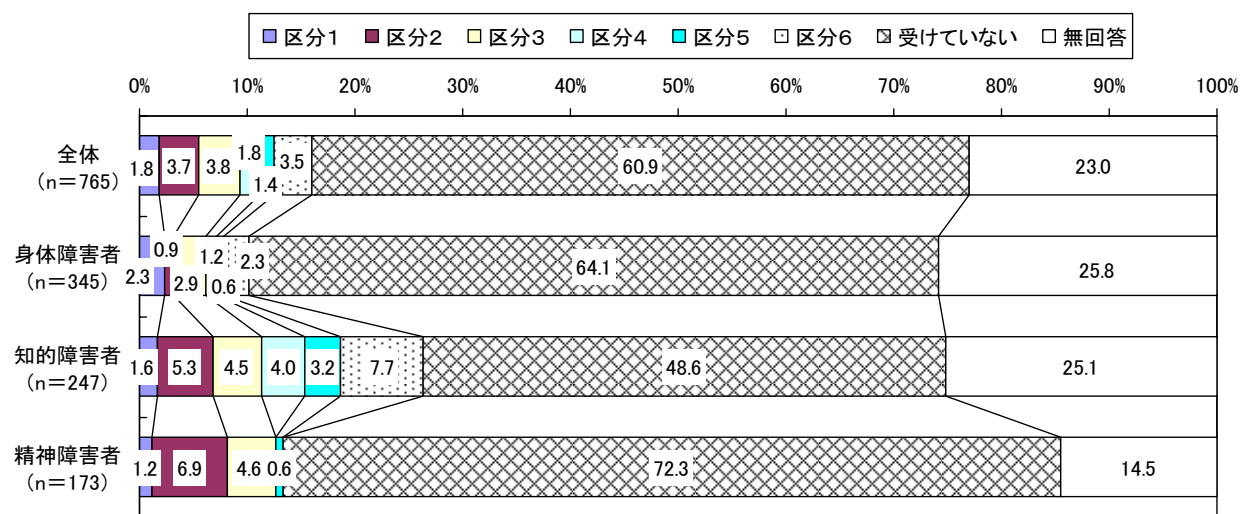
- 全体では、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が 53.2%と 5 割を超えて最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」が 45.9%、「投薬や治療が受けられない」が 43.7%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 32.0%と続いています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「周囲とコミュニケーションがとれない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「救助を求めることができない」といった意思疎通や情報入手についての不安が他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「投薬や治療が受けられない」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。
- 「その他」の内容は、「車イスなので不安」「パニックにならないか不安」「多動・大声で周囲に迷惑を掛けないか不安」「医療機器用の電源が確保できるか不安」「精神面での不安」との回答になっています。



## (9) 障害福祉サービス等の利用について

### 問 37 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つ)

- 全体では、「受けていない」が60.9%と6割を占めて最も高くなっています。区分では、いずれの区分も1割を切っており、「区分2」が3.7%、「区分3」が3.8%、「区分6」が3.5%とやや高くなっています。
- 障害種別に見ると、知的障害者では「区分6」の割合が7.7%と他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「区分2」「区分3」の割合が高くなっています。

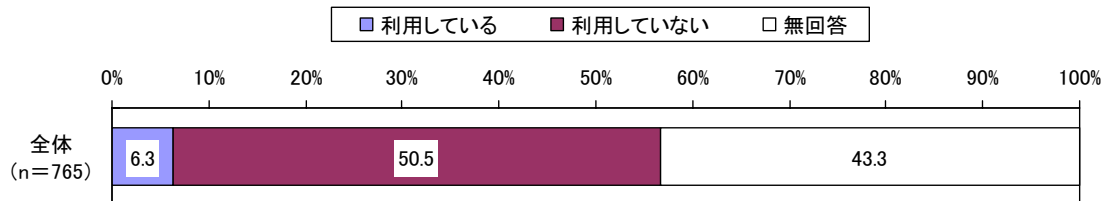


## 問 38 各障害福祉サービスの利用状況

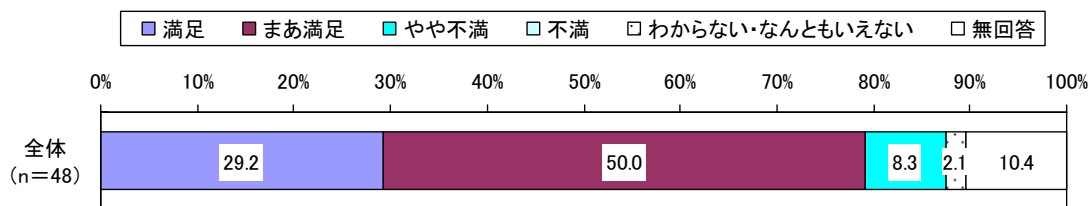
### ①居宅介護（ホームヘルプ）

- 現在の利用状況は、「利用している」が6.3%、「利用していない」が50.5%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が79.2%（48人中38人）、「やや不満」が8.3%（48人中4人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.3%、「利用対象者に該当しない」が26.2%、「利用の必要がない」が50.8%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が6.9%、「利用量を増やしたい」が0.1%となっています。

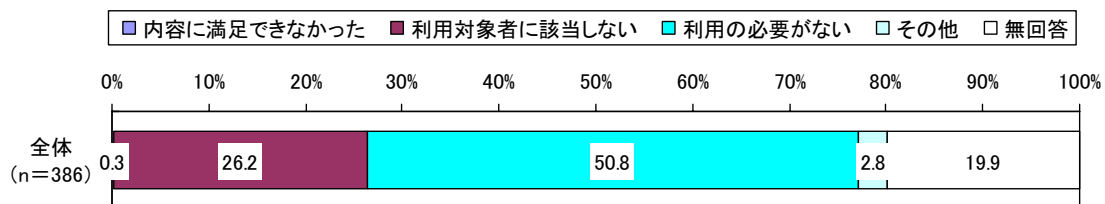
#### （1）現在の利用状況



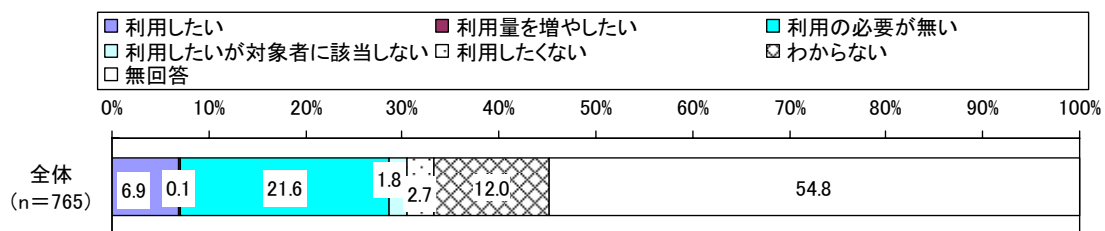
#### （2）サービスの満足度



#### （3）現在利用していない理由



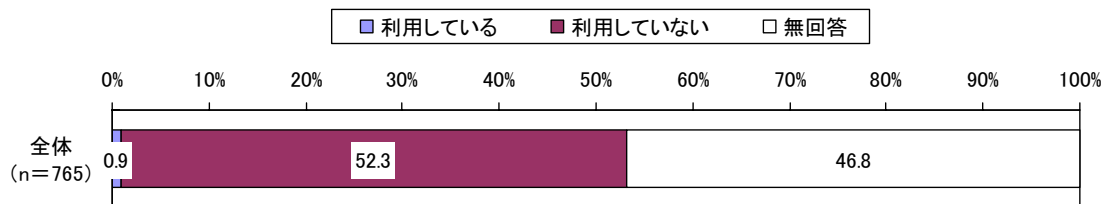
#### （4）今後利用したいか



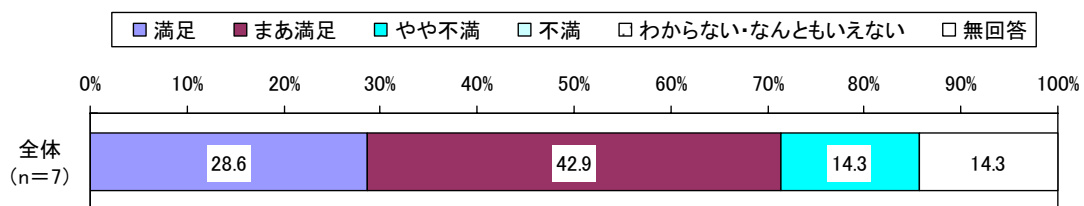
## ②重度訪問介護

- 現在の利用状況は、「利用している」が0.9%、「利用していない」が52.3%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が71.5%（7人中5人）、「やや不満」が14.3%（7人中1人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が27.5%、「利用の必要がない」が49.3%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が4.1%、「利用量を増やしたい」が0.4%となっています。

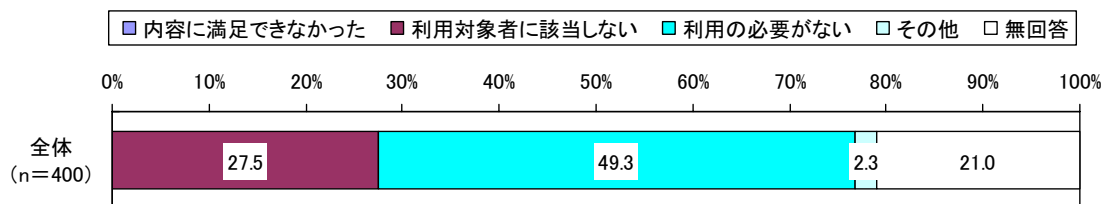
### （1）現在の利用状況



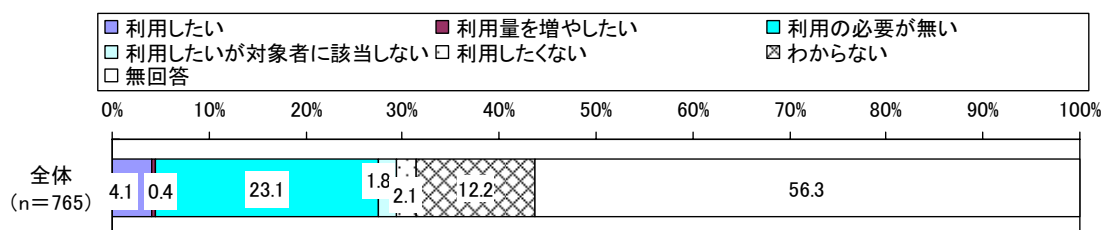
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



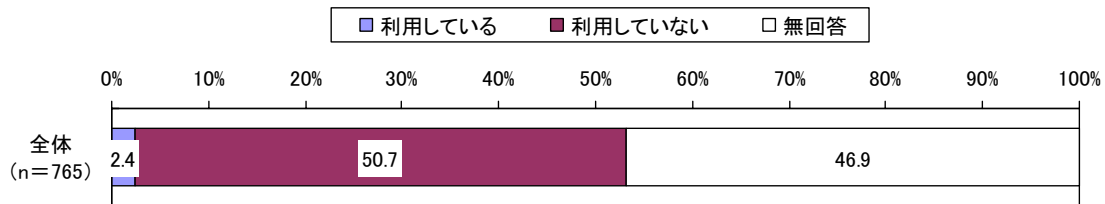
### （4）今後利用したいか



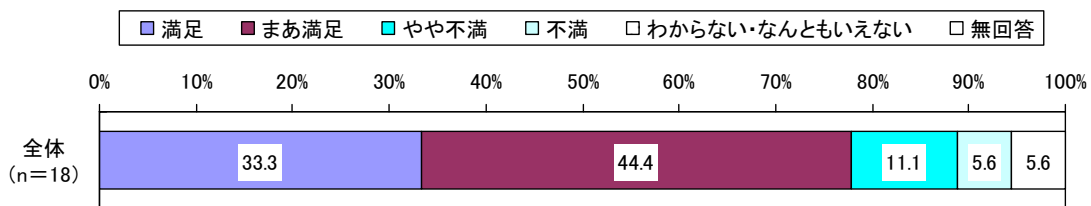
### ③同行援護

- 現在の利用状況は、「利用している」が2.4%、「利用していない」が50.7%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が77.7%（18人中14人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が16.7%（18人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が28.4%、「利用の必要がない」が48.5%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が4.3%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

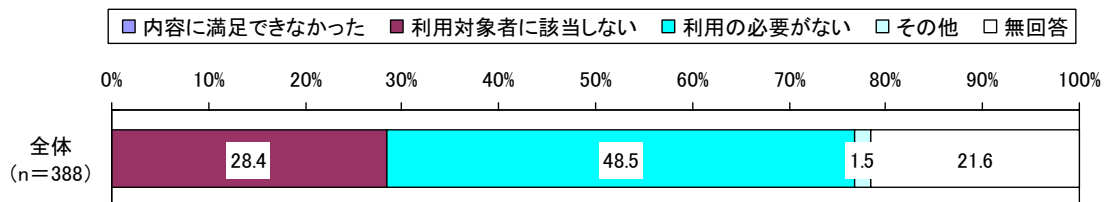
#### (1) 現在の利用状況



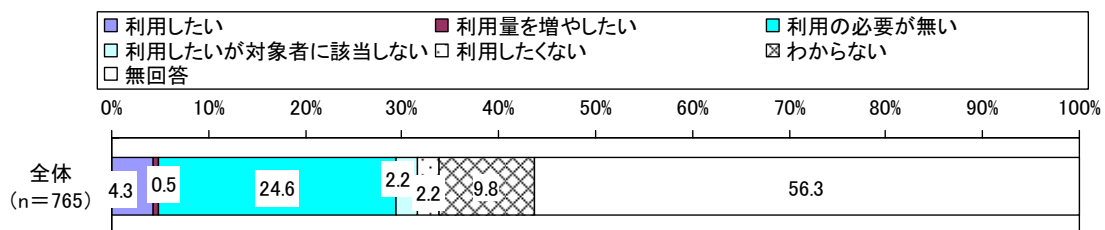
#### (2) サービスの満足度



#### (3) 現在利用していない理由



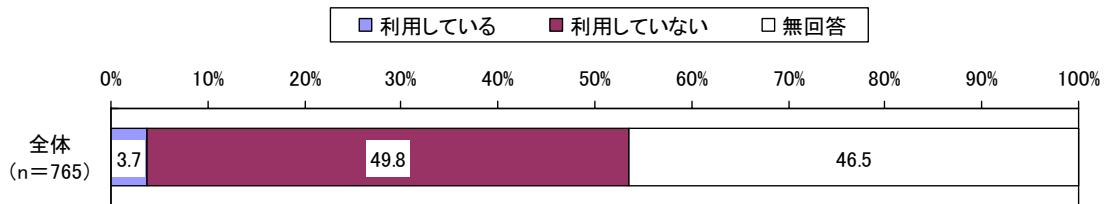
#### (4) 今後利用したいか



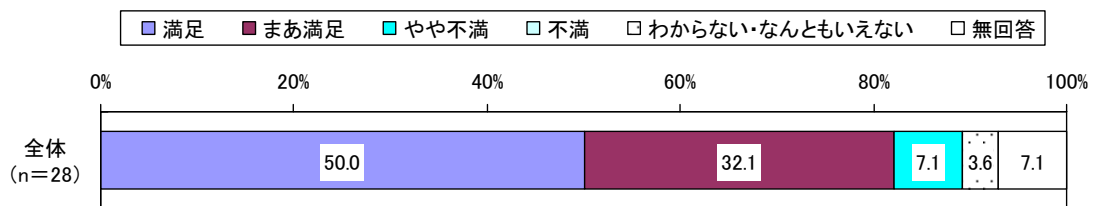
#### ④行動援護

- 現在の利用状況は、「利用している」が3.7%、「利用していない」が49.8%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が82.1%（28人中23人）、「やや不満」が7.1%（28人中2人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.5%、「利用対象者に該当しない」が23.9%、「利用の必要がない」が48.8%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が8.0%、「利用量を増やしたい」が1.2%となっています。

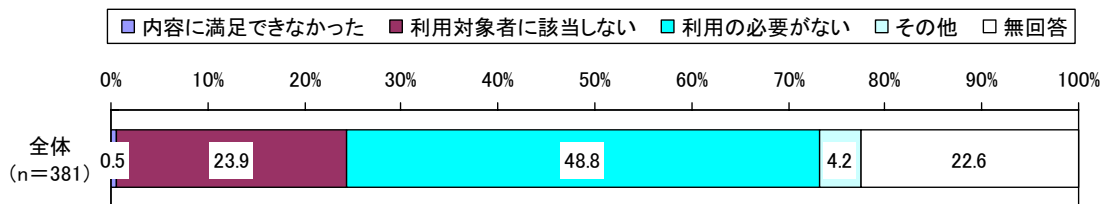
##### (1) 現在の利用状況



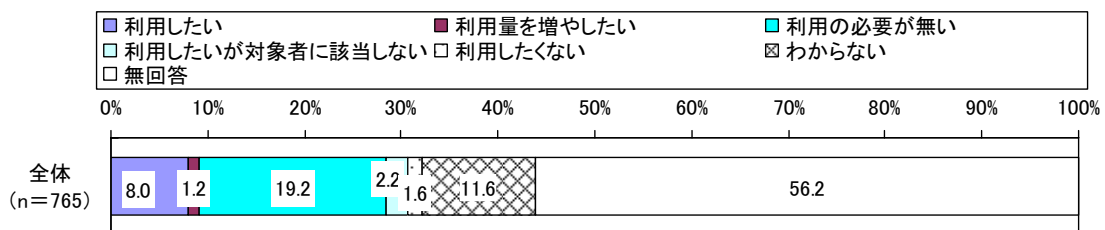
##### (2) サービスの満足度



##### (3) 現在利用していない理由



##### (4) 今後利用したいか



## ⑤重度障害者等包括支援

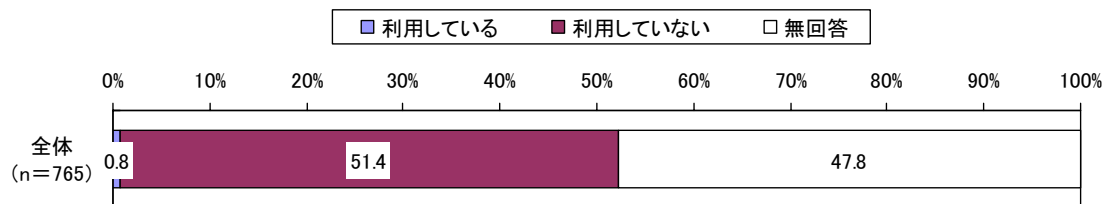
○現在の利用状況は、「利用している」が0.8%、「利用していない」が51.4%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が66.6%（6人中4人）となっています。

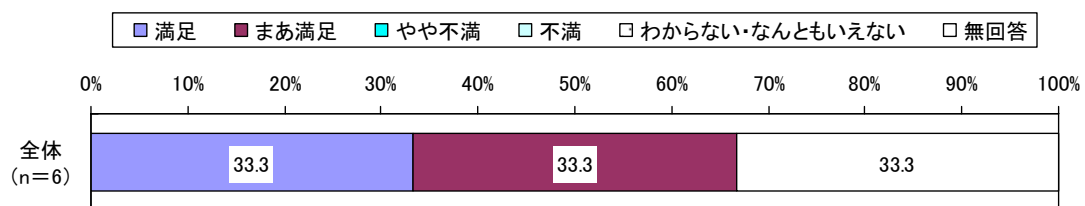
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が28.0%、「利用の必要がない」が47.1%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が3.8%、「利用量を増やしたい」が0.4%となっています。

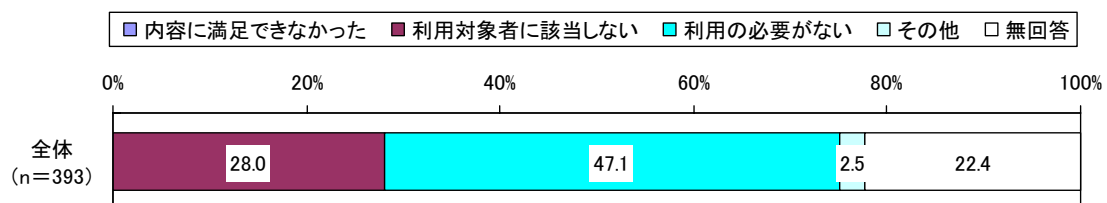
### (1) 現在の利用状況



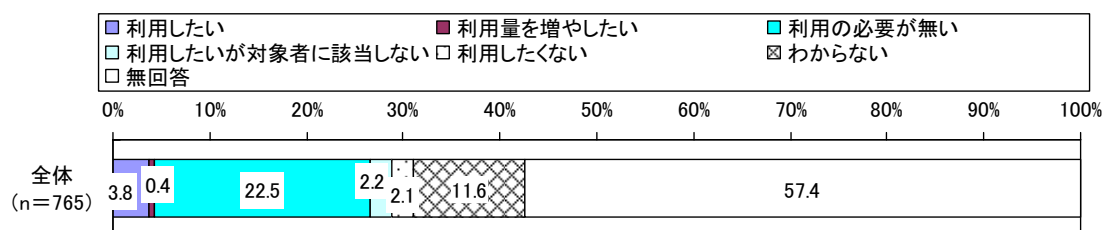
### (2) サービスの満足度



### (3) 現在利用していない理由



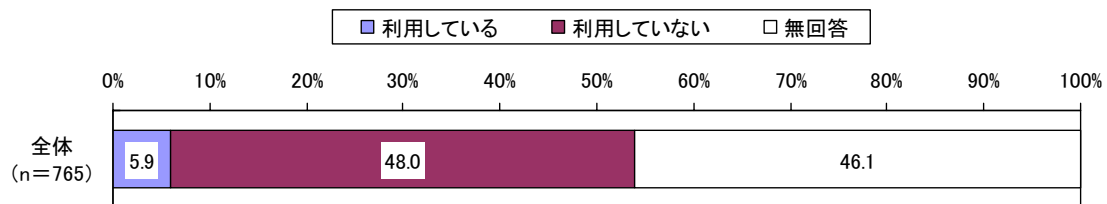
### (4) 今後利用したいか



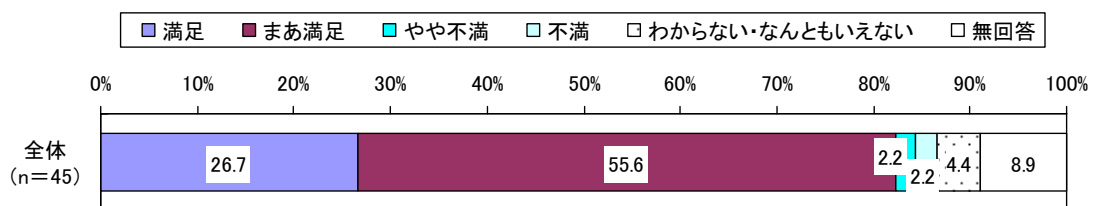
## ⑥生活介護

- 現在の利用状況は、「利用している」が5.9%、「利用していない」が48.0%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が82.3%（45人中37人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が4.4%（45人中2人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が26.4%、「利用の必要がない」が48.8%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が6.7%、「利用量を増やしたい」が0.7%となっています。

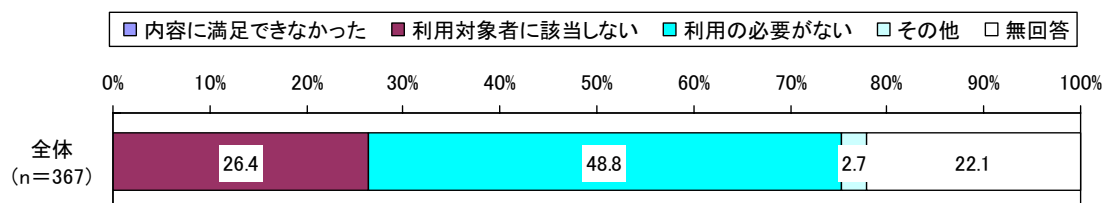
### （1）現在の利用状況



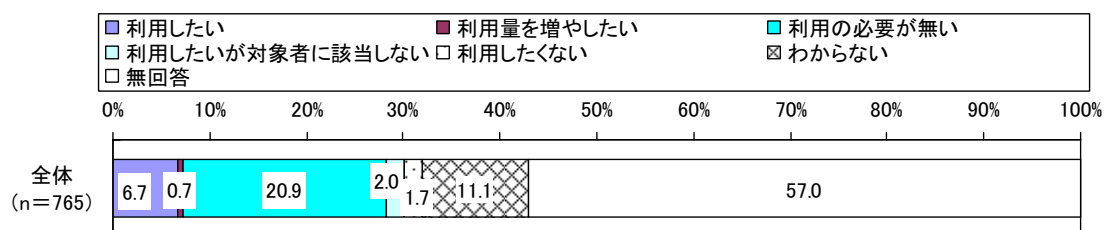
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



### （4）今後利用したいか

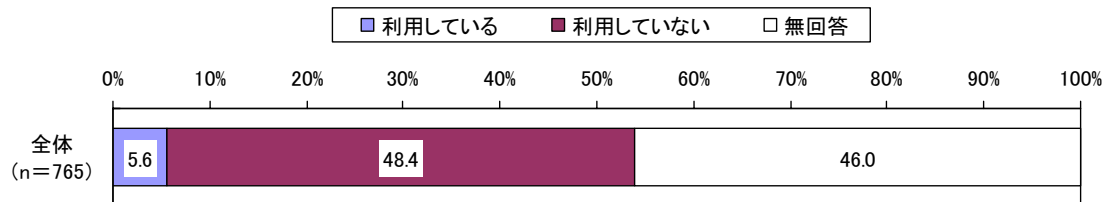




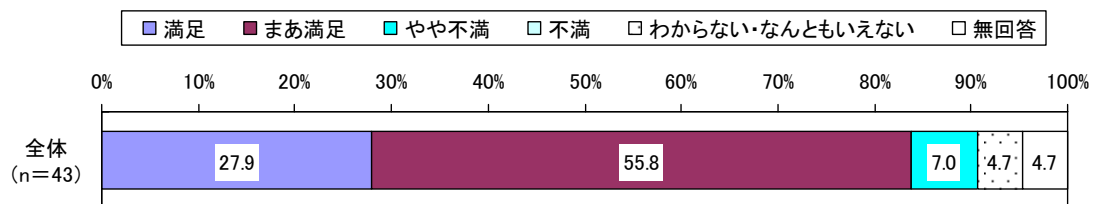
## ⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）

- 現在の利用状況は、「利用している」が5.6%、「利用していない」が48.4%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が83.7%（43人中36人）、「やや不満」が7.0%（43人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が22.7%、「利用の必要がない」が48.4%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が10.2%、「利用量を増やしたい」が1.0%となっています。

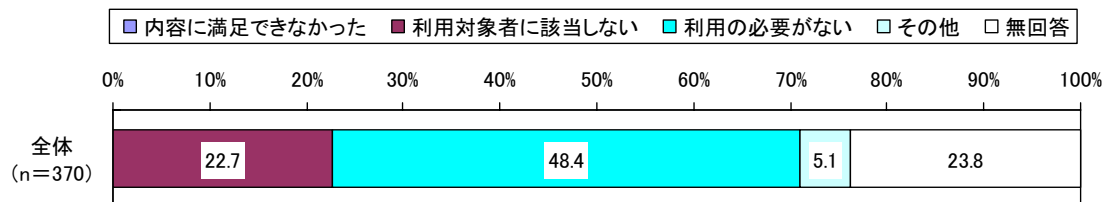
### （1）現在の利用状況



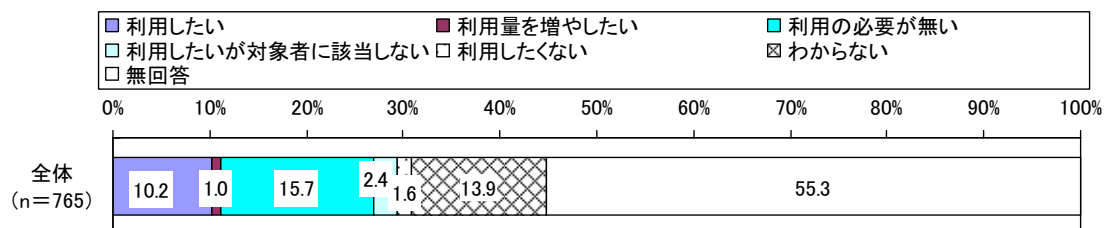
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



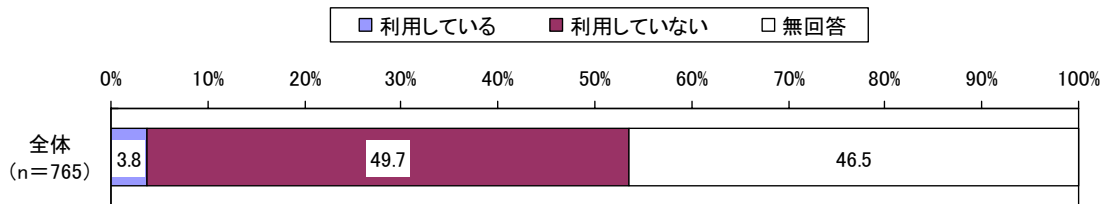
### （4）今後利用したいか



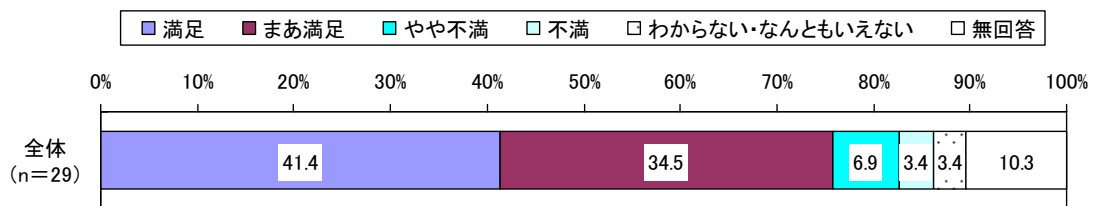
## ⑧就労移行支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が3.8%、「利用していない」が49.7%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が75.9%（29人中22人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が10.3%（29人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が27.4%、「利用の必要がない」が44.5%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が10.2%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

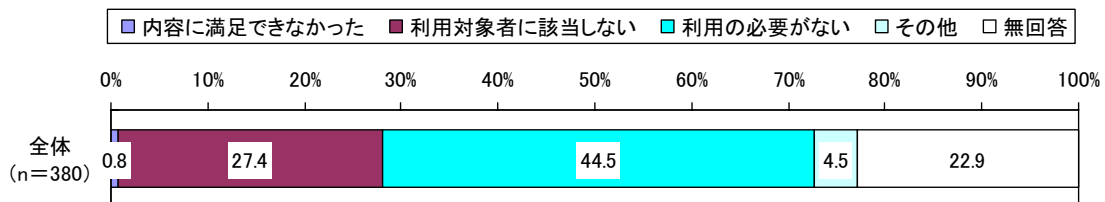
### （1）現在の利用状況



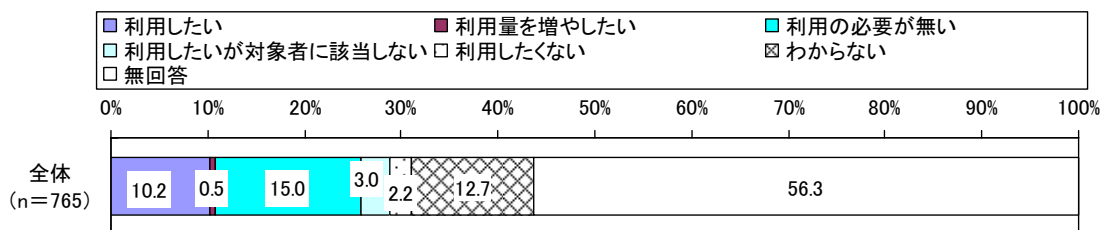
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



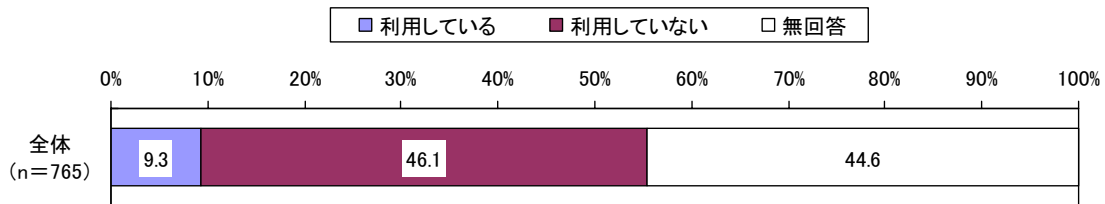
### （4）今後利用したいか



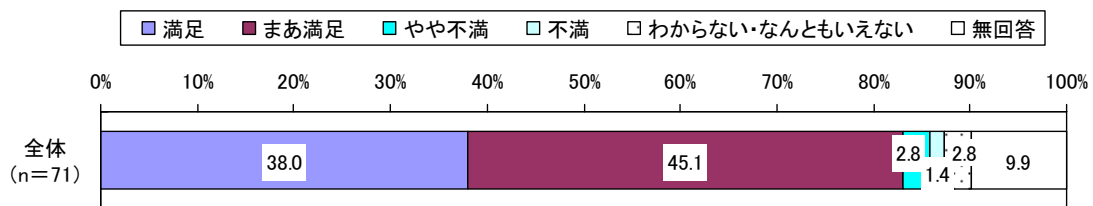
### ⑨就労継続支援（A型、B型）

- 現在の利用状況は、「利用している」が9.3%、「利用していない」が46.1%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が83.1%（71人中59人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が4.2%（71人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.6%、「利用対象者に該当しない」が26.1%、「利用の必要がない」が45.3%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が11.4%、「利用量を増やしたい」が0.8%となっています。

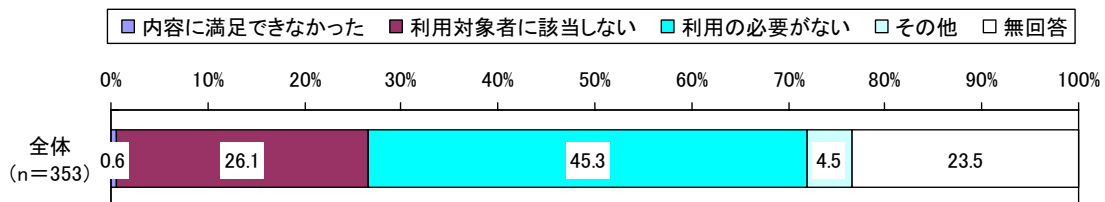
#### （1）現在の利用状況



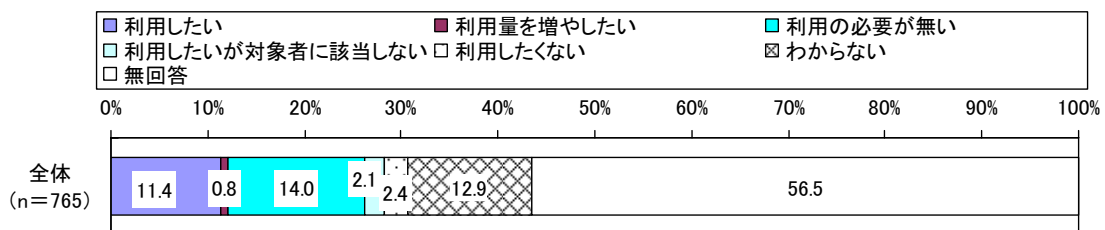
#### （2）サービスの満足度



#### （3）現在利用していない理由



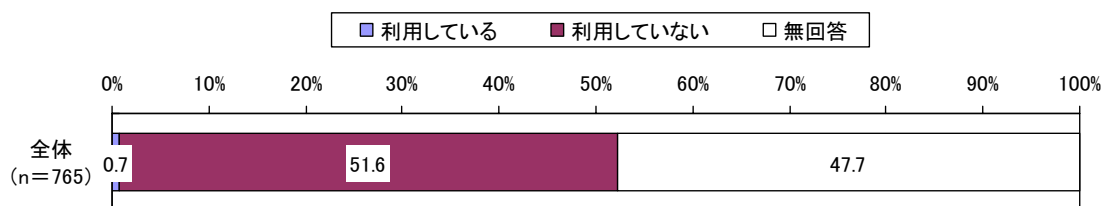
#### （4）今後利用したいか



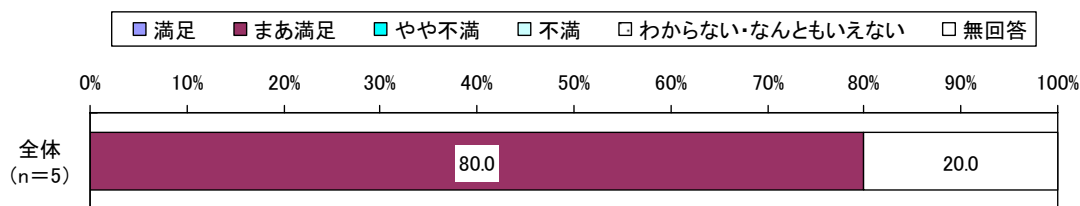
## ⑩療養介護

- 現在の利用状況は、「利用している」が0.7%、「利用していない」が51.6%となっています。
- サービスの満足度は「まあ満足」が80.0%（5人中4人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.3%、「利用対象者に該当しない」が27.1%、「利用の必要がない」が48.1%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が3.3%、「利用量を増やしたい」が0.7%となっています。

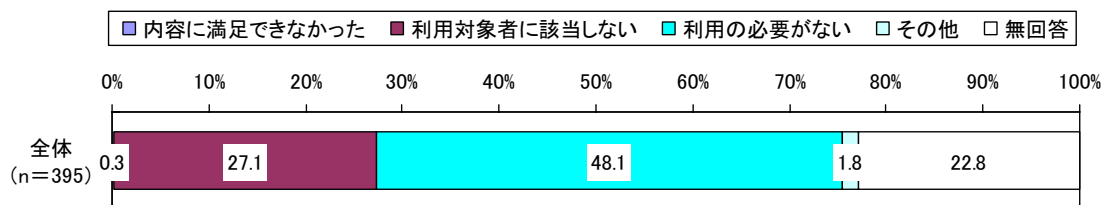
### （1）現在の利用状況



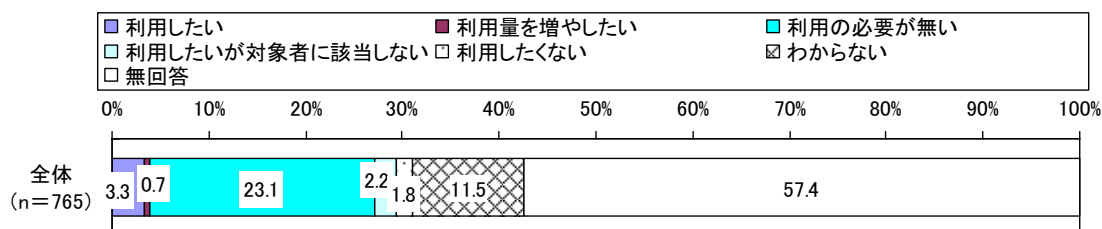
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



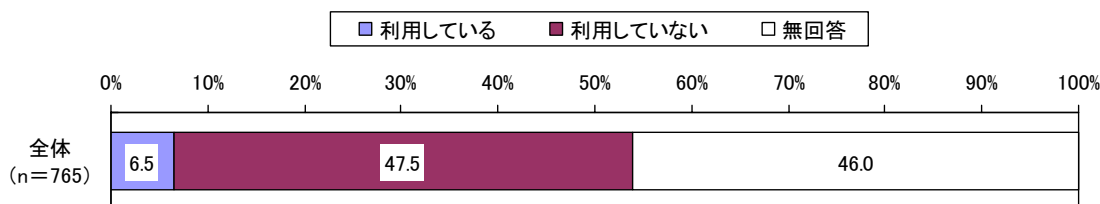
### （4）今後利用したいか



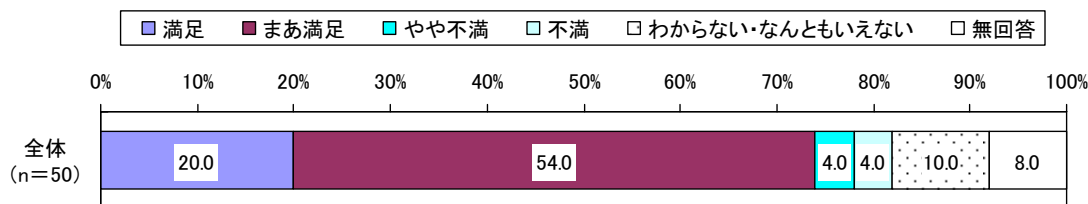
### ⑪短期入所（ショートステイ）

- 現在の利用状況は、「利用している」が6.5%、「利用していない」が47.5%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が74.0%（50人中37人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が8.0%（50人中4人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が20.7%、「利用の必要がない」が50.7%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が12.3%、「利用量を増やしたい」が1.2%となっています。

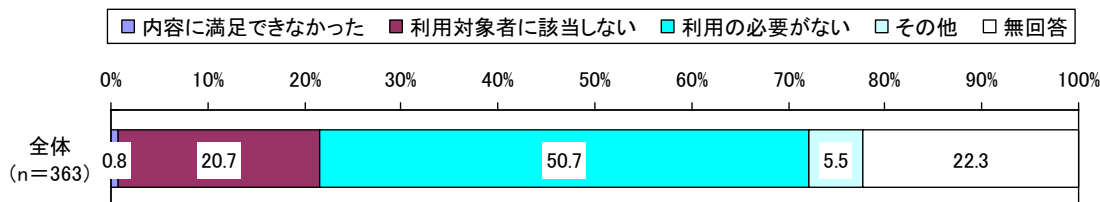
#### （1）現在の利用状況



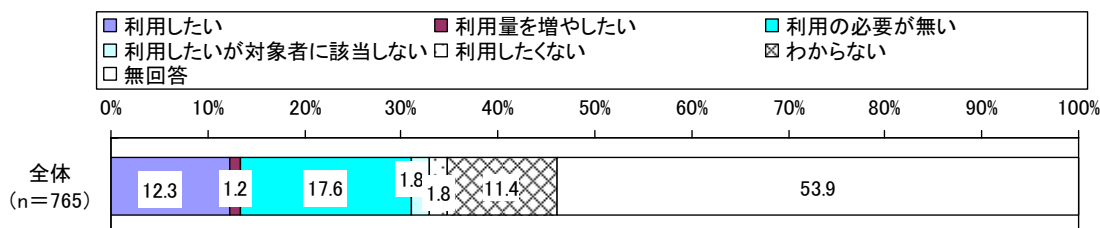
#### （2）サービスの満足度



#### （3）現在利用していない理由



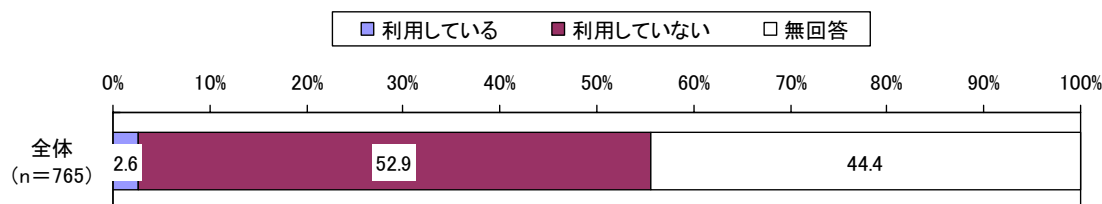
#### （4）今後利用したいか



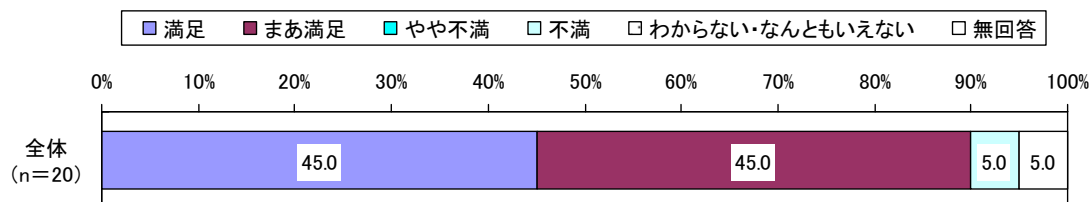
## ⑫共同生活援助（グループホーム）

- 現在の利用状況は、「利用している」が2.6%、「利用していない」が52.9%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が90.0%（20人中18人）、「不満」が5.0%（20人中1人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.7%、「利用対象者に該当しない」が23.0%、「利用の必要がない」が50.4%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が9.3%、「利用量を増やしたい」が0.3%となっています。

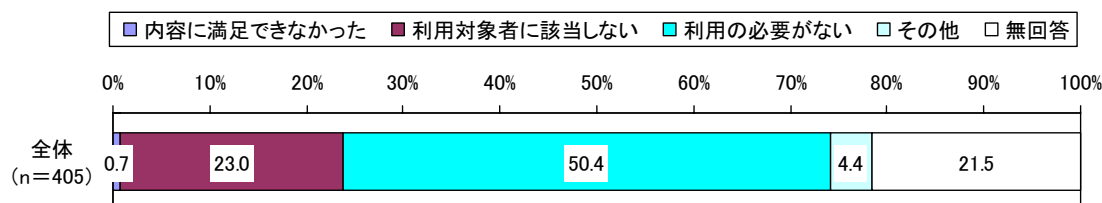
### （1）現在の利用状況



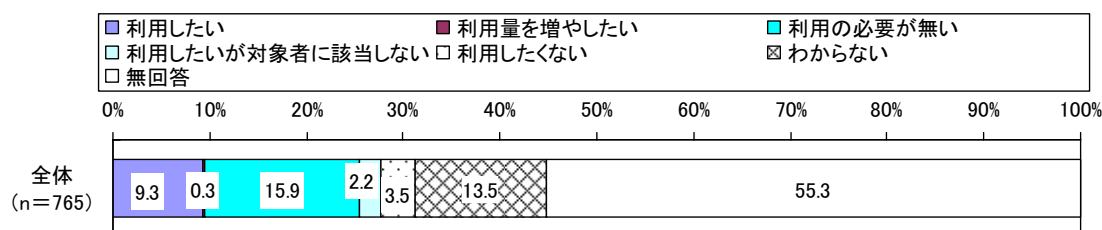
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



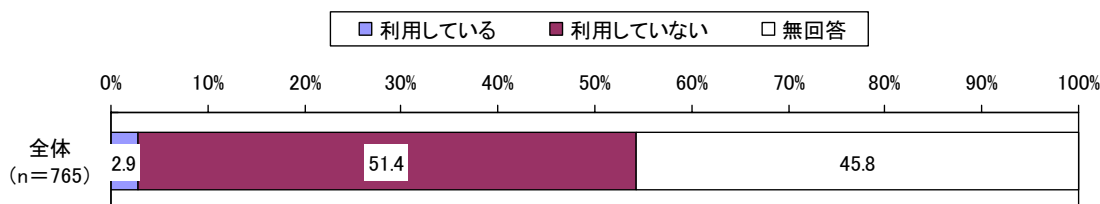
### （4）今後利用したいか



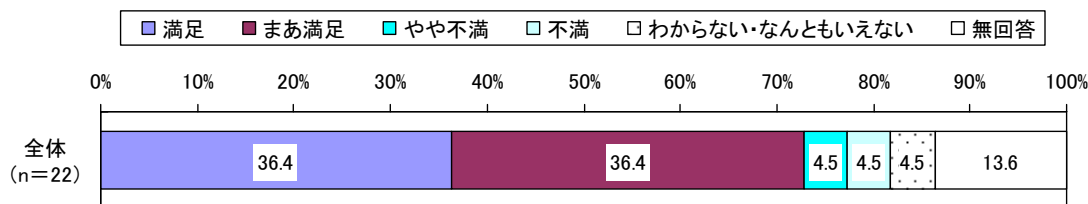
### ⑬施設入所支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が2.9%、「利用していない」が51.4%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が72.8%（22人中16人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が9.0%（22人中2人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.8%、「利用対象者に該当しない」が23.7%、「利用の必要がない」が50.6%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が5.2%、「利用量を増やしたい」が0.7%となっています。

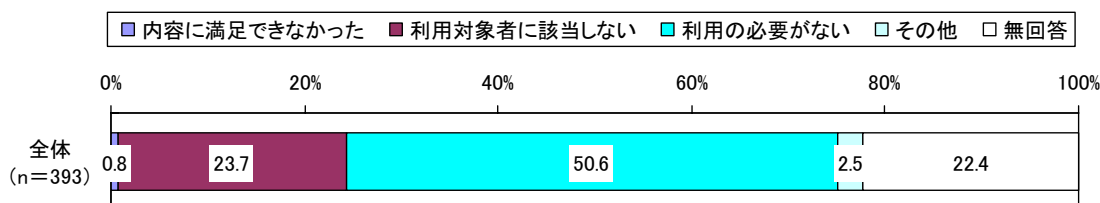
#### (1) 現在の利用状況



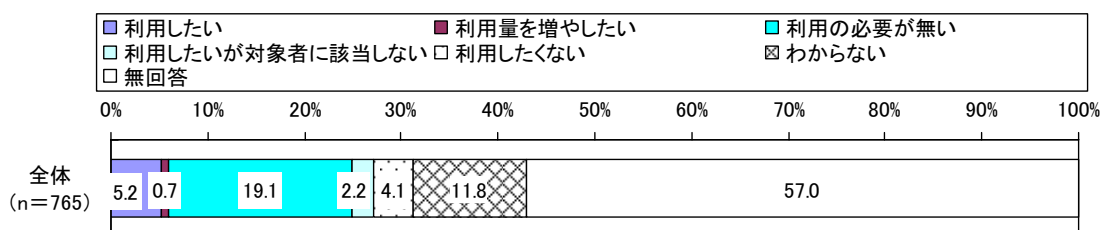
#### (2) サービスの満足度



#### (3) 現在利用していない理由



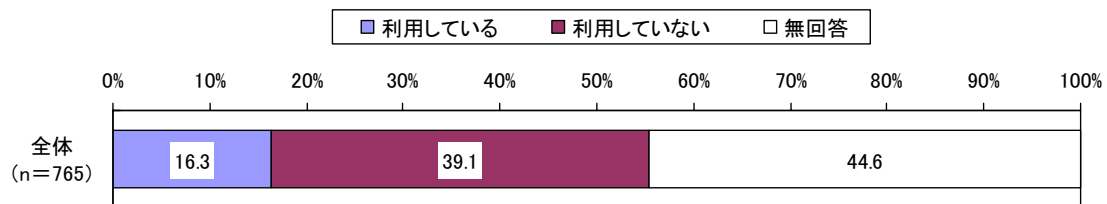
#### (4) 今後利用したいか



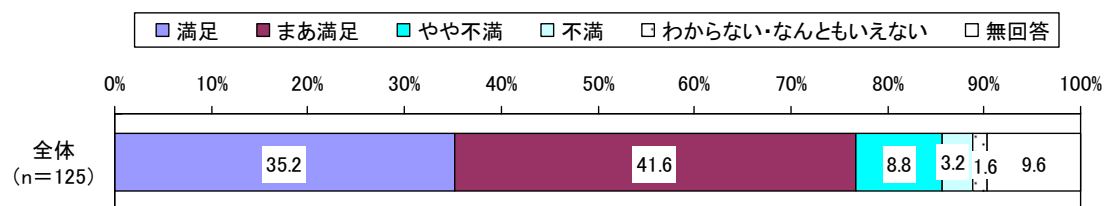
## ⑭相談支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が16.3%、「利用していない」が39.1%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が76.8%（125人中96人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が12.0%（125人中15人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.7%、「利用対象者に該当しない」が15.4%、「利用の必要がない」が49.5%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が19.0%、「利用量を増やしたい」が0.7%となっています。

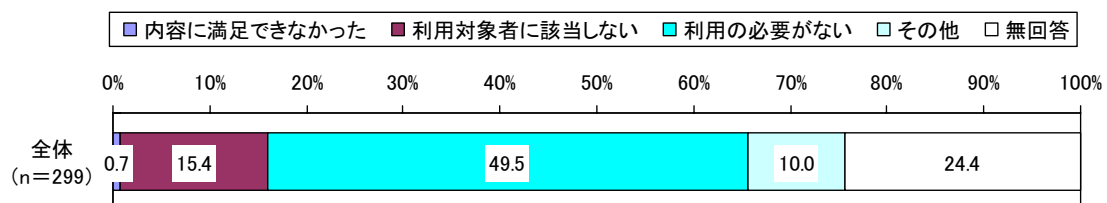
### （1）現在の利用状況



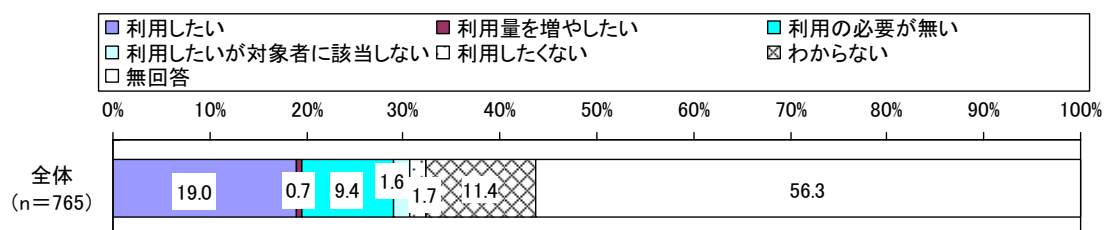
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



### （4）今後利用したいか





## ⑮児童発達支援

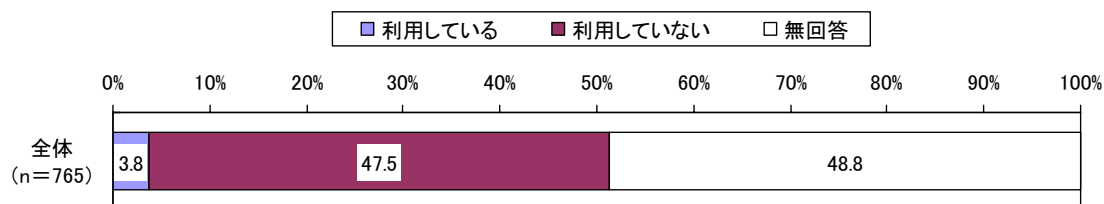
○現在の利用状況は、「利用している」が3.8%、「利用していない」が47.5%となっています。

○サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が96.6%（29人中28人）、「不満」が3.4%（29人中1人）となっています。

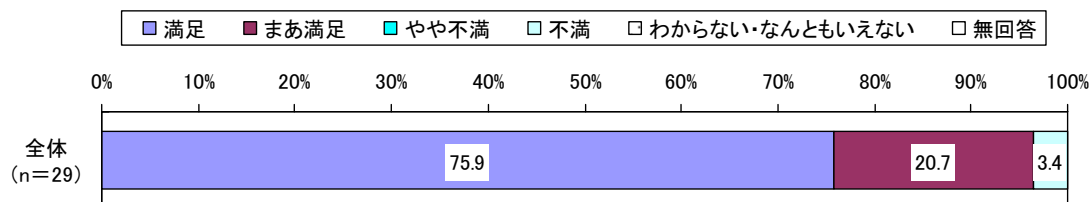
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が30.0%、「利用の必要がない」が44.4%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が5.4%、「利用量を増やしたい」が0.9%となっています。

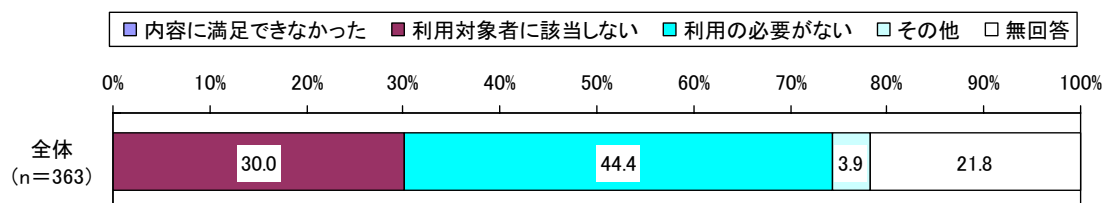
### （1）現在の利用状況



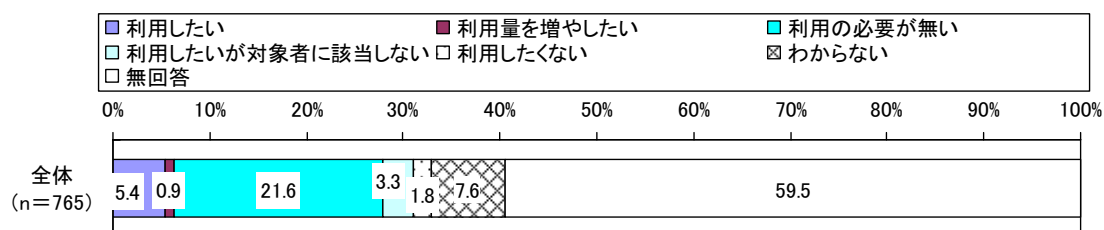
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



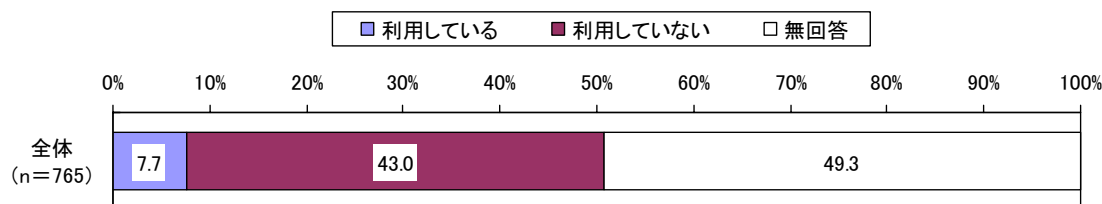
### （4）今後利用したいか



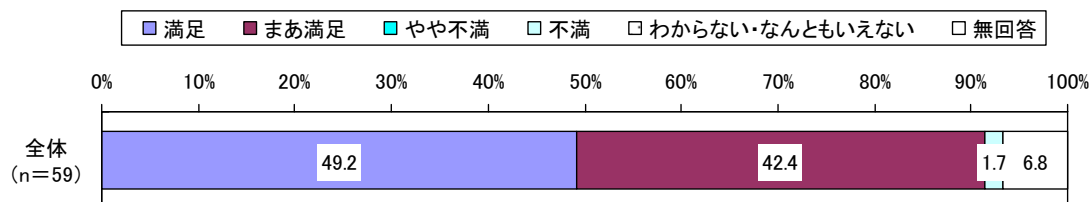
## ⑩放課後等デイサービス

- 現在の利用状況は、「利用している」が7.7%、「利用していない」が43.0%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が91.6%（59人中54人）、「不満」が1.7%（59人中1人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.3%、「利用対象者に該当しない」が30.7%、「利用の必要がない」が44.7%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が7.2%、「利用量を増やしたい」が2.2%となっています。

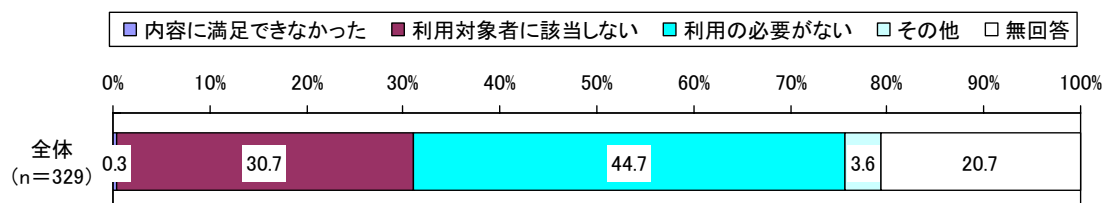
### （1）現在の利用状況



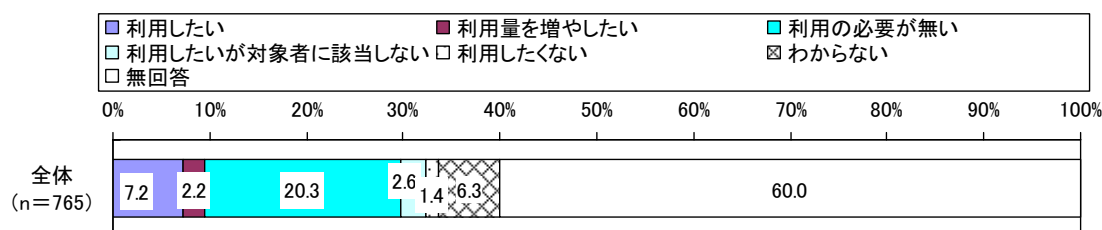
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



### （4）今後利用したいか



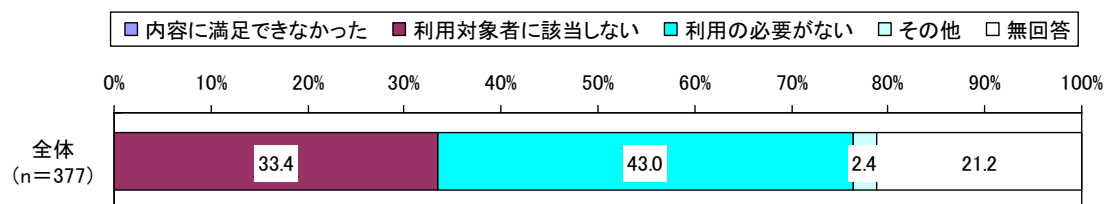
## ⑰保育所等訪問支援

○現在、市において「保育所等訪問支援」の利用実績はありません。

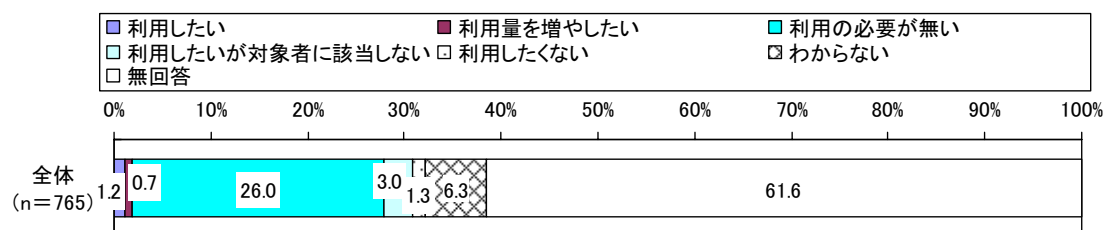
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が 33.4%、「利用の必要がない」が 43.0% となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が 1.2%、「利用量を増やしたい」が 0.7%となっています。

### (3) 現在利用していない理由



### (4) 今後利用したいか



## ⑱医療型児童発達支援

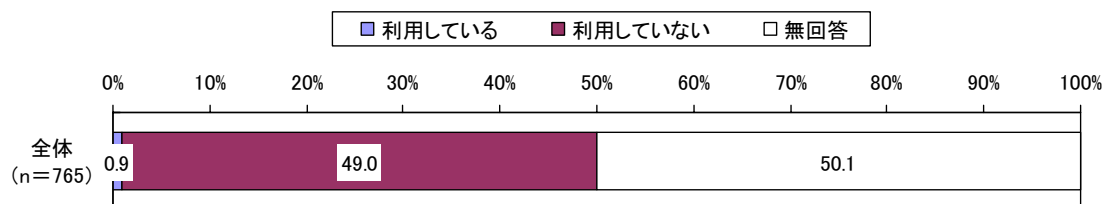
○現在の利用状況は、「利用している」が0.9%、「利用していない」が49.0%となっています。

○サービスの満足度は「満足」が57.1%（7人中4人）、「まあ満足」が42.9%（7人中3人）となっています。

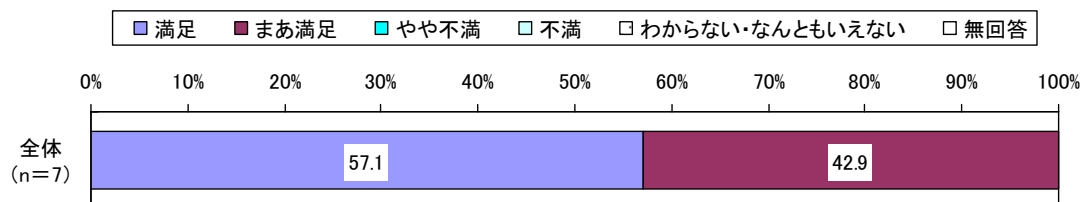
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が31.2%、「利用の必要がない」が43.5%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が2.5%、「利用量を増やしたい」が0.5%となっています。

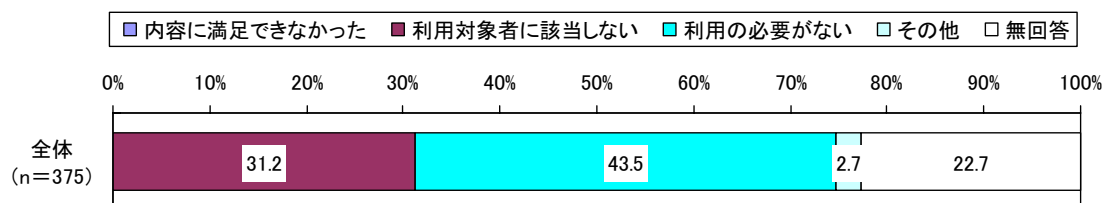
### （1）現在の利用状況



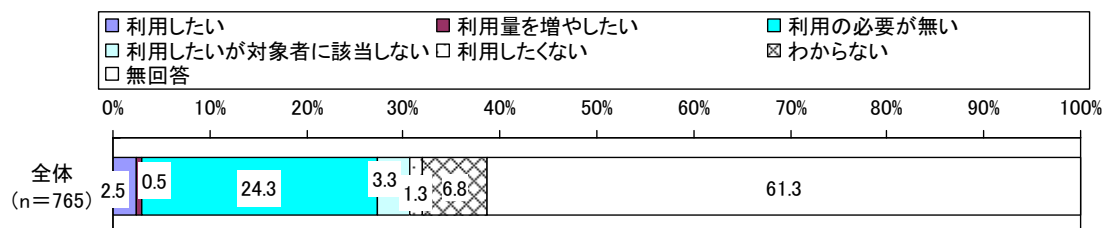
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



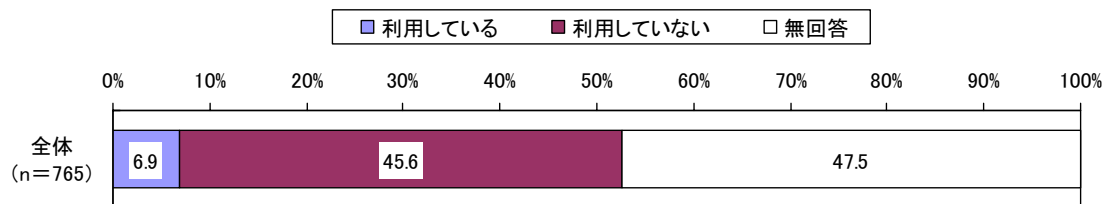
### （4）今後利用したいか



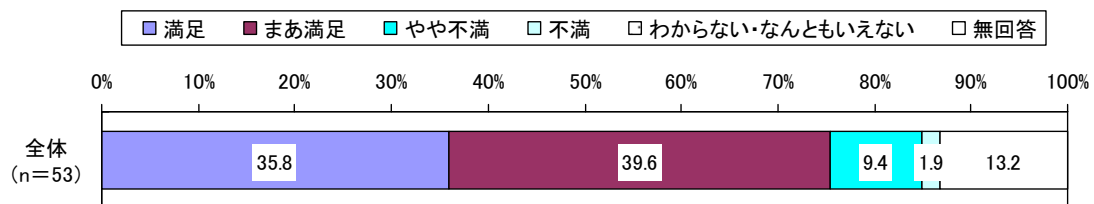
## ⑨移動支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が6.9%、「利用していない」が45.6%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が75.4%（53人中40人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が11.3%（53人中6人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.6%、「利用対象者に該当しない」が22.9%、「利用の必要がない」が47.9%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が10.7%、「利用量を増やしたい」が1.2%となっています。

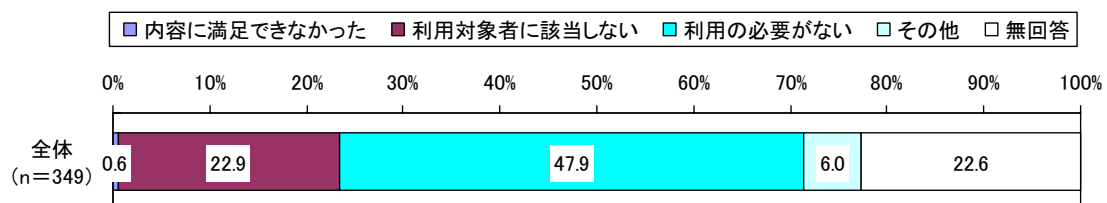
### （1）現在の利用状況



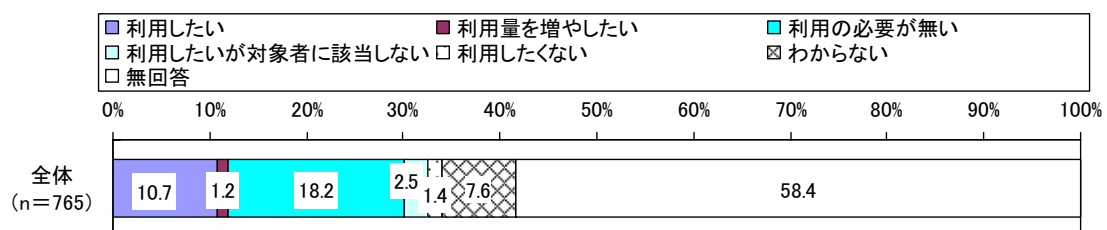
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



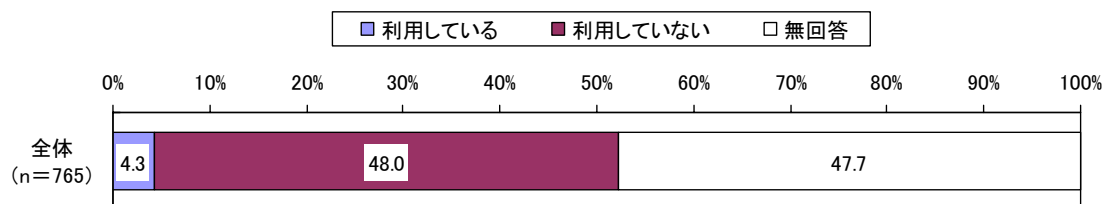
### （4）今後利用したいか



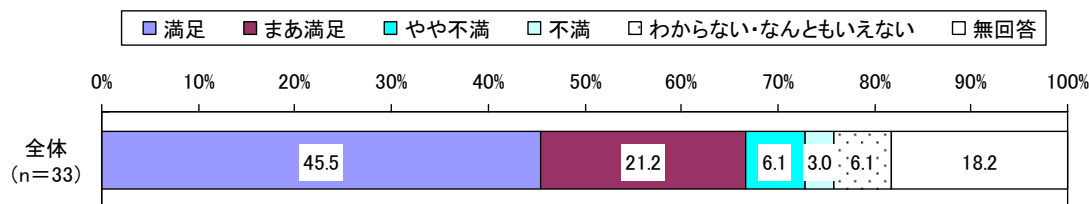
## ⑳地域活動支援センター

- 現在の利用状況は、「利用している」が4.3%、「利用していない」が48.0%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が66.7%（33人中22人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が9.1%（33人中3人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が1.6%、「利用対象者に該当しない」が21.3%、「利用の必要がない」が43.3%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が9.0%、「利用量を増やしたい」が0.7%となっています。

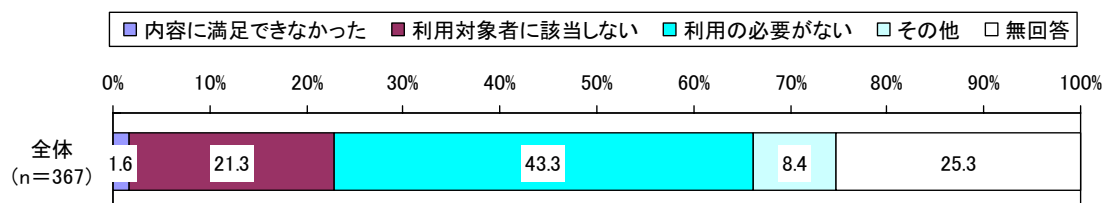
### （1）現在の利用状況



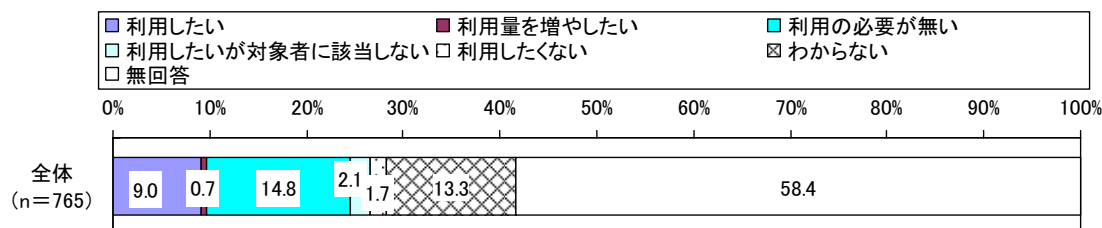
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



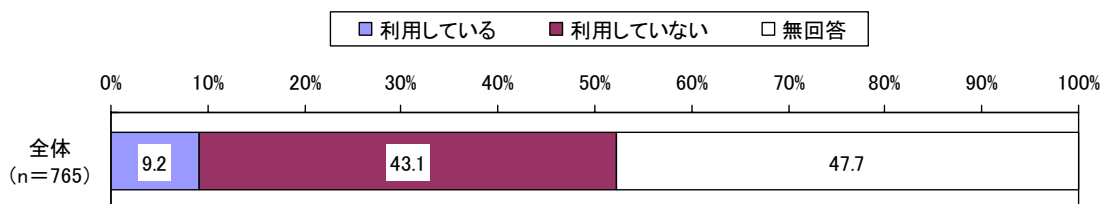
### （4）今後利用したいか



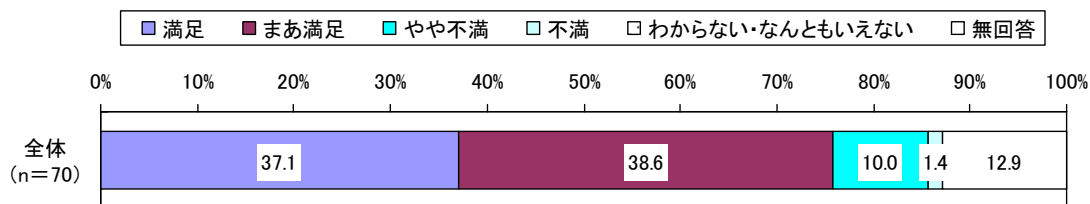
## ②日中一時支援

- 現在の利用状況は、「利用している」が9.2%、「利用していない」が43.1%となっています。
- サービスの満足度は「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が75.7%（70人中53人）、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が11.4%（70人中8人）となっています。
- 現在利用していない理由は、「内容に満足できなかった」が0.9%、「利用対象者に該当しない」が19.1%、「利用の必要がない」が51.8%となっています。
- 今後の利用意向は、「利用したい」が10.8%、「利用量を増やしたい」が1.6%となっています。

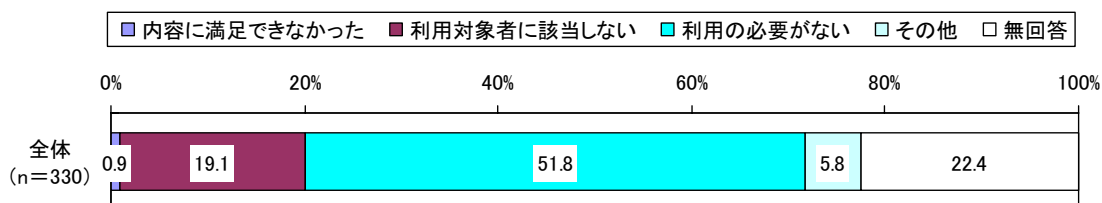
### （1）現在の利用状況



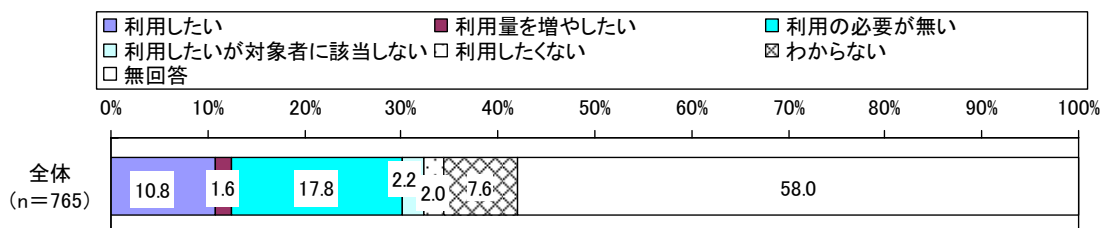
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



### （4）今後利用したいか



## ②意思疎通支援

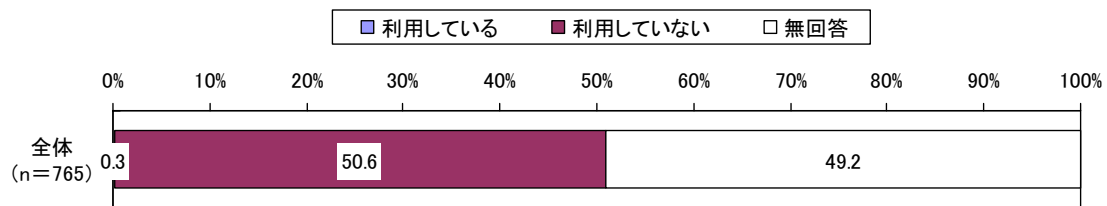
○現在の利用状況は、「利用している」が0.3%、「利用していない」が50.6%となっています。

○サービスの満足度は「やや不満」が50.0%（2人中1人）となっています。

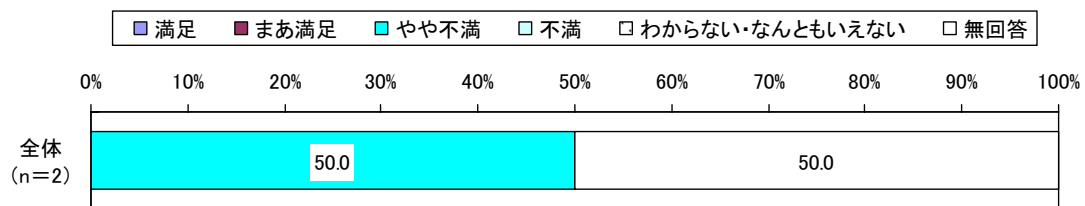
○現在利用していない理由は、「利用対象者に該当しない」が28.7%、「利用の必要がない」が45.2%となっています。

○今後の利用意向は、「利用したい」が0.8%、「利用量を増やしたい」が0.7%となっています。

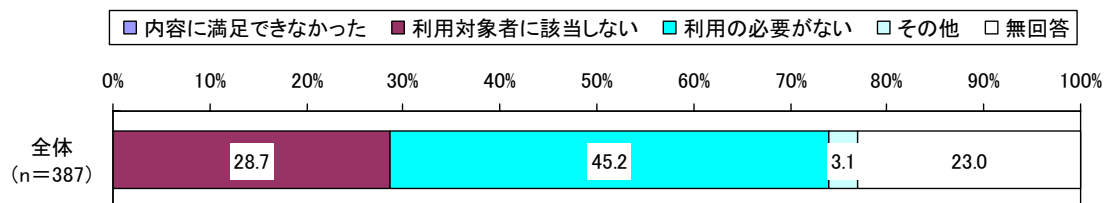
### （1）現在の利用状況



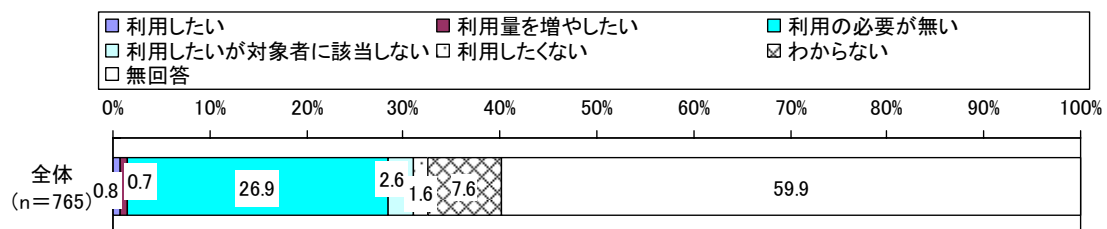
### （2）サービスの満足度



### （3）現在利用していない理由



### （4）今後利用したいか

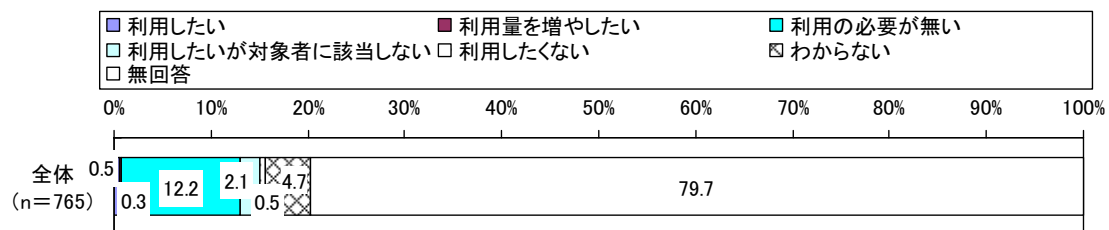




### ②③ 居宅訪問型児童発達支援

○今後の利用意向は、「利用したい」が 0.5%、「利用の必要がない」が 12.2%、「わからない」が 4.7%となっています。

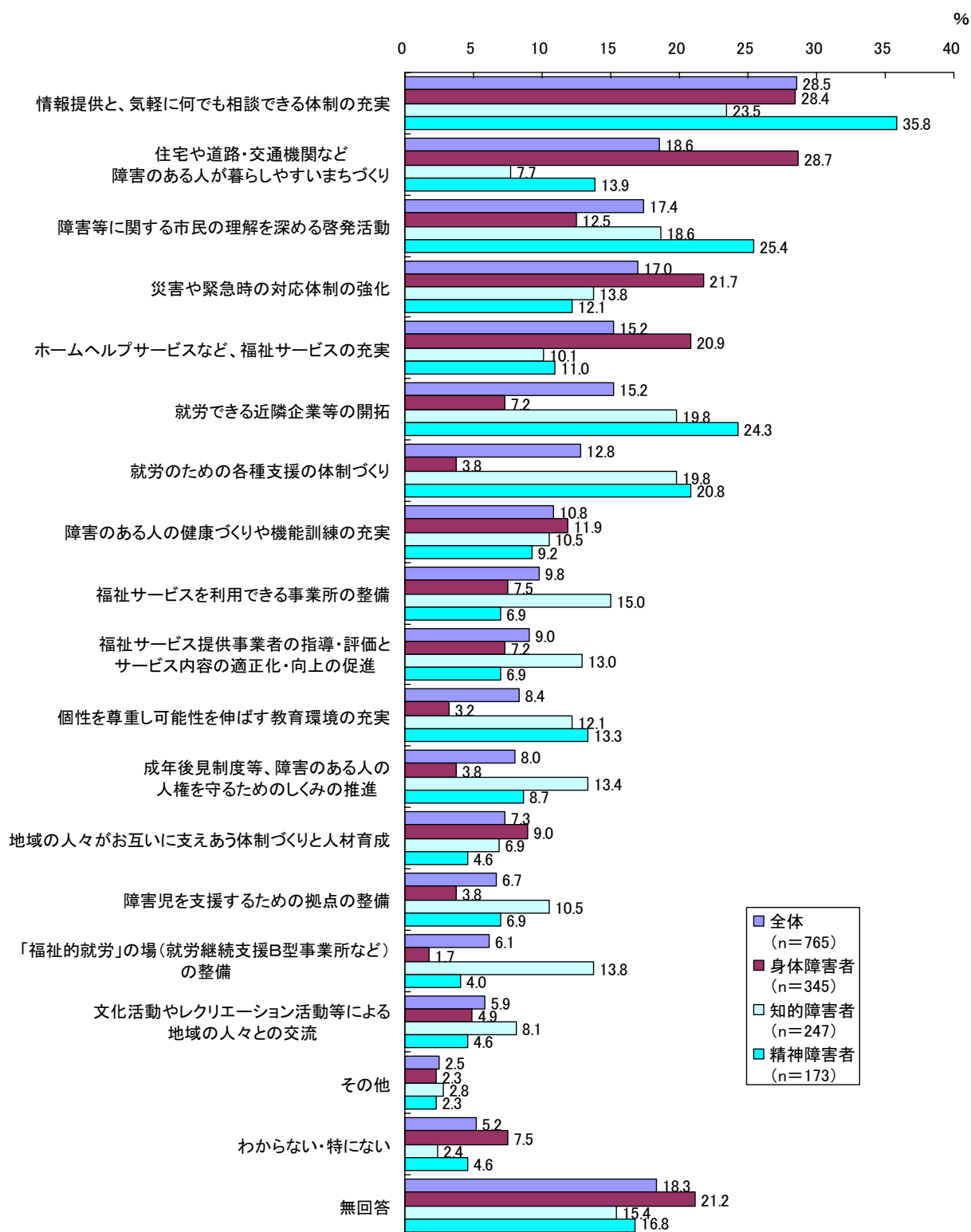
#### (4) 今後利用したいか



## (10) 市の施策について

**問 39 入間市で暮らしていくうえで、市にこれから特にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）**

- 全体では、「情報提供と、気軽に何でも相談できる体制の充実」が28.5%と最も高く、次いで「住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり」が18.6%、「障害等に関する市民の理解を深める啓発活動」が17.4%と続いています。
- 障害種別に見ると、身体障害者では「住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり」「災害や緊急時の対応体制の強化」「ホームヘルプサービスなど、福祉サービスの充実」の割合が他の障害に比べ高くなっています。知的障害者では「福祉サービスを利用できる事業所の整備」「福祉サービス提供事業者の指導・評価とサービス内容の適正化・向上の促進」「福祉的就労」の場（就労継続支援B型事業所など）の整備」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。精神障害者では「情報提供と、気軽に何でも相談できる体制の充実」「障害等に関する市民の理解を深める啓発活動」「就労できる近隣企業等の開拓」の割合が他の障害に比べ突出して高くなっています。



## (11) 自由回答

○自由回答は以下の通りになります。

### ◆身体障害者

- ・今後もアンケートを行ってください。
- ・荷物や医療機器が多い為車からバギーへの移動に時間がかかります。屋根のない駐車場だと、雨の日にはびしょびしょに濡れてしまい大変です。よく健康福祉センターを利用しますが雨の日に限って障害者用の屋根付き駐車場が空いていません。ジム利用者など障害の無い方が利用していることが殆どです。警備員を配置するなどして利用者を制限してください。本当に必要な人が使えず困っています。対策をお願いします。
- ・今は大丈夫ですが、髪を切るとき普通の美容院には行けません。通園場所に出張で来て頂けたら助かると思いました。
- ・市の障害福祉課の方が細かく誠実に取り組んでいらっしゃるが大変頼もしいです。心から地域住民として応援致します。ありがとうございます。
- ・日中1人の場合が多いので緊急の場合ポケットベルがあればいい、と思っています。
- ・入間市内へ充実した総合大病院があればいいと思います。
- ・支援や仕組みとして項目は並べられていても、実際には利用できないサービスが多い。(入間市(近郊含む)に施設がない。親が事業者、介助者を自分で探すしかないが現実には何もない。見つけるすべがない。)それはサービスがあるとは言えないので利用実績から何が整備出来、何が出来ていないのか実態をしっかりと整理し、あるとおもっていたのに無かったところは需要や必要性に合わせて再構築してほしいです。
- ・ストマの値段が高くなり年間4,5万円負担しています。お考えください。
- ・入間市駅前の歩道橋の歩道部、階段部の劣化で歩行に不安を感じる。特に雨天時の歩道面がタイル貼りのため滑りやすく老人には危険。また、通勤通学時には傘(特に学生)がぶつかりあぶない。歩道の拡張を早急に実施してほしい。
- ・いつも仏子駅を利用していますが「誰でもトイレ」は広いのですが、便座が冷たく障害者には辛いです。またウォシュレットが付いていないのも菌に気を使うものには不便です。改善してほしいです。
- ・意味がよくわからない。
- ・視覚障がい者がアンケートをこたえることはとても大変な事です。代筆が必要です。読む人がいなければ内容も分かりません。アンケートの手段をもう一度考えて頂きたい。
- ・経済面で利用をためらうケースも多々あると聞きます。それでも最小限の事はやってやりたいと押しつけがましいマニュアルは嫌ですし、さらなる充実した支援をお願いします。
- ・どんな障がい者であれ、もう少し周りの人たちの理解が欲しいです。全部じゃないかもしれないけれど自分たちなりに生活が懸かっているので必死になって頑張っているのに悲しくなります。色々な面で一生障害者だからといって身を狭くしていなければいけないのでしょうか。
- ・障害が重く、家でほとんど過ごすためうまく言えませんが、こちらから何かをしないと情報などが得られませんし孤立感を感じます。また提供されるサービスと必要としているものは違う気が

しています。

- ・福祉に携わる方々には障害者に対して特に理解を深めてほしい。
- ・障がい施設がもっと多くなればと思います。
- ・日頃より障害福祉行政に関し、ご配慮ご指導応援に感謝申し上げます。今後とも一層のご指導ご活躍に対しよろしくお願ひ申し上げます。
- ・タクシー券などとても助かっております。また、市民の方々も障害に対する理解度が深まっていると思ひ感謝しております。これもひとえに市職員の方やご担当者の方のご努力のおかげと思っております。これからもよろしくお願ひします。
- ・納税者の方々にはお世話になっています。当方頸髄損傷ですが「自分でできることは自分で」をモットーにしております。見えないところでも生活ルールを守るよう努めているつもりです。一部の？福祉事業はとりっばぐれの無い美味しい商売でしばしば不条理を感じている人もいらっしやると聞くことがあります。
- ・1. 人工肛門のストマの購入費の補助を受けていますが自己負担があります。ストマが値上がりしても補助額は同額です。増額、できれば全額補助を希望します。2. 外出時に公共機関のトイレが使いづらいし未整備の所が多いです。「市役所」のトイレも暗いし数も少ないです。足元から改善して下さい。
- ・障害福祉課の皆様皆よく対応して下さい。感謝いたします。
- ・入間市役所で書類を出すにしても何にしても、待ち時間が長すぎる。声掛けもない。今どきの方が多く見えます。特に1階が多いようです。
- ・障害者手帳に記入してある等級で何をして下さることが出来るか、私はその時にならないと判断が出来ないので出来る項目を書いてください。その内容によっては依頼する事ができるものもあるのではと思っております。例えば障がい者3級ではタクシーの補助券は配布されないのでしょうか？
- ・あなたの年齢、性別、家族の年齢、性別の記入について。個人は特定しないとはいえ特定できる気がして記入を迷う。年齢を○歳から○歳などの幅を持たせた選択の方が記入しやすいかと思ひます。
- ・实际的、具体的かつ系統的な入所心掛の情報提供。例えば入所可否判断の具体例、料金の問題、健康状態、施設位置などなど…、市内施設のハードとソフト（運営）状況。入院配置やシフトに入所料金項目など。市内地図への施設配置。入所手続きや手順と利用者が事前に準備として心掛ける事…。日頃の尽力多謝。
- ・リハビリ機器がある程度ではあるものの、効果が明白な場合市や行政がその機器を購入、リースなどしてそこから個々のトレーナーに使用させることとはかのでしょうか？
- ・食事のとれない子供を支援する、手厚い市政を望みます。
- ・半端の難聴は健常者と生活していかなくてはならない。機械の検査だけで障害手帳を決められるなんて、だったらうんと耳が聞こえないふりをすればいいのか。現在に目が見えないふりしている人も知っています。世の中は不公平だと思います。6級の障害手帳だってもらっても金をもらえるわけではありません。ただ安心が有りますね！（病院などにだしたりの）。
- ・今のところは大体の事は出来ているので、特に困ったことはありません。木の枝切りは息子がやってくれています。困ったことがあるときは息子に相談しています。あるとすれば道路の段差を

少しでもなくしてほしいです。

- ・私は3歳で障がい者です。障害年金はもらえません。多少でも年金的なものを支援してほしいです。今58歳、この先不安だらけです。
- ・在宅介護を10年間やり、その間に介護サービスを受けました。そのサービス、市役所の対応には満足していますが病気が進行し在宅医療が必要となった時に訪問診療してくれる医者がいませんでした。長期入院して6年が過ぎましたが医師が居たら在宅介護をしてやりたかったです。
- ・同行援護のヘルパーの事で、ボランティアという感覚でやっている方が多く、お金を取っているならもっとプロとしての自覚を持ってほしい。(道を覚えなかつたり、スマホを見ていたり、自分の考えを押し付けたり、とても不愉快になります。)もっと事業所がしっかりして人材重視でやってほしい。役所も事業所の指導に力をいれてほしい。
- ・アンケート内容が複雑すぎるのでもっと簡単にしてほしい。詳しい事を調査したいのであれば、個別に面談などをして実施してください。
- ・がんばって答えました。必ずこれが役に立つようよろしくお願いします。
- ・用事がないと家にこもりやすいです。高齢でも参加できる行事、良いですね。
- ・今後も定期的にこのような調査の運動を一層進めてください。ありがとうございました。
- ・働く意欲のある障害者に対しては、さまざまな援助、あるいは訓練をすることによって生活保護に陥らないようにさせることが大事だと思います。生活保護に陥ると一切合財国が面倒をみなければなりません。ですから、援助や訓練の為に使う費用の方がまだ安いと思います。
- ・何度も市役所に相談に行っても何一つ解決してもらえず、民生委員とか信用できない。
- ・遅くなって申し訳ありません。
- ・福祉サービスにあたる人への配慮(賃金、雇用など)。提出遅れすみません。
- ・遅れてごめんなさい。
- ・ほんの一部の方ですが、職員の態度を改善してほしい!
- ・同行援護の回数を増やしてほしい。・バスの停留所を増やしてほしい。・タクシー券を増やしてほしい。

## ◆知的障害者

- ・いつも大変お世話になっております。これからも何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。
- ・故●●氏が生前は保護者として、妻●●と共に●●氏の介助をしていましたが、現在は相続人の●●が一切の介助管理を行っておりますのでご理解と今後のご協力をよろしくお願い致します。
- ・親が年を取るのでは先が心配ですが、現在では皆さんに助けて頂いて感謝しています。これからもよろしくお願い致します。
- ・保護者からです。何事も障害を理解し、支援する人員の確保をお願いしたいです。ヘルパーを利用したくても、人員確保できずサービス利用を受けられないと断られることが多いです。また、学校も教員、支援員の人員を増やしてもらいたいです。どこの学校もそうかもしれませんが、発達に心配のある児童、生徒が増加の中、どこの場も手薄い感じがします。問題が起こってから動くのではなく、それを見越して対策を取ってもらいたいです。子供が減少している中です。将来の為に手厚い対応をお願いします。
- ・昨年、障害者差別解消法施行により、これからより良い環境へと変わってくれることを期待しています。
- ・情報は本当に何も無い。自分で調べるにも限界がある。学校は本当にダメ。何も知らない。何もしてくれない。何もわかっていない。子供が成長しない、知ろうともしない。形だけで中身がない。ひどいものだ。せっかく子供がやろうとしていても成長できるチャンスや大事な時なのに学校がダメ。もったいない。
- ・難しくてよく分かりませんでした。
- ・質問が多すぎて複雑で、内容が理解できない。もっと簡単に誰にでもわかるように書いてほしい。
- ・1人になった時、仕事がしたいです。きぐるみ、ゆるキャライルティーターの中に入りたいです。
- ・弱者が意見できる場をくださりありがとうございます。ありがとうございました。
- ・「グループホーム」が少なくて困っています。もっとたくさん子供たちが暮らせるホームを作ってください。お願いします！！（子供が自立できません）。
- ・放課後等デイサービスや日中一時支援を行っている事業所の数が少ないと感じます。また、今現在利用している事業所のサービス内容にはおおむね満足ですが、それ以外の事業所では自分の子供のように重度の障害がある場合に対応する技能が不足していると感じます。また、ショートステイを行う事業所が増えてくれると有り難いです。
- ・青年学級が欲しいです。余暇活動を充実させたいと思います。・親亡き後がとても心配です。グループホームや入所施設を増やしてほしい。
- ・障がい者も高齢化していきます。高齢の障害者対策も考えてほしいと思います。人工知能の開放が進み、ロボットなどに軽作業がとってかわられて行きます。スウェーデンでは障がい者から軽作業を奪わない、という法律が出来ているそうです。国の法律として作っていくのは難しいかもしれませんが、まず入間市では障がい者の働く場所の保証を考えて行っていただけたら有り難いです。
- ・障がいの子がいても親がフルタイムで働きやすい状況になってほしい。
- ・鼻をかむことが出来ない。洋服のボタンの掛けはずしが出来ない。トイレでパンツの上げ下げが

出来ない。

- ・7歳で会話が出来ないため難しかった。今が精一杯で就労の事はピンとこない。就労できるのかも分からない。何をやるにも、どこに行くにも肩身が狭い思いをしているのは変わらない。
- ・①実際の声を聴こう、という市の姿勢は評価します。②友人、知人でアンケートの来ていない人がいるのですが、多分全対象者ではなくランダムに抽出した人なのでしょう。どのくらいの人数（できれば3障害別に）にアンケートを取ったのか結果の時には、明記して下さいと分かりやすい。③作業所などでは障害別ではなく垣根を越えてのサービス利用が進んでいます。しかしこういったアンケートの場合はやはり障害別に取った方が質問内容もより実態に近い内容となり回答も施策などに反映しやすいものとなると思います。
- ・平成23年に突発性大腿骨頭壊死があり手術になり現在に至っています。6年が経ち、引きこもりになっており色々本人のこれからの生活どうやって生活の基礎を作っていくか話をしたりしますが、中々理解に苦しみます。本人は人とのコミュニケーション、他人との接点を嫌がります。病気前は社会との人間関係が続かなくても、一生懸命頑張っていました。息子のこれからの一生がどのようにして続けられるのか心配です。乱筆で申し訳ございません。
- ・アンケートの内容が細かすぎて量が多すぎる。アンケートが届いてから返送期間が2週間足らずで期間が短すぎる。1か月くらいの余裕が欲しいです。
- ・福祉的就労を控え、今は就労に対しての関心が高いです。わが子は、生活介護のレベルであろうと考えています。ぜひ市内で就労させようと思っていますが、生活介護等の施設がもう少しあればいいのになあ、と思います。
- ・入間市には子供の療育の病院が無いので誘致してほしい。たとえば新設される自衛隊病院内に療育施設を作って通えるようにしてくれたら嬉しいです。
- ・問38の設問内容は大変に分かりづらい。福祉プランを作成するうえで具体的な内容と思われませんが、設問の方法を一考すべきと感じました。
- ・知的障害と肢体不自由障害は全く違います。このアンケートは同じレベルで考えているように感じます。
- ・意見が思いつかない。アンケートが高齢の親には難しい。何を聞かれているのか理解するのが大変だ。
- ・装具（車いす）の申請ですが、新しくする場合6年間出来ない今の状況を変えて頂きたい。毎日乗っている車いすは6年ももちません。もう少し短い年数でも新しくできるようお願いしたいです。
- ・元気キッズと教育研究所、小学校への連携をぜひお願いしたいです。
- ・所得制限がある為、A判定なのに手当がもらえません。サポートサービスをもっと受けたいのですが収入に限りがあるので受けられません。困っています。
- ・同居家族も病気があり、質問の意味が良く理解できないところがあり間違えていたらお詫びします。4月よりまたデイサービスを利用したいと考えています。
- ・毎日一生懸命働いている割に、給料が安い、時給100円は欲しい。狭い職場に大勢閉じ込められている感がある。
- ・市が障害の方たちのこのようなアンケートは本当にありがたく思います。1人1人の心の声を聴いて現実状態を知っていただき、障害の方たちが1人でも多く住みやすい街づくりにして欲しい



ほしいです。よろしくお願いします。

- ・まだ本人は小学生なので今後、進学や就労の事など不安な事が出てくると思うので、情報提供、相談が出来るようにしてほしいです。軽度な障害で見た目では分かりづらいのもっと理解が進めばと思います。
- ・親が元気なうちは、一緒に生活ですが親に何かあったら…と思うと不安です。心配です。いずれは施設にお世話になると思いますので、徐々に慣れるようショートステイで体験したいですが、利用できるショートステイが無いです。
- ・いつもお世話になっております。市役所の窓口では親身になって相談に乗ってくださりありがとうございます。子供の自立の為に親子で頑張ろうと思っています。先が長いと思うのですが、先が見通せるような情報を提供して頂き、目標に向かって療育などに取り組めるような支援をこれからもお願いいたします。サービスを利用するようになり、沢山の人の関わりの中で成長がみられるようになれました。ありがとうございます！
- ・このアンケートを参考に、差別の無い街づくりを1日も早く達成してほしいです。
- ・人間市は緑が多く、住みやすい街。今後も福祉に力を入れて頂きたいです。
- ・娘は現51歳。人間市には特殊学級も無く、家に10歳までいた。その後、重度の娘も他市内に（養護学校分校）通い、その後近隣の養護学校に…。卒業後行くところが無く、当時の福祉部長に9坪半のを作っていただき1年間親子で通った（現在の「あすなろ」のこと）24年間その後所沢市の光のその（通所）に30年通っている。本当につらい期間が多かった。
- ・障がい者は学校を卒業すると、職場や生活のあり方など、相談できる場所や人材を必要とします。障害に個人差がある為サービスの利用量を一律に（150時間）されると厳しい人もいます。地域の中で自立した生活をするための場を増やすことで、親亡き後の安定した生活を確保させたい。  
【要望】1）相談支援の場を増やす。2）福祉サービスの利用券を申告制にして（50, 100, 200, 300等）調整する。3）グループホームの増設（B型事業所に併設したグループホームも一考）。
- ・障がいの状況、状態に応じてどうして行く事がその方その子の生きることがより尊重できることになるのかを教育、福祉、医療、地域で総合的にさまざまな方の協力、支援をもらいながら考え実施していけたら…と思います。特別な支援を必要とする方たちなので、本当によろしくお願いいたします。家族は笑顔でいてくれることが一番なので。
- ・特別支援学校は廃止して下さい。今はどうなのか分かりませんが、30年以上前養護学校はとても恐ろしいところでした。といっても、他の学校の事は知りませんが。もしできないなら、時々いいから私服の警察官に行ってもらってください。
- ・アンケートの意味が分からないことが多い。年齢別にした方が良いのではないですか。（内容）。
- ・本人は自閉症で近隣の方々は何となく理解をして下さっているようだが、脳の障害であること、特性などまだまだ理解に苦しむことも多いと感じる。講座などで取り上げて下さると嬉しいです。
- ・障がい者の立場、または障がい者の家族の立場に立った福祉サービスを提供していない事業者が目立つ。行政がもっと厳しく提供事業内容を監査、指導し不適格な事業者は運営に補助金を出さないようにすべき。国、県、市が事業者 서비스에任せて受け皿でいることに甘えお互いに「楽」をし合う関係ではなく、優良な事業者が市内で発展するよう、常にチェックを怠らずサービスが障がい者の人生を安心、安全で満たされることを望み、福祉サービスの発展と支援をお願いしたいです。

- ・1歳時に入間に越してきました。発達が遅いとすくすく教室、元気キッズと利用させていただきました。早くに専門的医療機関を受診したかったです。情報の提供がもっとあればいいのと思いました。また、先輩お母さんたちの話を聞ける場があっても良かったと思います。将来の見通し、子供にあった療育を早くに発見できるのは子供にとっては重要です。早期療育指導が出来る道筋の提案をしていただきかったです。
- ・障がい者やその家族に関わる職員の資質の向上に向けて、研修等の充実。特に福祉施設で働く人やサービス事業所で働く人が障害や疾病、介護方法などについて学ぶ機会を充実して下さい。また働く人たちの賃金が少しでも良くなることを願っています。
- ・グループホームを作ってほしい。
- ・福祉施設などの安全対策の強化。
- ・このような取り組み、動き出してくれていることに感謝です。未来のある子の特性を活かした活動の出来る場所づくりが出来るといいと思います。元気キッズのような障害児が市内で通える障害を分けない学校が出来るといいですね。
- ・障がい者をもっと雇ってほしいです。
- ・先生でさえ、偏見を持っている人もいるし、うまくしゃべれなかつたり言葉が詰まると嘘をついていると思われ、うまくしゃべれる人の話をうのみにして怒られる。給食をたくさん食べるからって「家で食べてないんじゃないか」って校長に言われてすごく悲しかった。家で沢山食べるからこそ、学校でもたくさん食べるのだとなぜ思ってくれないのか。それに人の分まで食べてるわけじゃないし、余っている給食を食べているし、給食のおばさんは「うちのクラスはいつも残りが少なくてうれしい」と言ってくれてうれしかったけど、校長の言い方は、おかわりしちゃいけないのかって思ってしまう。
- ・問38の各種サービスが有りますが、子供が利用対象者に該当するのかわからないのかよく分かりません。利用できる/できそうなサービス情報をもっと提供提案してほしい。
- ・まだ子供が小さいので、先の事はよく分からない事が多い。障害があると園（幼稚園とか保育園とか）に入れず、入るまでとても大変だった。健常児と一緒に生活する事でお互いに学ぶことはたくさんあると思う。もう少し積極的に受け入れてくれるところを増やしてほしい。
- ・小さいころから、学校などで障がい者に対する知識、対応、理解を教えてほしい。障害者を地域に帰して地域全体でみて行こうというのは聞こえはいいが重度の障害者を家でみることは親は年をとる一方で家族への負担は大きく、現実困難である。入所施設を作ってほしい。作業所も増やしてほしい。
- ・対象者の両親が死亡したあとの対処。
- ・災害時のことが一番気がかりです。私ひとりで子供(40K以上)を連れ出すことは無理ではと思っています。近所の方にもお願いはしていますが。
- ・自分がアホなのかアンケートの書き方が分かりにくくもしかしたら意味を間違えて答えている質問もあるかと思っています。すみません。
- ・中学生になるのですが、就寝中だけ、オムツを使用しています。狭山市は、オムツの助成もあるとお聞きしたので入間市もあると助かります。
- ・相談員さんの増員。公共施設などの障害者の雇用を増やして欲しい。
- ・施設の充実と継続を希望します。

## ◆精神障害者

- ・問38の答えがよく分からない。
- ・空き巣を防ぐために「留守番をしてくれる」という福祉サービスがあれば助かる。障害者とその家族が、いつでも好きなところへ一緒に外出できるような支援サービスがあると助かる。
- ・障がいがあっても、資格を取得したり就職したりして何とか頑張っているつもりです。障害を持ったゆえにより福祉の為にピアとして活動して地域に貢献したいと思っています。ピアを育成していく、さらに配置していくような仕組みを作っていただけると嬉しく思います。自治体として、障害者雇用を増やしてほしいです。
- ・もともと対人関係がうまくできず、対応するのが難しいので一人になった時が不安。病院も一人で行けず、お金の管理もできず、他人が信用できず、頼んだ人が信用できるのか、どこへ相談してよいのか不安が募るばかりです。親と一緒に死ねたら本望と思ったり。
- ・小学校、中学校での発達障害児への学習支援にもっと力を入れてほしい。教科によってできる、できないの差が大きいので教科によっては普通級、支援級の行き来をもっと自由に出来るように。高学年でも補助の先生がいると、もっともって出来る事が増え楽しく学校に通う事が出来ます。よろしくをお願いします。
- ・お世話になります。畑道に大きな穴が有ったり、街灯はほとんどありません。不安です。ぜひご検討ください。よろしくをお願いします。
- ・自立支援のノートをあっちこっちの病院で使いたい。精神手帳があるので、電車も半額にしてほしい。
- ・病気や薬の事を相談したいが、医者に話してくれと言われてしまう。病院は5~15分ぐらいの診察なので話そうにも話せない。話したところで、何も答えがでない。うつと診断されているが、漠然とした感覚です。外出すると、過呼吸になることがあるが、薬も飲み始めてからこの症状が出始めた。なぜなのか分からない。過呼吸の後、けいれんもします。その症状の事をテタニーと言うが、自分でネットで調べて知りました。救急隊員の方も、運ばれた病院の先生も、通院している先の先生も教えてくれません。分かりません。病院では相談する時間が少なく、それ以外の相談できる所では病気や薬については相談できません。出来そうなところを探しても市外です。普通の生活をするには遠くに、何の気もなく出かけられるようにならないといけないと思いますが、まだ不可能です。外に出ることに不安があり、人と関わることに不安があり、相談する相手も機関も自分にはない状況です。病気、薬、現在の状況についてそして今後の事、これらの事を相談できる場があればいいなと思います。
- ・食事は1日3食して、障害者の一般で働いてほしいです。アメリカのエリートは「たばこ」吸いません。薬を飲むお酒は避けて下さいと診断されました。あわてずゆっくり無理のない事が良いと思います。
- ・循環バスをもっと増やしてほしいです。赤字なのはわかっています。
- ・読むのが難しい。意見がよく分からない。病院の精神障害がある人専門の大きな病院を作ってほしい。(大学病院のような、色々な科のある病院)外に出るだけ嫌な思いをする。
- ・弟が入院した時に心配でいらなかった。病院の人にもっと理解してもらいたい。精神障害の人は人間ではないのか。こんなこともできるのか、バカにされた。外に出るのもどンドン怖いと思う。障害を隠していた方が良いのかと思う事もあります。病院に行って、薬をもらって意味があるのか？

- ・未だに躁鬱病は癒えていない。きっかけはただのいじめだった。それは小さなものだった。しかしそれはやがて大きくなり、誰にもとめられなくなってしまった。私は、それが悔しくてしょうがない。誰かいじめをなくしてくれ！
- ・居宅介護を受けられるようになってから、生活の質が向上しました。日々の生活に幸せを感じます。
- ・保護者が亡くなった後が心配です。
- ・バスの本数を増やしてほしいです。
- ・バスをもっとリラックスして使いたい。差別、若い人の考えをもっと良くしてほしい。（近所）むこうの考えで会話を親としたり、クレームのよう扉を閉めながら会話をされても分からない。マニュアルで冷やかしが1日うるさい。娘他の人も。
- ・問38のページにも書きましたが、長い文章や分かりにくい表現はやめて頂きたいです。返信用の封筒が小さすぎます。折るのが大変です。
- ・身体障害者だけでなく、精神障害者も鉄道運賃を半額にしてほしい。
- ・1人暮らしの人の死後、後始末を市でやるような考えはあるか。多分全くないと思うが、全国的にそうか、市の方針を知りたい。
- ・現在、両親と同居しているが将来1人になった時、住宅などのことが心配です。
- ・小学校で普通級に通っています。1クラスの人数が多く、もっと少なければ過ごしやすくなると感じています。障害のある子も無い子も色々問題を抱えていることが多いので、職員の配置を多くしていただくことを強く望みます。
- ・他市では障害者に対し毎月給付金が出るそうです（5,000円程度）手帳を持っていれば誰でももらえるそうです。入間市でもお願いします。精神障害対象の施設が少ない。通える範囲になく、送迎もない。わざわざ所沢のB型支援に行っている。ハローワークが遠く通うのが大変。送迎サービスもない。
- ・分からないことが多かった。
- ・障害によって利用できるものと出来ないものを知らせてくれると助かります。手帳などの申請時にこういう援助があると教えてほしい。
- ・成年後見人制度にはまだ瑕疵にあたる面が多数あり、現在同成年後見人となっている友人は、受けるべきではないという。本人の意思は完全に無視される制度であり、本来利益を得る人間は取るべきではなく、行政が行う事である。
- ・まだお金が稼げる状態ではないので、年金の援助が欲しいです。
- ・いじわるはどんな時でもしてはいけない、という事を先生はきちんと指導すべきではないのか？
- ・自立支援を他の病院や入院でも使えるようにしてください。
- ・現在は、親の世話で四苦八苦だがまだ自分の件は分からない。なるべく自分の事はすべて最低でもやれないと子供にも迷惑がかかるので、それは避けたいと思う。
- ・問38の(1)～(4)の質問と、あてはまる数字が「(1)で「1」と回答した～」との説明が若干わかりづらかった。(1)～(4)を(a)～(d)にすると分かりやすいかと思う。また(3)の現在利用していない理由の「2、利用対象者に該当しない」と「3、利用の必要がない」と違いが分かりづらかった。

# ◇資料

---

調査票



# 福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い

日頃より入間市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。  
入間市では現在、平成30年度を初年度とする「第5期入間市障害者福祉プラン」の策定に向けた取り組みを進めています。その中で、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。

調査の対象者は、市内にお住まいの障害者手帳や自立支援医療受給者証をお持ちの方、サービスを利用されている方です。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。調査票は「個人情報保護条例」にしたがい、適切な管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定や施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

平成29年2月

入間市長 田中 龍夫

## <ご記入にあたって>

- 宛名のご本人が直接回答いただくことが難しい場合には、家族や介護者・支援者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 質問内容の説明や回答のお手伝いを希望される方は、障害福祉課までご連絡ください。
- 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒を使って（切手を貼る必要はありません）、

**3月14日（火）までにご返送ください。**

このアンケート調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

入間市役所 福祉部 障害福祉課 障害福祉担当

電話：04-2964-1111（内線：1332・1333）

ファックス  
FAX：04-2964-3665

ふくし かん ちょうさひょう  
福祉に関するアンケート調査票

あてはまる数字に○をつけてください

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つ)

1. 本人(この調査票が郵送された宛名の方)
2. 本人の家族
3. 家族以外の介助者・支援者

※これ以降、この調査票が郵送された対象の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人(この調査票の対象者：障害のある方)の状況などについて、お答えください。

あなたの性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢、性別をお答えください。

- ①年齢(平成29年2月1日現在) ②性別(○は1つ)

満  歳

1. 男性 2. 女性

問3 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親
2. 祖父母
3. 兄弟姉妹
4. 配偶者(夫または妻)
5. 子ども
6. その他( )
7. いない(一人で暮らしている)

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は、「7」と回答してください。

問4 あなたを主に介助してくれる方はどなたですか。(○は1つ)

1. 親・祖父母・兄弟姉妹
2. 配偶者(夫または妻)
3. 子ども
4. ホームヘルパーや施設の職員
5. その他の人(ボランティア等)
6. 特にいない

→(問5へ)

→(問6へ)



【問4で「1」～「3」と回答された方におききます】

問5 あなたの介助を主に行っている家族の方の年齢、性別をお答えください。

①年齢（平成29年2月1日現在）

②性別（○は1つ）

まん  
満

さい  
歳

1. 男性

2. 女性

あなたの障害の状況について

問6 あなたの身体障害者手帳の等級をお答えください。（○は1つ）

1. 1級

3. 3級

5. 5級

7. 持っていない

2. 2級

4. 4級

6. 6級

問7 身体障害者手帳をお持ちの場合、障害の種類をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 視覚障害

5. 肢体不自由（下肢）

2. 聴覚障害

6. 肢体不自由（体幹）

3. 音声・言語・そしゃく機能障害

7. 内部障害（1～6以外）

4. 肢体不自由（上肢）

問8 あなたの療育手帳の等級をお答えください。（○は1つ）

1. ㊶

2. A

3. B

4. C

5. 持っていない

問9 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。（○は1つ）

1. 1級

2. 2級

3. 3級

4. 持っていない

問10 あなたは「自立支援医療制度（精神通院）」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している

2. 利用していない

3. どんな制度かわからない

**問11** あなたは、次のような認定や診断を受けていますか。または、受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 難病（指定難病）…… 悪性関節リウマチやギラン・バレー症候群などの、治療法が確立していない疾病その他特殊な疾病を言う。
2. 発達障害…… 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などを言う。
3. 精神疾患…… うつ病、認知症、高次脳機能障害 など
4. 受けていない

**問12** あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 気管切開部の処置       | 7. 中心静脈栄養（IVH）     |
| 2. 人工呼吸器（レスピレーター） | 8. 透析              |
| 3. 吸入             | 9. カテーテル留置         |
| 4. 吸引             | 10. ストマ（人工肛門・人工膀胱） |
| 5. 胃ろう・腸ろう        | 11. 服薬管理           |
| 6. 鼻腔経管栄養         | 12. その他            |

**住まいや暮らしについて**

**問13** あなたは現在どのように暮らしていますか。（○は1つ）

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 一戸建の住宅で暮らしている                | } ⇒ <b>問16へ</b>    |
| 2. マンションやアパートなどの集合住宅で暮らしている     |                    |
| 3. グループホームで暮らしている               |                    |
| 4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている | } ⇒ <b>問14・15へ</b> |
| 5. 病院に入院している                    |                    |
| 6. その他（                         | ） ⇒ <b>問16へ</b>    |

【問13で「4」または「5」と回答された方におききます】

**問14** あなたは将来、施設や病院を退所・退院して、地域で生活したいと思いませんか。（○は1つ）

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 今のまま生活したい       | 4. 地域で一人暮らしをしたい |
| 2. 家族と一緒に生活したい     | 5. その他（         |
| 3. グループホームなどを利用したい | ）               |

【問13で「4」または「5」と回答された方におききます】

問15 施設や病院を退所・退院して、地域で生活するためには、特にどのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること | 5. 経済的な負担の軽減        |
| 2. 障害に適した住居の確保          | 6. 相談対応等の充実         |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | 7. 地域住民等の理解         |
| 4. 生活訓練等の充実             | 8. コミュニケーションについての支援 |
|                         | 9. その他（ ）           |

### 日中活動や就労について

問16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。（○は1つ）

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 毎日外出する     | 4. まったく外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | ⇒ 外出しない理由：   |
| 3. たまに外出する    |              |
- (問17～問19へ)                      → (問20へ)

【問16で「1」～「3」と回答された方におききます】

問17 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。（○は1つ）

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 親・祖父母・兄弟姉妹 | 4. ホームヘルパーや施設の職員  |
| 2. 配偶者（夫または妻） | 5. その他の人（ボランティア等） |
| 3. 子ども        | 6. 一人で外出する        |

【問16で「1」～「3」と回答された方におききます】

問18 あなたは、どのような目的で外出しますか。（あてはまるものすべてに○）

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 通園・通学   | 6. 友人・知人に会う |
| 2. 通勤・通所   | 7. 趣味・スポーツ  |
| 3. 訓練・リハビリ | 8. 散歩       |
| 4. 通院      | 9. その他（ ）   |
| 5. 買い物     |             |

【問16で「1」～「3」と回答された方におききます】

問19 外出する時に特に困ることは何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

- |                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない                    | 7. コミュニケーションが困難      |
| 2. 列車やバスの乗り降りが困難                 | 8. 介助者・支援者が確保できない    |
| 3. 道路や駅に階段や段差が多い                 | 9. 外出にお金がかかる         |
| 4. 切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい         | 10. 周囲の目が気になる        |
| 5. 外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど） | 11. 発作など突然の身体の変化が心配  |
| 6. 交通機関の割引がない                    | 12. 困った時にどうすればいいのか心配 |
|                                  | 13. その他（ ）           |

問20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）

- |                                   |                             |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 会社勤め、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている     | 8. 入所している施設や病院等で過ごしている      |
| 2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている         | 9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている    |
| 3. 専業主婦（主夫）をしている                  | 10. 特別支援学校に通っている            |
| 4. 福祉施設、作業所等に通っている（「就労継続支援A型」も含む） | 11. 一般の高校、小中学校に通っている        |
| 5. 病院などのデイケアに通っている                | 12. 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている |
| 6. 障害者のデイサービスに通っている               | 13. その他（ ）                  |
| 7. 自宅で過ごしている                      |                             |

問21 あなたは、障害者の就労支援として、特にどのようなことが必要だと思えますか。（あてはまるもの3つまでに○）

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 通勤手段の確保              | 7. 介助者の確保          |
| 2. 勤務場所のバリアフリー化等の配慮     | 8. 企業ニーズに合った就労訓練   |
| 3. 勤務時間や勤務日数等の配慮        | 9. 就職活動への助言・指導     |
| 4. 在宅勤務の拡充              | 10. 仕事についての職場外での相談 |
| 5. 職場の理解や支援             | 対心、支援              |
| 6. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携 | 11. その他（ ）         |
|                         | 12. わからない          |

しょうがい  
障害のあるお子さんについて

【問22～24は、しょうがい さいみまん こ ほごしゃ かた  
【問22～24は、障害のある18歳未満のお子さんの保護者の方におききます】

問22 お子さんの障害に気づいたきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1. 医療機関での受診・健診       | 5. 学校の助言    |
| 2. 健康福祉センターで実施している健診 | 6. 家族による気づき |
| 3. 小学校で受診する就学児健康診断   | 7. その他( )   |
| 4. 保育所・幼稚園の助言        |             |

問23 お子さんが保育所、幼稚園、学校に通ううえで、特に求めることは何ですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 送迎など、通所・通園・通学時のサポート            |
| 2. 学習支援や介助など、保育所・幼稚園・学校生活でのサポート   |
| 3. 自立訓練や職業訓練など専門的な指導              |
| 4. 投薬や喀痰吸引など専門的なケア                |
| 5. 障害福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携      |
| 6. 教師や他の児童生徒の障害に対する理解や配慮          |
| 7. 障害に合わせた環境の整備                   |
| 8. 校外学習、宿泊をとるなど行事における介助者の確保       |
| 9. 障害児支援の核となる相談支援専門員の配置           |
| 10. 障害児施策検討委員会の設置                 |
| 11. 元気キッズ・茶おちゃおなど未就学児対象の発達支援事業の充実 |
| 12. その他( )                        |

問24 市が行っている未就学児に対する次の事業について、該当するものに○をつけてください。(○は1つ)

○健康福祉センター：児童発達支援事業 「元気キッズ」

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 利用している(していた) | 3. 利用していない(理由：) |
| 2. 今後利用してみたい    | 4. 知らない         |

○学校教育課 教育研究所：幼児の通級指導教室 「茶おちゃお」

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 利用している(していた) | 3. 利用していない(理由：) |
| 2. 今後利用してみたい    | 4. 知らない         |

そうだんあいて  
相談相手などについて

**問25** あなたは、<sup>しょうがい</sup>障害の<sup>ふくし</sup>ことや<sup>かん</sup>福祉サービスの<sup>じょうほう</sup>情報<sup>し</sup>を、どこから知<sup>し</sup>るところが<sup>おお</sup>多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                |                                     |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビ<br>やラジオのニュース | 8. 病院等医療機関のケースワーカー<br>や介護保険のケアマネジャー |
| 2. 行政機関の広報誌                    | 9. 民生委員・児童委員                        |
| 3. インターネット                     | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等             |
| 4. 家族や親せき、友人・知人                | 11. 相談支援事業所                         |
| 5. サービス事業所の人や施設職員              | 12. 市役所・健康福祉センター                    |
| 6. 障害者団体や家族会（団体の<br>機関誌など）     | 13. 地域包括支援センター                      |
| 7. かかりつけの医師や看護師                | 14. その他（                            |
|                                | 15. 情報はほとんど知らない                     |
|                                | 16. 情報を知る必要を感じない                    |

**問26** あなたは、普段、<sup>ふだん</sup>悩みごとや<sup>なや</sup>困りごとをどなたに<sup>こま</sup>相談<sup>そうだん</sup>しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                     |                             |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親せき                           | 10. 教育研究所                   |
| 2. 友人・知人（近所の人を含む）                   | 11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生等     |
| 3. 職場の上司や同僚                         | 12. 相談支援事業所                 |
| 4. 施設の支援員など                         | 13. 市役所・健康福祉センター            |
| 5. ホームヘルパーなど事業所の人                   | 14. 社会福祉協議会                 |
| 6. 障害者団体や家族会                        | 15. 地域包括支援センター              |
| 7. かかりつけの医師や看護師                     | 16. 児童相談所                   |
| 8. 病院等医療機関のケースワーカー<br>や介護保険のケアマネジャー | 17. その他（                    |
| 9. 民生委員・児童委員                        | 18. 相談先がない                  |
|                                     | 19. 相談する習慣がないまたは<br>必要を感じない |
- ⇒ **問29へ**

**問27** 問26で回答した相談先で、<sup>なや</sup>悩みや<sup>ふあん</sup>不安は<sup>かいしょう</sup>解消<sup>かいしょう</sup>していますか。(○は1つ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 解消している     | 3. あまり解消していない |
| 2. おおむね解消している | 4. 解消していない    |

→ (問29へ)

→ (問28へ)

【問27で「3」または「4」と回答された方におききます】

問28 その理由を自由にご記入ください。

けんりようご  
権利擁護について

問29 あなたは、障害があることで差別される(された)ことや嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. 少しある	3. ない
-------	---------	-------

→ (問30へ)

→ (問31へ)

【問29で「1」または「2」と回答された方におききます】

問30 どのような場所・場面で差別されたり嫌な思いをしましたか。(3つまで回答) 当てはまる場面の番号を【 】内に記入し、内に具体的な内容をご記入ください。

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 市役所などの行政機関で  | 7. 民間サービス(飲食店、買い物など)で |
| 2. 公共交通、公共施設などで | 8. 福祉サービスで            |
| 3. 職場、仕事を探す場面で  | 9. 住む場所や家を借りる場面で      |
| 4. 学校、教育の場面で    | 10. 情報、コミュニケーションで     |
| 5. 保育所・幼稚園で     | 11. 近隣、地域で            |
| 6. 病院・診療所などで    | 12. その他( )            |
|                 | 13. 特にない              |

番号【          】

具体的な内容：

番号【          】

具体的な内容：

番号【          】

具体的な内容：

問31 障害者差別解消法施行（平成28年4月）以降、あなたが、障害のある人への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、内に具体的な内容をご記入ください。（3つまで回答）

1. 市役所などの行政機関で	7. 民間サービス（飲食店、買い物など）で
2. 公共交通、公共施設などで	8. 福祉サービスで
3. 職場、仕事を探す場面で	9. 住む場所や家を借りる場面で
4. 学校、教育の場面で	10. 情報、コミュニケーションで
5. 保育所・幼稚園で	11. 近隣、地域で
6. 病院・診療所などで	12. その他（ ）
	13. 特にない

番号【 】

具体的な内容：

番号【 】

具体的な内容：

番号【 】

具体的な内容：

問32 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（○は1つ）

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

問33 「成年後見制度」は次のような制度です。あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、成年後見制度を利用しますか。（○は1つ）

※「成年後見制度」は、認知症・知的障害・精神障害などによって、判断能力が十分ではない方を法的に支援する制度です。

1. すでに利用している	4. わからない
2. 利用したい	5. その他（ ）
3. 利用したくない	



さいがいじ ひなんとう  
災害時の避難等について

問34 あなたは、かじ 火事や じしんとう 地震等の さいがいじ 災害時に ひとり 一人で ひなん 避難できますか。（○は1つ）

- |        |         |          |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|
- (問36へ) → (問35へ)

【問34で「2」または「3」と回答された方におききます】

問35 かぞく 家族が ふざい 不在の場合や ぼあい 一人暮らしの場合、ぼあい あなたの みじか 身近に たす 助けてくれる人は ひと いますか。（○は1つ）

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問36 かじ 火事や じしんとう 地震等の さいがいじ 災害時に こま 困ることは なん 何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |   |
|---|---|
| 1. <small>とうやく</small> 投薬や <small>ちりょう</small> 治療が <small>う</small> 受けられない  | ) |
| 2. <small>ほ</small> 補装具の <small>しょう</small> 使用が <small>こんなん</small> 困難になる   |   |
| 3. <small>ほ</small> 補装具や <small>にちじょうせい</small> 日常生活用具が <small>にゅうしゆ</small> 入手できない   |   |
| 4. <small>きゅうじよ</small> 救助を <small>もと</small> 求めることができない  |   |
| 5. <small>あんぜん</small> 安全なところまで、 <small>じんそく</small> 迅速に <small>ひなん</small> 避難することができない   |   |
| 6. <small>ひがいじょうきょう</small> 被害状況、 <small>ひなんばしよ</small> 避難場所などの <small>じょうほう</small> 情報が <small>にゅうしゆ</small> 入手できない                |   |
| 7. <small>しゅうい</small> 周囲と <small>コミュニケーション</small> コミュニケーションがとれない  |   |
| 8. <small>ひなんばしよ</small> 避難場所の <small>せつび</small> 設備（ <small>など</small> トイレ等）や <small>せいかつかんきょう</small> 生活環境が <small>ふあん</small> 不安 |   |
| 9. その他（   |   |
| 10. <small>とく</small> 特にない  |   |

しょうがいふくし どう りよう  
障害福祉サービス等の利用について

問37 あなたは、しょうがいしえんくぶん 障害支援区分の にんてい 認定を う 受けていますか。（○は1つ）

- |                           |                           |                           |                            |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1. <small>くぶん</small> 区分1 | 3. <small>くぶん</small> 区分3 | 5. <small>くぶん</small> 区分5 | 7. <small>う</small> 受けていない |
| 2. <small>くぶん</small> 区分2 | 4. <small>くぶん</small> 区分4 | 6. <small>くぶん</small> 区分6 |                            |

**問38** 表にある①～③のサービスについて(1)～(4)の質問の答えを、下の枠  
 の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選び、①～③の欄に番号を記入してください。  
 ただし、各サービスで(2)と(3)については、回答する方が限られますので注意して  
 お答えください。

(1) 現在の利用状況(下の表の①～③の(1)の欄に、あてはまる数字をご記入ください)

1. 利用している                      2. 利用していない

(2) サービスの満足度(※(1)で「1」と回答した方がお答えください)

1. 満足    2. まあまあ満足    3. やや不満    4. 不満    5. わからない・なんともいえない

(3) 現在利用していない理由(※(1)で「2」と回答した方がお答えください)

1. 内容に満足できなかった                      3. 利用の必要が無い  
 2. 利用対象者に該当しない                      4. その他(①～③の口欄の中にお書きください)

(4) 今後利用したいか

1. 利用したい                      3. 利用の必要が無い                      5. 利用したくない  
 2. 利用量を増やしたい    4. 利用したいが対象者に該当しない    6. わからない

サービスの種類	(1) 現在の 利用状 況	(2) サー ビスの 満足 度	(3) 現在 利用し て いない 理由	(4) 今後 利用 したい か
○記入例 ※上の「 <input type="text"/> 」の中から回答を選んで 右の欄に記入	1	2		1
①居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行います。				
②重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行います。				
③同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行います。				

<p>④行動支援  <small>ちてきしょうがい せいしんしょうがい</small>  知的障害や精神障害により行動が困難で常に  <small>かいご ひつよう かた こうどう ひつよう かいじょ</small>  介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や  <small>がいしゅつじ いどう ほじょ おこな</small>  外出時の移動の補助などを行います。</p>				
<p>⑤重度障害者等包括支援  <small>つね かいご ひつよう かた かいご ひつよう ていど いちじる</small>  常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著  <small>たか かた きょたく かいご</small>  しく高い方に、居宅介護などのサービスを  <small>ほうかつてき ていきょう</small>  包括的に提供します。</p>				
<p>⑥生活介護  <small>つね かいご ひつよう かた しせつ にゅうよく はい</small>  常に介護が必要な方に、施設で入浴・排せつ・  <small>しょくじどう かいご そうさくてきかつどう きかい ていきょう</small>  食事等の介護や創作的活動などの機会を提供し  ます。</p>				
<p>⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）  <small>じりつ にかじょうせいかつ しゃかいせいかつ</small>  自立した日常生活や社会生活ができるよう、  <small>いってい きかん しんたいきのう せいかつのうりよく こうじょう</small>  一定の期間、身体機能や生活能力の向上のため  <small>ひつよう くんれん おこな</small>  に必要な訓練を行います。</p>				
<p>⑧就労移行支援  <small>つうじょう じぎょうしょ はたら かた いってい きかん</small>  通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、  <small>しゅうろう ひつよう ちしき およ のりよく こうじょう</small>  就労に必要な知識及び能力の向上のための  <small>くんれん おこな</small>  訓練を行います。</p>				
<p>⑨就労継続支援（A型、B型）  <small>つうじょう じぎょうしょ はたら こんなん かた しゅうろう</small>  通常の事業所で働くことが困難な方に、就労・  <small>せいざんかつどう た かつどう きかい ていきょう ちしき</small>  生産活動その他の活動の機会の提供、知識や  <small>のりよく こうじょう くんれん おこな</small>  能力の向上のための訓練を行います。</p>				
<p>⑩療養介護  <small>いりょう ひつよう かた つね かいご ひつよう</small>  医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、  <small>おも ひるま びょういんどう きのうくんれん りょうじょう</small>  主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の  <small>かんり かんご ていきょう</small>  管理、看護などを提供します。</p>				
<p>⑪短期入所（ショートステイ）  <small>かいご かた びょうき ばあい しょうがいしゅ じ</small>  介護する方が病気の場合などに、障害者（児）  <small>しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい しょくじ</small>  が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事  <small>どう かいご う</small>  等の介護などを受けます。</p>				

◎サービスの利用について（\*問38 の続き）

(1) 現在の利用状況（下の表の⑫～⑮の(1)の欄に、あてはまる数字をご記入ください）

1. 利用している                      2. 利用していない

(2) サービスの満足度（※(1)で「1」と回答した方がお答えください）

1. 満足    2. まあまあ満足    3. やや不満    4. 不満    5. わからない・なんともいえない

(3) 現在利用していない理由（※(1)で「2」と回答した方がお答えください）

1. 内容に満足できなかった                      3. 利用の必要が無い  
2. 利用対象者に該当しない                      4. その他（⑫～⑮の口欄の中にお書きください）

(4) 今後利用したいか

1. 利用したい                      3. 利用の必要が無い                      5. 利用したくない  
2. 利用量を増やしたい    4. 利用したいが対象者に該当しない    6. わからない

サービスの種類	(1) 現在の 利用状 況	(2) サー ビスの 満足 度	(3) 現在 利用し てい ない理 由	(4) 今後 利用 した いか
○記入例 ※上の「-----」の中から回答を選んで 右の欄に記入	2		2	4
⑫ 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談 や日常生活上の援助を行います。				
⑬ 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障害者（児） に、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行 います。				
⑭ 相談支援 福祉に関する問題や介護者・支援者からの相談 に応じて、必要な情報の提供や助言などを 行います。				
⑮ 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識 技能の付与、集団生活への適応訓練などの 支援を行います。				

<p>⑩放課後等デイサービス  <small>がっこう じゅぎょうしゅうりょうご がっこう きゅうこう び</small>      学校の授業終了後や学校の休校日に、  <small>せいかつのうりよくこうじょう ひつよう くんれん しゃかい</small>      生活能力向上のために必要な訓練や、社会  <small>こうりゆう そくしん しえん おこな</small>      との交流の促進などの支援を行います。</p>				
<p>⑪保育所等訪問支援  <small>ほいくしょうほうもんしえん</small>      保育所等を訪問し、<small>しゅうだんせいかつ てきおう</small>      集団生活への適応のため  <small>せんもんてき しえん おこな</small>      の専門的な支援などを行います。</p>				
<p>⑫医療型児童発達支援  <small>いちじょうせいかつ きほんてき どうさ しどう ちしき</small>      日常生活における基本的な動作の指導、知識  <small>ぎのう ふ よ しゅうだんせいかつ てきおうくんれんどう しえん</small>      技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援  <small>ちりょう おこな</small>      と治療を行います。</p>				
<p>⑬移動支援  <small>おくがい いどう こんなん しょうがいしゃ じ ちいき</small>      屋外での移動が困難な障害者（児）に、地域  <small>じりつせいかつ しゃかいさんか うなが がいしゆつ</small>      での自立生活と社会参加を促すため、外出  <small>さい しえん おこな</small>      の際の支援を行います。</p>				
<p>⑭地域活動支援センター  <small>そうさくかつどう せいさんかつどう きかい ていきょう しゃかい</small>      創作活動や生産活動の機会を提供し、社会と  <small>こうりゆうそくしん しえん おこな</small>      の交流促進などの支援を行います。</p>				
<p>⑮日中一時支援  <small>にっちゅう せいかつ ば かくほ かそく いちじてき</small>      日中における生活の場の確保、家族の一時的  <small>きゅうそく ちくてき みまも とう しえん おこな</small>      な休息を目的として、見守り等の支援を行      います。</p>				
<p>⑯意思疎通支援  <small>ちようかく げんごきのう しょうがい いしそつう はか</small>      聴覚、言語機能の障害により意思疎通を図る  <small>ししやう しょうがいしゃ じ しゅわつうやくしゃ</small>      ことに支障がある障害者（児）に、手話通訳者  <small>ようやくひつきしゃ はけん</small>      や要約筆記者を派遣します。</p>				
<p>⑰居宅訪問型児童発達支援（平成30年より開始）  <small>じゅうたくほうもんがたじどうはつたつしえん へいせい ねん かいし</small>      重度の障害等の状態にあり、外出すること  <small>がいしゆつ</small>      が著しく困難な障害児の居宅を訪問して  <small>いちじる こんなん しょうがいじ きょたく ほうもん</small>      発達支援を行います。  <small>はつたつしえん おこな</small></p>				

## 市の施策について

**問39** 入間市で暮らしていくうえで、市にこれから特にどのような施策に力をいれてほしいとおもいますか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 障害等に関する市民の理解を深める啓発活動
2. 文化活動やレクリエーション活動等による地域の人々との交流
3. 情報提供と、気軽に何でも相談できる体制の充実
4. 障害のある人の健康づくりや機能訓練の充実
5. ホームヘルプサービスなど、福祉サービスの充実
6. 福祉サービスを利用できる事業所の整備
7. 「福祉的就労」の場（就労継続支援B型事業所など）の整備
8. 就労できる近隣企業等の開拓
9. 就労のための各種支援の体制づくり
10. 個性を尊重し可能性を伸ばす教育環境の充実
11. 地域の人々がお互いに支えあう体制づくりと人材育成
12. 住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり
13. 災害や緊急時の対応体制の強化
14. 福祉サービス提供事業者の指導・評価とサービス内容の適正化・向上の促進
15. 成年後見制度等、障害のある人の人権を守るためのしくみの推進
16. 障害児を支援するための拠点の整備
17. その他( )
18. わからない・特にない

質問は以上です。最後に、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

障害福祉に関する  
アンケート調査報告書

平成29年3月

発行 入間市 福祉部 障害福祉課  
〒358-8511 埼玉入間市豊岡一丁目16番1号  
電話 04-2964-1111（代表） F A X 04-2964-3665